

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要とされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：単複を見極める(1) 可算・不可算が決め手 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 1 単語(happen～disappear)の解説と例文 第2回 単複を見極める(2) 単複のカギを握る語、語彙Unit 2 (consider～subject) 第3回 単複を見極める(3) 名詞の前につく語、語彙Unit 3 (complete～attorney) 第4回 品詞を見極める(1) 名詞にまつわる問題、語彙Unit 4 (likely～stuff) 第5回 品詞を見極める(2) 形容詞にまつわる問題、語彙Unit 1-4の復習 第6回 品詞を見極める(3) 副詞にまつわる問題、語彙Unit 5 (executive～quantity) 第7回 品詞を見極める(4) 動詞にまつわる問題、語彙Unit 6 (damage～favorite) 第8回 接続詞と前置詞(1) 基本的な前置詞、語彙Unit 7 (grade～opinion) 第9回 接続詞と前置詞(2) 前置詞の定番イディオム、語彙Unit 8 (suspect～reduce) 第10回 接続詞と前置詞(3) 押さえておきたい接続詞、語彙Unit 5-8の復習 第11回 接続詞と前置詞(4) 接続詞か前置詞か、語彙Unit 9 (flat～reply) 第12回 動詞の形(1) 動名詞と不定詞、語彙Unit 10 (available～grind) 第13回 動詞の形(2) 態と分詞、語彙Unit 11 (sales～joint) 第14回 動詞の形(3) 現在完了と時制、仮定法、語彙Unit 12 (sue～ruin) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚えてくること。 事後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。外国語の学習では反復練習が最も効果的で、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	試験(60%)、小テスト(30%)、ノート作成(10%)をもとに最終評価を算出する。						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7 『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』、木村 哲夫・John Heissian・ヘシャン田中ゆき子著、マクミラン ランゲージハウス、ISBN978-4-7773-6253-0						
参考書	『TOEICテスト新公式問題集 Vol. 6』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-46-1						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要なとされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：単複を見極める(1) 可算・不可算が決め手 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 1 単語(happen～disappear)の解説と例文 第2回 単複を見極める(2) 単複のカギを握る語、語彙Unit 2 (consider～subject) 第3回 単複を見極める(3) 名詞の前につく語、語彙Unit 3 (complete～attorney) 第4回 品詞を見極める(1) 名詞にまつわる問題、語彙Unit 4 (likely～stuff) 第5回 品詞を見極める(2) 形容詞にまつわる問題、語彙Unit 1-4の復習 第6回 品詞を見極める(3) 副詞にまつわる問題、語彙Unit 5 (executive～quantity) 第7回 品詞を見極める(4) 動詞にまつわる問題、語彙Unit 6 (damage～favorite) 第8回 接続詞と前置詞(1) 基本的な前置詞、語彙Unit 7 (grade～opinion) 第9回 接続詞と前置詞(2) 前置詞の定番イディオム、語彙Unit 8 (suspect～reduce) 第10回 接続詞と前置詞(3) 押さえておきたい接続詞、語彙Unit 5-8の復習 第11回 接続詞と前置詞(4) 接続詞か前置詞か、語彙Unit 9 (flat～reply) 第12回 動詞の形(1) 動名詞と不定詞、語彙Unit 10 (available～grind) 第13回 動詞の形(2) 態と分詞、語彙Unit 11 (sales～joint) 第14回 動詞の形(3) 現在完了と時制、仮定法、語彙Unit 12 (sue～ruin) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚えてくること。 事後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。外国語の学習では反復練習が最も効果的で、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	試験(60%)、小テスト(30%)、ノート作成(10%)をもとに最終評価を算出する。						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7 『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』、木村 哲夫・John Heissian・ヘシヤン田中ゆき子著、マクミラン ランゲージハウス、ISBN978-4-7773-6253-0						
参考書	『TOEICテスト新公式問題集 Vol. 6』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-46-1						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要なとされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：単複を見極める(1) 可算・不可算が決め手 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 1 単語(happen～disappear)の解説と例文 第2回 単複を見極める(2) 単複のカギを握る語、語彙Unit 2 (consider～subject) 第3回 単複を見極める(3) 名詞の前につく語、語彙Unit 3 (complete～attorney) 第4回 品詞を見極める(1) 名詞にまつわる問題、語彙Unit 4 (likely～stuff) 第5回 品詞を見極める(2) 形容詞にまつわる問題、語彙Unit 1-4の復習 第6回 品詞を見極める(3) 副詞にまつわる問題、語彙Unit 5 (executive～quantity) 第7回 品詞を見極める(4) 動詞にまつわる問題、語彙Unit 6 (damage～favorite) 第8回 接続詞と前置詞(1) 基本的な前置詞、語彙Unit 7 (grade～opinion) 第9回 接続詞と前置詞(2) 前置詞の定番イディオム、語彙Unit 8 (suspect～reduce) 第10回 接続詞と前置詞(3) 押さえておきたい接続詞、語彙Unit 5-8の復習 第11回 接続詞と前置詞(4) 接続詞か前置詞か、語彙Unit 9 (flat～reply) 第12回 動詞の形(1) 動名詞と不定詞、語彙Unit 10 (available～grind) 第13回 動詞の形(2) 態と分詞、語彙Unit 11 (sales～joint) 第14回 動詞の形(3) 現在完了と時制、仮定法、語彙Unit 12 (sue～ruin) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚えてくること。 事後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。外国語の学習では反復練習が最も効果的で、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	試験(60%)、小テスト(30%)、ノート作成(10%)をもとに最終評価を算出する。						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7						
参考書	『TOEICテスト新公式問題集 Vol. 6』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-46-1						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要とされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：単複を見極める(1) 可算・不可算が決め手 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 1 単語(happen～disappear)の解説と例文 第2回 単複を見極める(2) 単複のカギを握る語、語彙Unit 2 (consider～subject) 第3回 単複を見極める(3) 名詞の前につく語、語彙Unit 3 (complete～attorney) 第4回 品詞を見極める(1) 名詞にまつわる問題、語彙Unit 4 (likely～stuff) 第5回 品詞を見極める(2) 形容詞にまつわる問題、語彙Unit 1-4の復習 第6回 品詞を見極める(3) 副詞にまつわる問題、語彙Unit 5 (executive～quantity) 第7回 品詞を見極める(4) 動詞にまつわる問題、語彙Unit 6 (damage～favorite) 第8回 接続詞と前置詞(1) 基本的な前置詞、語彙Unit 7 (grade～opinion) 第9回 接続詞と前置詞(2) 前置詞の定番イディオム、語彙Unit 8 (suspect～reduce) 第10回 接続詞と前置詞(3) 押さえておきたい接続詞、語彙Unit 5-8の復習 第11回 接続詞と前置詞(4) 接続詞か前置詞か、語彙Unit 9 (flat～reply) 第12回 動詞の形(1) 動名詞と不定詞、語彙Unit 10 (available～grind) 第13回 動詞の形(2) 態と分詞、語彙Unit 11 (sales～joint) 第14回 動詞の形(3) 現在完了と時制、仮定法、語彙Unit 12 (sue～ruin) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚えてくること。 事後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。外国語の学習では反復練習が最も効果的で、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	試験(60%)、小テスト(30%)、ノート作成(10%)をもとに最終評価を算出する。						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7 『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』、木村 哲夫・John Heissian・ヘシヤン田中ゆき子著、マクミラン ランゲージハウス、ISBN978-4-7773-6253-0						
参考書	『TOEICテスト新公式問題集 Vol. 6』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-46-1						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要とされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：よく出る文法構文問題 (1) 比較 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 13 単語(pile～confirm)の解説と例文 第2回 よく出る文法構文問題 (2) 関係詞・基本と応用、語彙Unit 14 (annual～rough) 第3回 よく出る文法構文問題 (3) 関係副詞、語彙Unit 15 (household～aspect) 第4回 よく出る文法構文問題 (4) 見落としがちな判別ポイント、語彙Unit 16 (decorate～proof) 第5回 出る順 語彙 (ビジネス) (1) 最頻出語、語彙Unit 13-16の復習 第6回 出る順 語彙 (ビジネス) (2) ビジネス用語に慣れる、語彙Unit 17 (split～defendant) 第7回 出る順 語彙 (ビジネス) (3) 差のつく表現をマスター、語彙Unit 18 (confident～snap) 第8回 出る順 語彙 (ビジネス) (4) 最頻出イディオム、語彙Unit 19 (innocent～generate) 第9回 出る順 語彙 (生活・一般) (1) 最頻出語、語彙Unit 20 (starve～cheat) 第10回 出る順 語彙 (生活・一般) (2) 表現の幅を広げる単語、語彙Unit 17-20の復習 第11回 出る順 語彙 (生活・一般) (3) ここで差のつく単語、語彙Unit 21 (grave～award) 第12回 出る順 語彙 (生活・一般) (4) 最頻出イディオム、語彙Unit 22 (tease～formulate) 第13回 ビジネス編 (1) マネジメント、語彙Unit 23 (alert～feminine) 第14回 ビジネス編 (2) 経済・金融、語彙Unit 24 (faint～retain) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚えてくること。 事後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。外国語の学習では反復練習が最も効果的で、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	TOEIC(50%)、試験(20%)、小テスト(20%)、ノート作成(10%)をもとに最終評価を算出する。 単位認定のためには、以下の3つの条件をいずれも満たしていることが必須となる。 1. TOEICの成績＝400点以上、 2. 小テストの成績＝40%以上 3. 出席＝授業回数の3分の2以上						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7 『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』、木村 哲夫・John Heissian・ヘシヤン田中ゆき子著、マクミラン ランゲージハウス、ISBN978-4-7773-6253-0						
参考書	『TOEICテスト新公式問題集 Vol. 6』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-46-1						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要とされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：よく出る文法構文問題 (1) 比較 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 13 単語(pile～confirm)の解説と例文 第2回 よく出る文法構文問題 (2) 関係詞・基本と応用、語彙Unit 14 (annual～rough) 第3回 よく出る文法構文問題 (3) 関係副詞、語彙Unit 15 (household～aspect) 第4回 よく出る文法構文問題 (4) 見落としがちな判別ポイント、語彙Unit 16 (decorate～proof) 第5回 出る順 語彙 (ビジネス) (1) 最頻出語、語彙Unit 13-16の復習 第6回 出る順 語彙 (ビジネス) (2) ビジネス用語に慣れる、語彙Unit 17 (split～defendant) 第7回 出る順 語彙 (ビジネス) (3) 差のつく表現をマスター、語彙Unit 18 (confident～snap) 第8回 出る順 語彙 (ビジネス) (4) 最頻出イディオム、語彙Unit 19 (innocent～generate) 第9回 出る順 語彙 (生活・一般) (1) 最頻出語、語彙Unit 20 (starve～cheat) 第10回 出る順 語彙 (生活・一般) (2) 表現の幅を広げる単語、語彙Unit 17-20の復習 第11回 出る順 語彙 (生活・一般) (3) ここで差のつく単語、語彙Unit 21 (grave～award) 第12回 出る順 語彙 (生活・一般) (4) 最頻出イディオム、語彙Unit 22 (tease～formulate) 第13回 ビジネス編 (1) マネジメント、語彙Unit 23 (alert～feminine) 第14回 ビジネス編 (2) 経済・金融、語彙Unit 24 (faint～retain) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚えてくること。 事後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。外国語の学習では反復練習が最も効果的で、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	TOEIC(50%)、試験(20%)、小テスト(20%)、ノート作成(10%)をもとに最終評価を算出する。 単位認定のためには、以下の3つの条件をいずれも満たしていることが必須となる。 1. TOEICの成績＝400点以上、 2. 小テストの成績＝40%以上 3. 出席＝授業回数の3分の2以上						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7 『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』、木村 哲夫・John Heissian・ヘシヤン田中ゆき子著、マクミラン ランゲージハウス、ISBN978-4-7773-6253-0						
参考書	『TOEICテスト新公式問題集 Vol. 6』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-46-1						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成						
授業の概要	英語の理解に必要な英語力と実社会で必要とされる英語運用力（コミュニケーション能力）の効果的学習を目的とする。材料はTOEIC形式の問題を用いる。TOEIC対策が狙いの一つではあるが、もう一つの狙いは英語の4技能を測定する試験として定評のあるTOEICの問題は、英語を学ぶ際に何が重要であるかが示されており、英語の効率的・効果的な学習が可能になるからである。						
到達目標	(1) 英語の4技能が伸びる。 (2) 文法に関する知識が増える。 (3) 実社会で必要とされる語彙力がつく。						
授業計画	第1回 Unit 1 Travelling 第2回 Unit 2 Daily Life & Shopping 第3回 Unit 3 At Restaurant 第4回 Unit 4 Job Hunting 第5回 Unit 5 At the Office 1 第6回 Unit 6 At the Office 2 第7回 Unit 7 Review Test 1 第8回 Unit 8 Doing Business Online 第9回 Unit 9 Housing 第10回 Unit 10 Making Deals & Contracts 第11回 Unit 11 Public Service 第12回 Unit 12 Banking & Financing 第13回 Unit 13 At Seminars & Workshops 第14回 Unit 14 News & Media 第15回 まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：テープを聴いて解答するPart 1～4の問題は予習できないが、それ以外のPart5～7の問題は必ず予習して授業に臨むこと。 授業後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。学んで復習しなければ、学んだことは消えてなくなる。外国語の学習では反復練習が最も効果的な方法なので、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	TOEIC (60%)、試験 (15%)、小テスト (20%)、ノート作成 (5%) をもとに最終評価を算出する。						
教科書	LIGHTING UP THE TOEIC TEST 植木美千子、Brent Cstsworth、山岡浩一、竹内理著 金星堂 ISBN978-4-7647-4025-9 C1082						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要なとされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：よく出る文法構文問題 (1) 比較 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 13 単語(pile～confirm)の解説と例文 第2回 よく出る文法構文問題 (2) 関係詞・基本と応用、語彙Unit 14 (annual～rough) 第3回 よく出る文法構文問題 (3) 関係副詞、語彙Unit 15 (household～aspect) 第4回 よく出る文法構文問題 (4) 見落としがちな判別ポイント、語彙Unit 16 (decorate～proof) 第5回 出る順 語彙 (ビジネス) (1) 最頻出語、語彙Unit 13-16の復習 第6回 出る順 語彙 (ビジネス) (2) ビジネス用語に慣れる、語彙Unit 17 (split～defendant) 第7回 出る順 語彙 (ビジネス) (3) 差のつく表現をマスター、語彙Unit 18 (confident～snap) 第8回 出る順 語彙 (ビジネス) (4) 最頻出イディオム、語彙Unit 19 (innocent～generate) 第9回 出る順 語彙 (生活・一般) (1) 最頻出語、語彙Unit 20 (starve～cheat) 第10回 出る順 語彙 (生活・一般) (2) 表現の幅を広げる単語、語彙Unit 17-20の復習 第11回 出る順 語彙 (生活・一般) (3) ここで差のつく単語、語彙Unit 21 (grave～award) 第12回 出る順 語彙 (生活・一般) (4) 最頻出イディオム、語彙Unit 22 (tease～formulate) 第13回 ビジネス編 (1) マネジメント、語彙Unit 23 (alert～feminine) 第14回 ビジネス編 (2) 経済・金融、語彙Unit 24 (faint～retain) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚えてくること。 事後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。外国語の学習では反復練習が最も効果的で、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	TOEIC(50%)、試験(20%)、小テスト(20%)、ノート作成(10%)をもとに最終評価を算出する。 単位認定のためには、以下の3つの条件をいずれも満たしていることが必須となる。 1. TOEICの成績＝400点以上 2. 小テストの成績＝40%以上 3. 出席＝授業回数の3分の2以上						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7 『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』、木村 哲夫・John Heissian・ヘシヤン田中ゆき子著、マクミラン ランゲージハウス、ISBN978-4-7773-6253-0						
参考書	『TOEICテスト新公式問題集 Vol. 6』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-46-1						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	E. Dean						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Practice 15. Storytelling - Presentations 16. Introduction / Picture Stories - Input 17. Picture Stories - Practice 18. Picture Stories - Presentations 19. Short Speeches - Input 20. Short Speeches - Practice 21. Short Speeches - Presentations 22. Communication Game - Do Your Own Thing! 23. Graded Readers - Input 24. Graded Readers - Practice 25. English Theatre 26. Graded Readers - Presentations 27. Skits - Input 28. Skits - Practice 29. Skits - Presentations 30. Communication Games - Sports Day						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	E. Dean						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Practice 15. Storytelling - Presentations 16. Introduction / Picture Stories - Input 17. Picture Stories - Practice 18. Picture Stories - Presentations 19. Short Speeches - Input 20. Short Speeches - Practice 21. Short Speeches - Presentations 22. Communication Game - Do Your Own Thing! 23. Graded Readers - Input 24. Graded Readers - Practice 25. English Theatre 26. Graded Readers - Presentations 27. Skits - Input 28. Skits - Practice 29. Skits - Presentations 30. Communication Games - Sports Day						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	G. Haase						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Practice 15. Storytelling - Presentations 16. Introduction / Picture Stories - Input 17. Picture Stories - Practice 18. Picture Stories - Presentations 19. Short Speeches - Input 20. Short Speeches - Practice 21. Short Speeches - Presentations 22. Communication Game - Do Your Own Thing! 23. Graded Readers - Input 24. Graded Readers - Practice 25. English Theatre 26. Graded Readers - Presentations 27. Skits - Input 28. Skits - Practice 29. Skits - Presentations 30. Communication Games - Sports Day						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	G. Haase						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Practice 15. Storytelling - Presentations 16. Introduction / Picture Stories - Input 17. Picture Stories - Practice 18. Picture Stories - Presentations 19. Short Speeches - Input 20. Short Speeches - Practice 21. Short Speeches - Presentations 22. Communication Game - Do Your Own Thing! 23. Graded Readers - Input 24. Graded Readers - Practice 25. English Theatre 26. Graded Readers - Presentations 27. Skits - Input 28. Skits - Practice 29. Skits - Presentations 30. Communication Games - Sports Day						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	E. Dean						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Practice 15. Storytelling - Presentations						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	E. Dean						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	“Monologue-type” oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Practice 15. Storytelling - Presentations						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	G. Haase						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Practice 15. Storytelling - Presentations						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	G. Haase						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Practice 15. Storytelling - Presentations						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	E. Dean						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	1. Introduction / Picture Stories - Input 2. Picture Stories - Practice 3. Picture Stories - Presentations 4. Short Speeches - Input 5. Short Speeches - Practice 6. Short Speeches - Presentations 7. Communication Game - Do Your Own Thing! 8. Graded Readers - Input 9. Graded Readers - Practice 10. English Theatre 11. Graded Readers - Presentations 12. Skits - Input 13. Skits - Practice 14. Skits - Presentations 15. Communication Games - Sports Day						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	E. Dean						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	1. Introduction / Picture Stories - Input 2. Picture Stories - Practice 3. Picture Stories - Presentations 4. Short Speeches - Input 5. Short Speeches - Practice 6. Short Speeches - Presentations 7. Communication Game - Do Your Own Thing! 8. Graded Readers - Input 9. Graded Readers - Practice 10. English Theatre 11. Graded Readers - Presentations 12. Skits - Input 13. Skits - Practice 14. Skits - Presentations 15. Communication Games - Sports Day						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	G. Haase						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	1. Introduction / Picture Stories - Input 2. Picture Stories - Practice 3. Picture Stories - Presentations 4. Short Speeches - Input 5. Short Speeches - Practice 6. Short Speeches - Presentations 7. Communication Game - Do Your Own Thing! 8. Graded Readers - Input 9. Graded Readers - Practice 10. English Theatre 11. Graded Readers - Presentations 12. Skits - Input 13. Skits - Practice 14. Skits - Presentations 15. Communication Games - Sports Day						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	G. Haase						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	1. Introduction / Picture Stories - Input 2. Picture Stories - Practice 3. Picture Stories - Presentations 4. Short Speeches - Input 5. Short Speeches - Practice 6. Short Speeches - Presentations 7. Communication Game - Do Your Own Thing! 8. Graded Readers - Input 9. Graded Readers - Practice 10. English Theatre 11. Graded Readers - Presentations 12. Skits - Input 13. Skits - Practice 14. Skits - Presentations 15. Communication Games - Sports Day						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading ⅠA						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	講読による英語理解						
授業の概要	Power Reading ⅠAは、英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成することを目的とする。授業クラスは、入学時に実施される英語テストの成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用い、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を理解する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Chapter 1 Moon Exploration (1) Reading 第2回 Chapter 1 Mood Exploration (2) Exercises 第3回 Chapter 2 Steven Spielberg (1) Reading 第4回 Chapter 2 Steven Spielberg (2) Exercises 第5回 Chapter 3 World Population (1) Reading 第6回 Chapter 3 World Population (2) Exercises 第7回 Chapter 1～3についての質問と試験 第8回 Chapter 4 Money and Sport (1) Reading 第9回 Chapter 4 Money and Sport (2) Exercises 第10回 Chapter 5 The Sculpture of Rodin (1) Reading 第11回 Chapter 5 The Sculpture of Rodin (2) Exercises 第12回 Chapter 6 Positive Thinking (1) Reading 第13回 Chapter 6 Positive Thinking (2) Exercises 第14回 Chapter 7 Esperanto Reading 第15回 Chapter 4～7についての質問と試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力と英語に対する感覚が身に付く。完全な予習には2時間は必要と考える。授業には必ず予習して出席すること。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法だ。授業で習った重要な構文、表現、単語を、たとえわずかな時間であっても復習すれば、大きな力と自信が身につく。						
授業方法	講義＋演習						
評価基準と評価方法	定期試験（2回）70％ 平常点（小テスト12回）30％						
教科書	Supreme Reading 1 宍戸真、Steve Taylor-Knowles、Malcolm Mann 成美堂 ISBN978-4-7919-1281-0 C1082						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	郡司 隆男						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英語による文章を的確に読むことの練習						
授業の概要	英語の文章を的確な速さで読み、内容を的確に把握する力を養成することを目的とします。 この授業では、入学時に実施される英語テストの成績を基に習熟度別に編成されたクラス分けにしたがい、各レベルの学生の学力に適した教科書を用い、各レベルに応じた進度で授業を進めていきます。単語、イディオム、構文のようなことはそのものだけでなく、文化・歴史などの背景知識も加えて、より深く内容を理解することをめざします。						
到達目標	(1) ある程度の長さの英語の文章を苦勞せずに読むことができる。 (2) 英語の文章のある程度以上の速さで読むことができる。 (3) 英語の文章の内容を的確にとらえることができる。 (4) 英語の文章の論理的な構造を把握できる。 (5) 文章の背景となる英語圏の文化・歴史などに関心を払うことができる。						
授業計画	以下はテキストの章・節立てに沿った、大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定。 第1回 導入、Conclusions / Reasons (理由で押し切る!) (1): A. Fuel-Only Corn 第2回 Conclusions / Reasons (理由で押し切る!) (2): B. Is the Right Brain More Important than the Left? 第3回 Social Phenomenon (社会現象を説明する) (1): A. "No Toilet, No Bride" Campaign in India 第4回 Social Phenomenon (社会現象を説明する) (2): B. Macedonian Naming Dispute 第5回 Result / Cause (原因を究明する) (1): A. Dreams Come True 第6回 Result / Cause (原因を究明する) (2): B. Boys' Toys and Girls' Toys 第7回 Several Explanations (いくつかの説明) (1): A. Northern People Have Bigger Brains 第8回 Several Explanations (いくつかの説明) (2): B. Gold Fish Magic 第9回 Comparison (比べてみよう!) (1): A. Macau and Hong Kong 第10回 Comparison (比べてみよう!) (2): B. Comparison of Right of Succession in the U.K. and Japan 第11回 For and Against (賛成と反対) (1): A. Should the Smallpox Virus be Kept? 第12回 For and Against (賛成と反対) (2): B. Was Dropping the Atomic Bombs Right? 第13回 Classification (分類してみよう!) (1): A. Tea 第14回 Classification (分類してみよう!) (2): B. Folk Tales 第15回 まとめ						
授業外における学習 (準備学習の内容)	シラバスにしたがって、教科書のその日にやるところを予習して教室に来ること。 授業中にあてられてから辞書を引くことは認めません。						
授業方法	教科書の前半7章を、1章につき2週間かけて、どんどんあてながら、演習に近い形式で進めていきます。						
評価基準と評価方法	不定期な小テスト (50%)、授業中の態度 (10%)、および学期末の試験ないしレポート (40%) を考慮して成績をつけます。						
教科書	構造で読む英文エッセイ＜上級編＞---Skills for Better Reading <Advanced> 石谷 由美子 著 南雲堂 ISBN: 978-4-523-17773-9						
参考書	授業中に指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading ⅠA						
担当教員	白川 計子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力の養成						
授業の概要	授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用いて、各レベルに応じた進捗でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	英文をその構造を意識しながら読み、正確に内容把握することができる。 多用される基本的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 授業説明・教科書紹介 第2回 Chapter 1 第3回 Chapter 2 第4回 復習と小テスト 第5回 Chapter 3 第6回 Chapter 4 第7回 復習と小テスト 第8回 Chapter 5 第9回 Chapter 6 第10回 復習と小テスト 第11回 Chapter 7 第12回 Chapter 8 第13回 復習と小テスト 第14回 模擬試験・復習 第15回 期末試験・復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	指示された部分の語彙の意味調べや練習問題など、授業前の十分な予習を前提とする。						
授業方法	講義（講読）						
評価基準と評価方法	平常点と小テスト５０％、前期試験５０％						
教科書	Gordenker, Alice / Rucynski, John. Surprising Japan! 松柏社, 2013 ISBN: 978-4-88198-675-2						
参考書							

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	講読による英語理解						
授業の概要	Power Reading I Bは、Power Reading I A と同じように、習熟度別クラス編成の下、クラスに応じた教科書を使用し、英語を単語、イディオム、構文のような語法に関することのみならず、文化と社会を含む百科事典的知識についても解説をおこない、英語の総合的読解力の向上を目指す。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Chapter 8 Globalization (1) Reading 第2回 Chapter 8 Globalization (2) Exercises 第3回 Chapter 9 Online Language Learning (1) Reading 第4回 Chapter 9 Online Language Learning (2) Exercises 第5回 Chapter 10 Advertizing (1) Reading 第6回 Chapter 10 Advertizing (2) Exercises 第7回 Chapter 8～10についての質問と試験 第8回 Chapter 11 Life without Technology (1) Reading 第9回 Chapter 11 Life without Technology (2) Exercises 第10回 Chapter 12 Urban Wildlife (1) Reading 第11回 Chapter 12 Urban Wildlife (2) Exercises 第12回 Chapter 13 Smart Drugs (1) Reading 第13回 Chapter 13 Smart Drugs (2) Exercises 第14回 Chapter 14 Disappearing Languages Reading 第15回 Chapter 11～14についての質問と試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力と英語に対する感覚が身に付く。完全な予習には2時間は必要と考える。授業には必ず予習して出席すること。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法だ。授業で習った重要な構文、表現、単語を、たとえわずかな時間であっても復習すれば、大きな力と自信が身につく。						
授業方法	講義＋演習						
評価基準と評価方法	定期試験（2回）70％ 平常点（小テスト12回）30％						
教科書	Supreme Reading 1 宍戸真、Steve Taylor-Knowles、Malcolm Mann 成美堂 ISBN978-4-7919-1281-0 C1082						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	郡司 隆男						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英語による文章を的確に読むことの練習						
授業の概要	英語の文章を的確な速さで読み、内容を的確に把握する力を養成することを目的とします。 この授業では、入学時に実施される英語テストの成績を基に習熟度別に編成されたクラス分けにしたがい、各レベルの学生の学力に適した教科書を用い、各レベルに応じた進度で授業を進めていきます。単語、イディオム、構文のようなことはそのものだけでなく、文化・歴史などの背景知識も加えて、より深く内容を理解することをめざします。						
到達目標	(1) ある程度の長さの英語の文章を苦勞せずに読むことができる。 (2) 英語の文章のある程度以上の速さで読むことができる。 (3) 英語の文章の内容を的確にとらえることができる。 (4) 英語の文章の論理的な構造を把握できる。 (5) 文章の背景となる英語圏の文化・歴史などに関心を払うことができる。						
授業計画	以下はテキストの章・節立てに沿った、大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定。 第1回 導入、History（歴史をたどる）(1): A. History of Coffee 第2回 導入、History（歴史をたどる）(2): B. History of the Weekend 第3回 Process（過程を説明）(1): A. How to Play Kabaddi 第4回 Process（過程を説明）(2): B. How to Select an American President 第5回 Cause and Effect（原因と結果）(1): A. Uganda: a Banana Republic 第6回 Cause and Effect（原因と結果）(2): B. Detroit Bankruptcy 第7回 Problem Solving（問題解決）(1): A. “Paradox” 第8回 Problem Solving（問題解決）(2): B. Monty Hall Problem 第9回 Definition of a New Word（最近気になる言葉を考えよう）(1): A. “Garapagos Syndrome” 第10回 Definition of a New Word（最近気になる言葉を考えよう）(2): B. Rare Earth 第11回 Experiments（実験で証明）(1): A. Rats also Have Sympathy 第12回 Experiments（実験で証明）(2): B. Indian DNA 第13回 New Product（新製品）(1): A. Blue Rose 第14回 New Product（新製品）(2): B. Coca-Cola 第15回 まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	シラバスにしたがって、教科書のその日にやるところを予習して教室に来ること。 授業中にあてられてから辞書を引くことは認めません。						
授業方法	教科書の後半7章を、1章につき2週間かけて、どんどんあてながら、演習に近い形式で進めていきます。						
評価基準と評価方法	不定期な小テスト（50%）、授業中の態度（10%）、および学期末の試験ないしレポート（40%）を考慮して成績をつけます。						
教科書	構造で読む英文エッセイ＜上級編＞――Skills for Better Reading <Advanced> 石谷 由美子 著 南雲堂 ISBN：978-4-523-17773-9						
参考書	授業中に指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	白川 計子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力の養成						
授業の概要	授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用いて、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	英文をその構造を意識しながら読み、正確に内容把握することができる。 多用される基本的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 Chapter 9 第2回 Chapter 10 第3回 復習と小テスト 第4回 Chapter 11 第5回 Chapter 12 第6回 復習と小テスト 第7回 Chapter 13 第8回 Chapter 14 第9回 復習と小テスト 第10回 Chapter 15 第11回 Useful expressions for presenting your idea 第12回 Speech Contest 第13回 Chapter 9~15の復習 第14回 模擬試験・復習 第15回 期末試験・復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	指示された部分の語彙の意味調べや練習問題など、授業前の十分な予習を前提とする。						
授業方法	講義（講読）						
評価基準と評価方法	平常点と小テスト５０％、期末試験５０％						
教科書	Gordenker, Alice / Rucynski, John. Surprising Japan! 松柏社, 2013 ISBN: 978-4-88198-675-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む技能を訓練する。語、イディオム、構文のようなことばの理解だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識を得ることで、英文を正確に読み、的確に把握する力を養成する。あわせて、TOEIC対策としての語彙力の強化も目指す。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、すばやく内容把握することができる。 (2) TOEICテストなどに頻出する実践的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 授業オリエンテーション、Readingの技術、Readingの視点 第2回 Lesson 1 Energy Drinks (語彙チェックとReading前半) 第3回 Lesson 1 Energy Drinks (Reading後半とExercise) 第4回 Lesson 2 Method Acting (語彙チェックとReading前半) 第5回 Lesson 2 Method Acting (Reading後半とExercise) 第6回 Lesson 3 Luminol 第7回 Lesson 4 Endocrine Disruptors 第8回 Lesson 5 Code-Switching 第9回 Lesson 1-5の復習と中間試験 第10回 Lesson 6 Bluetooth 第11回 Lesson 7 Undercover Marketing 第12回 Lesson 8 Temperament 第13回 Lesson 9 Xenophobia 第14回 Lesson 10 Biofeedback 第15回 Lesson 6-10の復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	指示された部分の語彙の意味調べや構文の確認など、授業前の十分な予習を前提とする。						
授業方法	講義（講読）						
評価基準と評価方法	中間試験と期末試験70%、単語テストなどに基づく平常点30% 授業回数の3分の1以上欠席した人は定期試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『Reading Expert 3（リーディングエキスパート・発展編）』、宍戸真・Bruce Allen他著、成美堂、ISBN978-4-7919-3082-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成						
授業の概要	2年次のPower Reading II Aは、1年次のPower Reading I A, Bに引き続き、同じ方針の下、英語の読解力のさらなる向上を目指す授業である。繰り返しになるが方針は、語、イディオム、構文のような言葉の説明だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明もおこなうことによって、英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成する。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Chapter 1 Flying Gold, Honey and Honey Bees Reading 1-3 (1) 第2回 Chapter 1 Flying Gold, Honey and Honey Bees Reading 4-6 (2) 第3回 Chapter 1 Flying Gold, Honey and Honey Bees Reading 7と 練習問題 (3) 第4回 Chapter 2 Worth Their Weight in Gold, The History of Spices Reading 1-3 (1) 第5回 Chapter 2 Worth Their Weight in Gold, The History of Spices Reading 4-6 (2) 第6回 Chapter 2 Worth Their Weight in Gold, The History of Spices Reading 7と練習問題 (3) 第7回 Chapter 1～2 についての質問と試験 第8回 Chapter 3 Superfood, The Incredible Banana Reading 1-2 (1) 第9回 Chapter 3 Superfood, The Incredible Banana Reading 3-4 (2) 第10回 Chapter 3 Superfood, The Incredible Banana Reading 5-6と練習問題 (3) 第11回 Chapter 4 Golden Rice and Insect Burgers, The Future of Food Reading 1-4 (1) 第12回 Chapter 4 Golden Rice and Insect Burgers, The Future of Food Reading 5-7 (2) 第13回 Chapter 4 Golden Rice and Insect Burgers, The Future of Food Reading 8-9と練習問題 (3) 第14回 Chapter 5 Glasses that Make You Smarter, Wearable Technology and Augmented Reality 第15回 Chapter 3～5についての質問と試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力と英語に対する感覚が身に付く。完全な予習には2時間は必要と考える。授業には必ず予習して出席すること。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法だ。授業で習った重要な構文、表現、単語を、たとえわずかな時間であっても復習すれば、大きな力と自信が身につく。						
授業方法	講義＋演習						
評価基準と評価方法	定期試験（2回）70％ 平常点（小テスト12回）30％						
教科書	World of Wonders Inspiring the Future Anthony Sellick、John Barton、小笠原亜衣著 成美堂 ISBN978-4-7919-4796-6 C1082						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	白川 計子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む技能を訓練する。語、イディオム、構文のようなことばの理解だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識を得ることで、英文を正確に読み、的確に把握する力を養成する。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、すばやく内容把握することができる。 (2) 実践的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 授業オリエンテーション：Readingの技術、Readingの視点 第2回 Lesson 1 Yoga 第3回 Lesson 2 Post-it Notes 第4回 Lesson 3 Space Travel 第5回 Lesson 4 Internet Slang 第6回 Lesson 5 Ice cream Taster 第7回 Lesson 6 Mia Hamm 第8回 Lesson 1～6のまとめと復習、中間試験 第9回 Lesson 7 Bullying 第10回 Lesson 8 Quebec Winter Carnival 第11回 Lesson 9 Plagiarism 第12回 Lesson 10 Sick Building Syndrome 第13回 Lesson 11 Bird Strikes 第14回 Lesson 12 Underpopulation 第15回 Lesson 7～12のまとめと復習、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	指示された部分の語彙の意味調べや練習問題など、授業前の十分な予習を前提とする。						
授業方法	講義（講読）						
評価基準と評価方法	授業回数の3分の1以上欠席した人は定期試験の受験資格を失うものとする。 中間テストなどに基づく平常点50％ 期末試験50％						
教科書	Practical Reading Expert リーディング エキスパート―基礎強化編― 宍戸真、森茂利、鎌田幸雄、Jason Barrows著、成美堂 ISBN978-4-7919-5081-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み・内容を把握する力を伸ばす						
授業の概要	この授業では、英文を正確に読み、内容を適格に把握する力をさらに伸ばす。授業クラスは、学生の学力に適した教科書を用い、各レベルに応じた進度で行う。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化・政治・歴史・社会状況などの背景的な知識の説明も行うことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	英語がすらすらと読めるようにする。						
授業計画	第1回 イントロ [授業説明・教科書紹介] 第2回 Lesson 1: The miracle on the Hudson 第3回 Lesson 2: Down with selfishness 第4回 Lesson 3: Garmajobat 第5回 Lesson 4: Lay judge system 第6回 Lesson 5: The knight of Sudan / 試験範囲・内容発表 第7回 ここまでの復習 第8回 質疑応答・中間試験 第9回 Lesson 6: America's game? 第10回 Lesson 7: The road to the presidency 第11回 Lesson 8: The jazz funeral 第12回 Lesson 9: Kenichiro Mogi 第13回 Lesson 10: Stem cell research / 試験範囲・内容発表 第14回 ここまでの復習 第15回 質疑応答・期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず辞書を引いて予習をしてきて下さい。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	■定期試験70% 平常点30%						
教科書	Matsuo, H., et al. Reading Cry ISBN: 978-4-38433-402-9						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIB						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む技能を訓練する。語、イディオム、構文のようなことばに関する理解だけでなく、文化を含めた背景的知識についての理解を深め、英語の総合的読解力の向上を図る。あわせて、TOEIC対策に役立つ語彙力の強化も目指す。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、すばやく内容把握することができる。 (2) TOEICテストなどに頻出する実践的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 Lesson 11 Apoptosis (語彙チェックとReading前半) 第2回 Lesson 11 Apoptosis (Reading後半とExercise) 第3回 Lesson 12 Lobbying 第4回 Lesson 13 The Big Bang Theory 第5回 Lesson 14 The Bandwagon Effect 第6回 Lesson 15 Broadway Musicals 第7回 Lesson 16 Taj Mahal 第8回 Lesson 11-16の復習と中間試験 第9回 Lesson 17 Panopticism 第10回 Lesson 18 Medical Ethics 第11回 Lesson 19 Hypnosis (語彙チェックとReading前半) 第12回 Lesson 19 Hypnosis (Reading後半とExercise) 第13回 Lesson 20 Food Taboos (語彙チェックとReading前半) 第14回 Lesson 20 Food Taboos (Reading後半とExercise) 第15回 Lesson 17-20の復習と期末試験						
授業外における学習 (準備学習の内容)	指示された部分の語彙の意味調べや構文の確認など、授業前の十分な予習を前提とする。						
授業方法	講義 (講読)						
評価基準と評価方法	中間試験と期末試験70%、単語テストなどに基づく平常点30% 授業回数の3分の1以上欠席した人は定期試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『Reading Expert 3 (リーディングエキスパート・発展編)』、宍戸真・Bruce Allen他著、成美堂、ISBN978-4-7919-3082-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIB						
担当教員	白川 計子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む技能を訓練する。語、イディオム、構文のようなことばの理解だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識を得ることで、英文を正確に読み、的確に把握する力を養成する。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、すばやく内容把握することができる。 (2) 実践的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 Lesson 13 Jellyfish 第2回 Lesson 14 Glass Artist 第3回 Lesson 15 Brazilian Soccer 第4回 Lesson 16 The Oedipus and Electra Complexes 第5回 Lesson 17 Yahoo! 第6回 Lesson 18 Light Pollution 第7回 Lesson 19 The Variety of English 第8回 Lesson 13～19のまとめと復習、中間試験 第9回 Lesson 20 Virtual Reality Therapy 第10回 Lesson 21 Guy Fawkes Day 第11回 Lesson 22 In 2030 第12回 Lesson 23 Astronauts in Space 第13回 Lesson 24 Crash Test Dummies 第14回 Lesson 20～24のまとめと復習 第15回 期末試験と復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	指示された部分の語彙の意味調べや練習問題など、授業前の十分な予習を前提とする。						
授業方法	講義（講読）						
評価基準と評価方法	授業回数の3分の1以上欠席した人は定期試験の受験資格を失うものとする。 中間テストなどに基づく平常点50％ 期末試験50％						
教科書	Practical Reading Expert リーディング エキスパート―基礎強化編― 穴戸真、森茂利、鎌田幸雄、Jason Barrows著、成美堂 ISBN978-4-7919-5081-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIB						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み・内容を把握する力を伸ばす						
授業の概要	この授業では、英文を正確に読み、内容を適格に把握する力を伸ばします。授業クラスは、学生の学力に適した教科書を用い、各レベルに応じた進度で行います。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化・政治・歴史・社会状況などの背景的な知識の説明も行うことによって、より深く内容を理解できるようにします。						
到達目標	ずんずんと英文が読めることができる。						
授業計画	第1回 イントロ [授業説明・教科書紹介] 第2回 Lesson 1 Robots 第3回 Lesson 2 The Shape of the Face 第4回 Lesson 3 Killer Bees 第5回 Lesson 4 Celebrating Fifteen 第6回 Lesson 5 A Folktale: Stone Soup / 試験範囲・内容発表 第7回 ここまでの復習 第8回 質疑応答・中間試験 第9回 Lesson 6 Lightning 第10回 Lesson 7 Potatoes 第11回 Lesson 8 Right Brain or Left Brain? 第12回 Lesson 9 Louis Braille 第13回 Lesson 10 Laws about Children / 試験範囲・内容発表 第14回 ここまでの復習 第15回 質疑応答・期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず辞書を引いて予習をしてきて下さい。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	■定期試験70% 平常点30%						
教科書	Broukal, Milada & Tomoko Sekiguchi. Connection 2. Shohakusha/Cengage Learning. ISBN: 978-4-88198-697-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking 1A						
担当教員	予備登録						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における学習（準備学習の内容）	
授業方法	
評価基準と評価方法	
教科書	
参考書	

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. Angel						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are: 1. Introducing yourself 2. Greetings 3. Sharing personal information 4. Talking about jobs 5. Talking about likes and dislikes 6. Talking about food and drink 7. Review session 8. Talking about habits and routines 9. Talking about sports and exercise 10. Describing present activities 11. Talking about daily activities 12. Talking about past events 13. Talking about problems 14. Review session 15. Revision and listening test Note that changes are possible owing to student learning requirements.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Wilson, K. Smart Choice 1 (2nd Edition) Oxford ISBN 978-0-19-440737-3						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. Angel						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are: 1. Introducing yourself 2. Greetings 3. Sharing personal information 4. Talking about jobs 5. Talking about likes and dislikes 6. Talking about food and drink 7. Review session 8. Talking about habits and routines 9. Talking about sports and exercise 10. Describing present activities 11. Talking about daily activities 12. Talking about past events 13. Talking about problems 14. Review session 15. Revision and listening test Note that changes are possible owing to student learning requirements.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Wilson, K. Smart Choice 1 (2nd Edition) ISBN 978-0-19-440737-3 and Smart Choice 1 Workbook 2nd edition ISBN 978-0-19-440729-8. Oxford						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	D. Chatham						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are: 1. Introduction, classroom language, vacations 2. Agreeing and disagreeing 3. Activities and plans 4. Expansion 5. Quiz and review 6. Extreme sports 7. Personal experiences 8. Interviews 9. Expansion 10. Quiz and review 11. Special events 12. New Year's traditions 13. Festivals 14. Expansion 15. Quiz and review Note that changes are possible owing to student learning requirements.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% attendance 10%.						
教科書	Smart Choice 2 (2nd Edition) Ken Wilson Oxford ISBN 978-0-19-440738-0 Smart Choice 2 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978019 4407304						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	D. Chatham						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are: 1. Introduction, classroom language, vacations 2. Agreeing and disagreeing 3. Activities and plans 4. Expansion 5. Quiz and review 6. Extreme sports 7. Personal experiences 8. Interviews 9. Expansion 10. Quiz and review 11. Special events 12. New Year's traditions 13. Festivals 14. Expansion 15. Quiz and review Note that changes are possible owing to student learning requirements.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Smart Choice 2 (2nd Edition) Ken Wilson Oxford ISBN 978-0-19-440738-0 Smart Choice 2 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978019 4407304						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	B. Plett						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression pronunciation and listening practice reading and talk based on reading topics entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are: 1. Talking about vacations 2. Talking about places to go and things to do 3. Giving opinions 4. Talking about movies and music 5. Talking about experiences 6. Talking about sports and activities 7. Review session 8. Describing places 9. Talking about world geography 10. Describing special events 11. Talking about birthdays and weddings 12. Giving advice 13. Talking about healthy lifestyles 14. Revision and listening test 15. Review session Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. As this course is taught by two different teachers, one on Tuesday and one on Friday, the Units in the textbook will be divided between them. Individual teachers will, in class, advise the students which Units they should prepare for their classes.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Smart Choice 2 (2nd Edition) Ken Wilson Oxford ISBN 978-0-19-440738-0 Smart Choice 2 Workbook. Oxford University Press, 2011. ISBN 978019 4407304						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	B. Plett						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression pronunciation and listening practice reading and talk based on reading topics entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are: 1. Talking about vacations 2. Talking about places to go and things to do 3. Giving opinions 4. Talking about movies and music 5. Talking about experiences 6. Talking about sports and activities 7. Review session 8. Describing places 9. Talking about world geography 10. Describing special events 11. Talking about birthdays and weddings 12. Giving advice 13. Talking about healthy lifestyles 14. Revision and listening test 15. Review session Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. As this course is taught by two different teachers, one on Tuesday and one of Friday, the Units in the textbook will be divided between them. Individual teachers will, in class, advise the students which Units they should prepare for their classes.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Smart Choice 2 (2nd Edition) Ken Wilson Oxford ISBN 978-0-19-440738-0 Smart Choice 2 Workbook. Oxford University Press, 2011. ISBN 978019 4407304						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. G. Ueno						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student' s knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are: 1. Introducing yourself 2. Greetings 3. Sharing personal information 4. Talking about jobs 5. Talking about likes and dislikes 6. Talking about food and drink 7. Review session 8. Talking about habits and routines 9. Talking about sports and exercise 10. Describing present activities 11. Talking about daily activities 12. Talking about past events 13. Talking about problems 14. Review session 15. Revision and listening test Note that changes are possible owing to student learning requirements.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Wilson, K. Smart Choice 1 (2nd Edition) ISBN 978-0-19-440737-3 and Smart Choice 1 Workbook 2nd edition ISBN 978-0-19-440729-8. Oxford						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. G. Ueno						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are: 1. Introducing yourself 2. Greetings 3. Sharing personal information 4. Talking about jobs 5. Talking about likes and dislikes 6. Talking about food and drink 7. Review session 8. Talking about habits and routines 9. Talking about sports and exercise 10. Describing present activities 11. Talking about daily activities 12. Talking about past events 13. Talking about problems 14. Review session 15. Revision and listening test Note that changes are possible owing to student learning requirements.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Wilson, K. Smart Choice 1 (2nd Edition) ISBN 978-0-19-440737-3 Oxford Smart Choice 1 Workbook (2nd Edition) ISBN 978-0-19-440729-8						
参考書							

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. Angel						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	Week 1 Unit 7a Making comparisons 2 Unit 7b Clothing 3 Unit 8a Describing people 4 Unit 8b Appearance and personality 5 Unit 9a Talking about cities 6 Unit 9b Local attractions 7 Review 7 - 9 8 Unit 10a Talking about places 9 Unit 10b Places around town 10 Unit 11a Talking about vacations 11 Unit 11b Vacation activities 12 Unit 12a Talking about the future 13 Unit 12b Careers and schools 14 Review 10 - 12 15 Listening test and course conclusion Note that changes are possible owing to student learning requirements.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Wilson, K. Smart Choice 1 (2nd Edition) Oxford ISBN 978-0-19-440737-3						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. Angel						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student' s knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	Week 1 Unit 7a Making comparisons 2 Unit 7b Clothing 3 Unit 8a Describing people 4 Unit 8b Appearance and personality 5 Unit 9a Talking about cities 6 Unit 9b Local attractions 7 Review 7 - 9 8 Unit 10a Talking about places 9 Unit 10b Places around town 10 Unit 11a Talking about vacations 11 Unit 11b Vacation activities 12 Unit 12a Talking about the future 13 Unit 12b Careers and schools 14 Review 10 - 12 15 Listening test and course conclusion Note that changes are possible owing to student learning requirements.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Wilson, K. Smart Choice 1 (2nd Edition) ISBN 978-0-19-440737-3 and Smart Choice 1 Workbook 2nd edition ISBN 978-0-19-440729-8. Oxford						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	D. Chatham						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression pronunciation and listening practice reading and talk based on reading topics entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are: 1. Shopping 2. Complaints 3. Shopping habits 4. Expansion 5. Quiz and review 6. Injuries 7. Past events 8. Dramatic events 9. Expansion 10. Quiz and review 11. Past activities 12. Past habits 13. Family histories 14. Expansion 15. Quiz and review Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. As this course is taught by two different teachers, one on Tuesday and one of Friday, the Units in the textbook will be divided between them. Individual teachers will, in class, advise the students which Units they should prepare for their classes.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Smart Choice 2 (2nd Edition) Ken Wilson Oxford ISBN 978-0-19-440738-0 Smart Choice 2 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978019 4407304						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	D. Chatham						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression pronunciation and listening practice reading and talk based on reading topics entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are: 1. Shopping 2. Complaints 3. Shopping habits 4. Expansion 5. Quiz and review 6. Injuries 7. Past events 8. Dramatic events 9. Expansion 10. Quiz and review 11. Past activities 12. Past habits 13. Family histories 14. Expansion 15. Quiz and review Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. As this course is taught by two different teachers, one on Tuesday and one of Friday, the Units in the textbook will be divided between them. Individual teachers will, in class, advise the students which Units they should prepare for their classes.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Smart Choice 2 (2nd Edition) Ken Wilson Oxford ISBN 978-0-19-440738-0 Smart Choice 2 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978019 4407304						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	B. Plett						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression pronunciation and listening practice reading and talk based on reading topics entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are: 1. Making complaints 2. Talking about stores and things to buy 3. Describing preferences 4. Talking about appearance and personality 5. Telling stories 6. Talking about accidents and injuries 7. Review session 8. Making speculations 9. Talking about animal features 10. Talking about past habits 11. Talking about school activities 12. Explaining possibilities 13. Talking about places to live 14. Revision and listening test 15. Review session Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. As this course is taught by two different teachers, one on Tuesday and one of Friday, the Units in the textbook will be divided between them. Individual teachers will, in class, advise the students which Units they should prepare for their classes.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Smart Choice 2 (2nd Edition) Ken Wilson Oxford ISBN 978-0-19-440738-0 Smart Choice 2 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978019 4407304						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	B. Plett						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression pronunciation and listening practice reading and talk based on reading topics entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are: 1. Making complaints 2. Talking about stores and things to buy 3. Describing preferences 4. Talking about appearance and personality 5. Telling stories 6. Talking about accidents and injuries 7. Review session 8. Making speculations 9. Talking about animal features 10. Talking about past habits 11. Talking about school activities 12. Explaining possibilities 13. Talking about places to live 14. Revision and listening test 15. Review session Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. As this course is taught by two different teachers, one on Tuesday and one of Friday, the Units in the textbook will be divided between them. Individual teachers will, in class, advise the students which Units they should prepare for their classes.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Smart Choice 2 (2nd Edition) Ken Wilson Oxford ISBN 978-0-19-440738-0 Smart Choice 2 Workbook. Oxford: Oxford University Press, 2011. ISBN 978019 4407304						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. G. Ueno						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	Week 1 Unit 7a Making comparisons 2 Unit 7b Clothing 3 Unit 8a Describing people 4 Unit 8b Appearance and personality 5 Unit 9a Talking about cities 6 Unit 9b Local attractions 7 Review 7 - 9 8 Unit 10a Talking about places 9 Unit 10b Places around town 10 Unit 11a Talking about vacations 11 Unit 11b Vacation activities 12 Unit 12a Talking about the future 13 Unit 12b Careers and schools 14 Review 10 - 12 15 Listening test and course conclusion Note that changes are possible owing to student learning requirements.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Wilson, K. Smart Choice 1 (2nd Edition) ISBN 978-0-19-440737-3 and Smart Choice 1 Workbook 2nd edition ISBN 978-0-19-440729-8. Oxford						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. G. Ueno						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	Week 1 Unit 7a Making comparisons 2 Unit 7b Clothing 3 Unit 8a Describing people 4 Unit 8b Appearance and personality 5 Unit 9a Talking about cities 6 Unit 9b Local attractions 7 Review 7 - 9 8 Unit 10a Talking about places 9 Unit 10b Places around town 10 Unit 11a Talking about vacations 11 Unit 11b Vacation activities 12 Unit 12a Talking about the future 13 Unit 12b Careers and schools 14 Review 10 - 12 15 Listening test and course conclusion Note that changes are possible owing to student learning requirements.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.						
教科書	Wilson, K. Smart Choice 1 (2nd Edition) Oxford ISBN 978-0-19-440737-3						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	K. Jolley						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking I. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIA は、Power Speaking Iを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation. 授業では様々な練習を通じて、より長く持続できるコミュニケーションと会話術を学ぶ。授業時間の一部を割いて、プレゼンテーションの準備と発表を行う。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 Unit 7 (Talking about the weather) speaking and listening 第3回 Unit 7 viewing and presenting 第4回 Unit 7 further practice 第5回 Choosing a topic for the poster presentation 第6回 Unit 8 (Talking about everyday activities) speaking and listening 第7回 Unit 8 viewing and presenting 第8回 Unit 8 further practice 第9回 Preparation and practice for poster presentation 第10回 Final practice for poster presentation 第11回 In-class poster presentation contest 第12回 Unit 9 (Talking about study activities) speaking and listening 第13回 Unit 9 viewing and presenting 第14回 Unit 9 further practice 第15回 Summary, review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%). 授業活動（60％）、プレゼンテーション（20％）、定期試験（20％）で総合的に評価する。						
教科書	Stretch – Multi-pack 2B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460333-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	K. Jolley						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking I. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIA は、Power Speaking Iを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation. 授業では様々な練習を通じて、より長く持続できるコミュニケーションと会話術を学ぶ。授業時間の一部を割いて、プレゼンテーションの準備と発表を行う。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 Unit 7 (Talking about the weather) speaking and listening 第3回 Unit 7 viewing and presenting 第4回 Unit 7 further practice 第5回 Choosing a topic for the poster presentation 第6回 Unit 8 (Talking about everyday activities) speaking and listening 第7回 Unit 8 viewing and presenting 第8回 Unit 8 further practice 第9回 Preparation and practice for poster presentation 第10回 Final practice for poster presentation 第11回 In-class poster presentation contest 第12回 Unit 9 (Talking about study activities) speaking and listening 第13回 Unit 9 viewing and presenting 第14回 Unit 9 further practice 第15回 Summary, review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%). 授業活動（60％）、プレゼンテーション（20％）、定期試験（20％）で総合的に評価する。						
教科書	Stretch – Multi-pack 2B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460333-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	I. Sandhu						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking I. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIA は、Power Speaking Iを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation. 授業では様々な練習を通じて、より長く持続できるコミュニケーションと会話術を学ぶ。授業時間の一部を割いて、プレゼンテーションの準備と発表を行う。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 Unit 7 (Talking about famous people) speaking and listening 第3回 Unit 7 viewing and presenting 第4回 Unit 7 further practice 第5回 Choosing a topic for the poster presentation 第6回 Unit 8 (Talking about shopping) speaking and listening 第7回 Unit 8 viewing and presenting 第8回 Unit 8 further practice 第9回 Preparation and practice for poster presentation 第10回 Final practice for poster presentation 第11回 In-class poster presentation contest 第12回 Unit 9 (Talking about health) speaking and listening 第13回 Unit 9 viewing and presenting 第14回 Unit 9 further practice 第15回 Summary, review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%). 授業活動（60％）、プレゼンテーション（20％）、定期試験（20％）で総合的に評価する。						
教科書	Stretch – Multi-pack 1B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460332-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	A. J. Silva						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking I. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIA は、Power Speaking Iを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation. 授業では様々な練習を通じて、より長く持続できるコミュニケーションと会話術を学ぶ。授業時間の一部を割いて、プレゼンテーションの準備と発表を行う。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 Unit 7 (Talking about famous people) speaking and listening 第3回 Unit 7 viewing and presenting 第4回 Unit 7 further practice 第5回 Choosing a topic for the poster presentation 第6回 Unit 8 (Talking about shopping) speaking and listening 第7回 Unit 8 viewing and presenting 第8回 Unit 8 further practice 第9回 Preparation and practice for poster presentation 第10回 Final practice for poster presentation 第11回 In-class poster presentation contest 第12回 Unit 9 (Talking about health) speaking and listening 第13回 Unit 9 viewing and presenting 第14回 Unit 9 further practice 第15回 Summary, review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%). 授業活動（60％）、プレゼンテーション（20％）、定期試験（20％）で総合的に評価する。						
教科書	Stretch – Multi-pack 1B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460332-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking I. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIA は、Power Speaking Iを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation. 授業では様々な練習を通じて、より長く持続できるコミュニケーションと会話術を学ぶ。授業時間の一部を割いて、プレゼンテーションの準備と発表を行う。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 Unit 7 (Talking about famous people) speaking and listening 第3回 Unit 7 viewing and presenting 第4回 Unit 7 further practice 第5回 Choosing a topic for the poster presentation 第6回 Unit 8 (Talking about shopping) speaking and listening 第7回 Unit 8 viewing and presenting 第8回 Unit 8 further practice 第9回 Preparation and practice for poster presentation 第10回 Final practice for poster presentation 第11回 In-class poster presentation contest 第12回 Unit 9 (Talking about health) speaking and listening 第13回 Unit 9 viewing and presenting 第14回 Unit 9 further practice 第15回 Summary, review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical（実習）						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%). 授業活動（60%）、プレゼンテーション（20%）、定期試験（20%）で総合的に評価する。						
教科書	Stretch – Multi-pack 1B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460332-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIB						
担当教員	K. Jolley						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIB is the follow-up course to Power Speaking IIA. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIBは、Power Speaking IIAを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	In Power Speaking IIB students will focus on improving their conversational abilities, as well as practice engaging in simple discussion on topics of personal and social interest. One part of class time will be dedicated to the preparation of a speech and participation in a class speech contest. Power Speaking IIBでは英語会話能力がある一定のレベルに達した学生が、教室での活動を通じて、若者に興味のある様々な個人的・社会的な話題についての自分の意味を形成し、明確かつ簡潔に正確な英語で表現できるようになることを目指す。授業時間の一部を割いて、スピーチの準備と発表をおこなう。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 Unit 10 (Talking about school) speaking and listening 第3回 Unit 10 viewing and presenting 第4回 Unit 10 further practice 第5回 Choosing a topic for the speech 第6回 Unit 11 (Asking favors and making requests) speaking and listening 第7回 Unit 11 viewing and presenting 第8回 Unit 11 further practice 第9回 Preparation and practice for speech 第10回 Final practice for speech 第11回 In-class poster speech contest 第12回 Unit 12 (Talking about travel plans) speaking and listening 第13回 Unit 12 viewing and presenting 第14回 Unit 12 further practice 第15回 Summary, review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their speech, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical（実習）						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their speech (20%), and a final test (20%). 授業活動（60％）、スピーチ（20％）、定期試験（20％）で総合的に評価する。						
教科書	Stretch – Multi-pack 2B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460333-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIB						
担当教員	K. Jolley						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIB is the follow-up course to Power Speaking IIA. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIBは、Power Speaking IIAを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	In Power Speaking IIB students will focus on improving their conversational abilities, as well as practice engaging in simple discussion on topics of personal and social interest. One part of class time will be dedicated to the preparation of a speech and participation in a class speech contest. Power Speaking IIBでは英語会話能力がある一定のレベルに達した学生が、教室での活動を通じて、若者に興味のある様々な個人的・社会的な話題についての自分の意味を形成し、明確かつ簡潔に正確な英語で表現できるようになることを目指す。授業時間の一部を割いて、スピーチの準備と発表をおこなう。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 Unit 10 (Talking about school) speaking and listening 第3回 Unit 10 viewing and presenting 第4回 Unit 10 further practice 第5回 Choosing a topic for the speech 第6回 Unit 11 (Asking favors and making requests) speaking and listening 第7回 Unit 11 viewing and presenting 第8回 Unit 11 further practice 第9回 Preparation and practice for speech 第10回 Final practice for speech 第11回 In-class poster speech contest 第12回 Unit 12 (Talking about travel plans) speaking and listening 第13回 Unit 12 viewing and presenting 第14回 Unit 12 further practice 第15回 Summary, review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their speech, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their speech (20%), and a final test (20%). 授業活動（60％）、スピーチ（20％）、定期試験（20％）で総合的に評価する。						
教科書	Stretch – Multi-pack 2B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460333-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIB						
担当教員	I. Sandhu						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIB is the follow-up course to Power Speaking IIA. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIBは、Power Speaking IIAを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	In Power Speaking IIB students will focus on improving their conversational abilities, as well as practice engaging in simple discussion on topics of personal and social interest. One part of class time will be dedicated to the preparation of a speech and participation in a class speech contest. Power Speaking IIBでは英語会話能力がある一定のレベルに達した学生が、教室での活動を通じて、若者に興味のある様々な個人的・社会的な話題についての自分の意味を形成し、明確かつ簡潔に正確な英語で表現できるようになることを目指す。授業時間の一部を割いて、スピーチの準備と発表をおこなう。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 Unit 10 (Talking about places) speaking and listening 第3回 Unit 10 viewing and presenting 第4回 Unit 10 further practice 第5回 Choosing a topic for the speech 第6回 Unit 11 (Talking about music) speaking and listening 第7回 Unit 11 viewing and presenting 第8回 Unit 11 further practice 第9回 Preparation and practice for speech 第10回 Final practice for speech 第11回 In-class poster speech contest 第12回 Unit 12 (Talking about making plans) speaking and listening 第13回 Unit 12 viewing and presenting 第14回 Unit 12 further practice 第15回 Summary, review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their speech, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their speech (20%), and a final test (20%). 授業活動（60％）、スピーチ（20％）、定期試験（20％）で総合的に評価する。						
教科書	Stretch – Multi-pack 1B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460332-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIB						
担当教員	A. J. Silva						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIB is the follow-up course to Power Speaking IIA. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use. Power Speaking IIBは、Power Speaking IIAを受けて、学生の日常英会話の能力を幅広いコミュニケーションの機能と場面に適用できるレベルに伸ばすことを目的とする。						
到達目標	In Power Speaking IIB students will focus on improving their conversational abilities, as well as practice engaging in simple discussion on topics of personal and social interest. One part of class time will be dedicated to the preparation of a speech and participation in a class speech contest. Power Speaking IIBでは英語会話能力がある一定のレベルに達した学生が、教室での活動を通じて、若者に興味のある様々な個人的・社会的な話題についての自分の意味を形成し、明確かつ簡潔に正確な英語で表現できるようになることを目指す。授業時間の一部を割いて、スピーチの準備と発表をおこなう。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 Unit 10 (Talking about places) speaking and listening 第3回 Unit 10 viewing and presenting 第4回 Unit 10 further practice 第5回 Choosing a topic for the speech 第6回 Unit 11 (Talking about music) speaking and listening 第7回 Unit 11 viewing and presenting 第8回 Unit 11 further practice 第9回 Preparation and practice for speech 第10回 Final practice for speech 第11回 In-class poster speech contest 第12回 Unit 12 (Talking about making plans) speaking and listening 第13回 Unit 12 viewing and presenting 第14回 Unit 12 further practice 第15回 Summary, review and test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their speech, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical (実習)						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their speech (20%), and a final test (20%). 授業活動（60％）、スピーチ（20％）、定期試験（20％）で総合的に評価する。						
教科書	Stretch – Multi-pack 1B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460332-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	J. Angel						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing ideas and expressing those ideas in written English. The aim of this course is for students to write more complex sentences and build them into paragraphs.						
到達目標	・ writing about yourself and your hobbies, ・ telling a story ・ using different types of language for formal and informal situations. ・ descriptions ・ increasing vocabulary ・ writing paragraphs						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Introduction 2) Unit 1: complete sentences 3) Unit 1: paragraph topics 4) Unit 2: topic sentences 5) Unit 2: combining sentences 6) Unit 3: descriptive paragraphs 7) Unit 3: descriptive paragraphs 8) Unit 4: word maps 9) Unit 4: concluding sentences 10) Unit 5: freewriting 11) Unit 5: peer feedback 12) Unit 6: opinion paragraphs 13) Unit 6: opinion paragraphs 14) Unit 6: opinion paragraphs 15) Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
教科書	Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	S. Bibby						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.						
到達目標	・ writing about yourself and your hobbies, ・ telling a story ・ using different types of language for formal and informal situations. ・ descriptions ・ increasing vocabulary ・ writing paragraphs						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Introduction 2) Unit 1: complete sentences 3) Unit 1: paragraph topics 4) Unit 2: topic sentences 5) Unit 2: combining sentences 6) Unit 3: descriptive paragraphs 7) Unit 3: descriptive paragraphs 8) Unit 4: word maps 9) Unit 4: concluding sentences 10) Unit 5: freewriting 11) Unit 5: peer feedback 12) Unit 6: opinion paragraphs 13) Unit 6: opinion paragraphs 14) Unit 6: opinion paragraphs 15) Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
教科書	Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.						
到達目標	・ writing about yourself and your hobbies, ・ telling a story ・ using different types of language for formal and informal situations. ・ descriptions ・ increasing vocabulary ・ writing paragraphs						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Introduction 2) Unit 1: complete sentences 3) Unit 1: paragraph topics 4) Unit 2: topic sentences 5) Unit 2: combining sentences 6) Unit 3: descriptive paragraphs 7) Unit 3: descriptive paragraphs 8) Unit 4: word maps 9) Unit 4: concluding sentences 10) Unit 5: freewriting 11) Unit 5: peer feedback 12) Unit 6: opinion paragraphs 13) Unit 6: opinion paragraphs 14) Unit 6: opinion paragraphs 15) Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
教科書	Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	B. Plett						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing ideas and expressing those ideas in written English. The aim of this course is for students to write more complex sentences and build them into paragraphs.						
到達目標	・ writing about yourself and your hobbies, ・ telling a story ・ using different types of language for formal and informal situations. ・ descriptions ・ increasing vocabulary ・ writing paragraphs						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Introduction 2) Unit 1: complete sentences 3) Unit 1: paragraph topics 4) Unit 2: topic sentences 5) Unit 2: combining sentences 6) Unit 3: descriptive paragraphs 7) Unit 3: descriptive paragraphs 8) Unit 4: word maps 9) Unit 4: concluding sentences 10) Unit 5: freewriting 11) Unit 5: peer feedback 12) Unit 6: opinion paragraphs 13) Unit 6: opinion paragraphs 14) Unit 6: opinion paragraphs 15) Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
教科書	Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	J. G. Ueno						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	English Composition This course has been designed to develop the following skills for written English: brainstorming, organizing ideas, expressing themes, formulating topic sentences, and transitioning between topics. The aim of this course is for students to write more complex sentences, and to build them into cohesive meaningful paragraphs.						
到達目標	*writing about yourself and your hobbies *telling a story *writing descriptions *increasing vocabulary *using different registers of language for formal and informal situations *writing personal letters and emails (to a host family, etc.)						
授業計画	The exact schedule and contents are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Chapter 1: Introducing Yourself 2) Chapter 1: Writing about Yourself 3) Chapter 1: Writing about Yourself & Understanding Punctuation Rules 4) Chapter 2: Writing about Your Family and Friends 5) Chapter 2: Writing about Your Family and Friends 6) Chapter 2: Writing a Personal Letter and/or Email 7) Chapter 3: Writing about Your Activities 8) Chapter 3: Understanding Topic Sentences and Organization of Paragraphs 9) Chapter 3: Writing about Habits 10) Chapter 4: Giving Instructions 11) Chapter 4: Ordering Sentences and Ideas 12) Chapter 5: Writing About Your Day 13) Chapter 5: Writing About Daily Routines 14) Chapter 5: Writing about Special Events and Writing a Personal Note 15) Course Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will have to write short assignments (paragraphs, essays, or reports) at home, or you will have to correct, revise, or rewrite your work.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	100% of the final grade is based on class participation, homework, essays, and reports. Evaluation is continual, so students are advised not to be absent.						
教科書	Ready to Write 1: A First Composition Text (3rd Edition) Karen Blanchard and Christine Root Pearson Longman ISBN: 978-0-13-136330-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	J. G. Ueno						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	English Composition This course has been designed to develop the following skills for written English: brainstorming, organizing ideas, expressing themes, formulating topic sentences, and transitioning between topics. The aim of this course is for students to write more complex sentences, and to build them into cohesive meaningful paragraphs.						
到達目標	*writing about yourself and your hobbies *telling a story *writing descriptions *increasing vocabulary *using different registers of language for formal and informal situations *writing personal letters and emails (to a host family, etc.)						
授業計画	The exact schedule and contents are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Chapter 1: Introducing Yourself 2) Chapter 1: Writing about Yourself 3) Chapter 1: Writing about Yourself & Understanding Punctuation Rules 4) Chapter 2: Writing about Your Family and Friends 5) Chapter 2: Writing about Your Family and Friends 6) Chapter 2: Writing a Personal Letter and/or Email 7) Chapter 3: Writing about Your Activities 8) Chapter 3: Understanding Topic Sentences and Organization of Paragraphs 9) Chapter 3: Writing about Habits 10) Chapter 4: Giving Instructions 11) Chapter 4: Ordering Sentences and Ideas 12) Chapter 5: Writing About Your Day 13) Chapter 5: Writing About Daily Routines 14) Chapter 5: Writing about Special Events and Writing a Personal Note 15) Course Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will have to write short assignments (paragraphs, essays, or reports) at home, or you will have to correct, revise, or rewrite your work.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	100% of the final grade is based on class participation, homework, essays, and reports. Evaluation is continual, so students are advised not to be absent.						
教科書	Ready to Write 1: A First Composition Text (3rd Edition) Karen Blanchard and Christine Root Pearson Longman ISBN: 978-0-13-136330-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing B						
担当教員	J. Angel						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing ideas and expressing those ideas in written English. The aim of this course is for students to write more complex sentences and build them into paragraphs.						
到達目標	・ writing about yourself and your hobbies, ・ telling a story ・ using different types of language for formal and informal situations. ・ descriptions ・ increasing vocabulary ・ writing paragraphs						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Introduction 2) Unit 7: cause and effect 3) Unit 7: cause and effect 4) Unit 8: expressing personal feelings 5) Unit 8: logical order 6) Unit 9: expressions of time 7) Unit 9: narrative 8) Unit 10: comparisons 9) Unit 10: comparisons 10) Unit 11: cause and effect relationships 11) Unit 11: cause and effect relationships 12) Unit 12: review of brainstorming techniques 13) Unit 12: review of transition expressions 14) Unit 12: writing about the future 15) Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
教科書	Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing B						
担当教員	B. Plett						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing ideas and expressing those ideas in written English. The aim of this course is for students to write more complex sentences and build them into paragraphs.						
到達目標	・ writing about yourself and your hobbies, ・ telling a story ・ using different types of language for formal and informal situations. ・ descriptions ・ increasing vocabulary ・ writing paragraphs						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Introduction 2) Unit 7: cause and effect 3) Unit 7: cause and effect 4) Unit 8: expressing personal feelings 5) Unit 8: logical order 6) Unit 9: expressions of time 7) Unit 9: narrative 8) Unit 10: comparisons 9) Unit 10: comparisons 10) Unit 11: cause and effect relationships 11) Unit 11: cause and effect relationships 12) Unit 12: review of brainstorming techniques 13) Unit 12: review of transition expressions 14) Unit 12: writing about the future 15) Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
教科書	Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing B						
担当教員	J. G. Ueno						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	English Composition This course has been designed to develop the following skills for written English: brainstorming, organizing ideas, expressing themes, formulating topic sentences, and transitioning between topics. The aim of this course is for students to write more complex sentences, and to build them into cohesive meaningful paragraphs.						
到達目標	*telling a story *writing descriptions *increasing vocabulary *using different registers of language for formal and informal situations *writing personal letters or emails *writing business letters (applying for a job, etc.) *writing a cv						
授業計画	The exact schedule and contents are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Chapter 6: Describing People' s Appearance & Clothing 2) Chapter 6: Describing Character & Writing about Yourself 3) Chapter 6: Describing Things 4) Chapter 7: Describing Rooms and Building 5) Chapter 7: Writing about Places 6) Chapter 7: Writing about Places and Writing Personal Letters 7) Chapter 8: Telling a Story 8) Chapter 8: Writing a Narrative and Organizing Time in a Story 9) Chapter 8: Writing about Your Personal Experiences and Stories 10) Chapter 9: Expressing Opinions 11) Chapter 9: Giving Advice 12) Chapter 9: Expressing Opinions in a Formal Register 13) Writing Business Letters and Using the Formal Register 14) Writing a cv and Using the Formal Register 15) Course Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will have to write short assignments (paragraphs, essays, or reports) at home, or you will have to correct, revise, or rewrite your work.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	100% of the final grade is based on class participation, homework, essays, and reports. Evaluation is continual, so students are advised not to be absent.						
教科書	Ready to Write 1: A First Composition Text (3rd Edition) Karen Blanchard and Christine Root Pearson Longman ISBN: 978-0-13-136330-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing B						
担当教員	J. G. Ueno						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	English Composition This course has been designed to develop the following skills for written English: brainstorming, organizing ideas, expressing themes, formulating topic sentences, and transitioning between topics. The aim of this course is for students to write more complex sentences, and to build them into cohesive meaningful paragraphs.						
到達目標	*telling a story *writing descriptions *increasing vocabulary *using different registers of language for formal and informal situations *writing personal letters or emails *writing business letters (applying for a job, etc.) *writing a cv						
授業計画	The exact schedule and contents are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Chapter 6: Describing People' s Appearance & Clothing 2) Chapter 6: Describing Character & Writing about Yourself 3) Chapter 6: Describing Things 4) Chapter 7: Describing Rooms and Building 5) Chapter 7: Writing about Places 6) Chapter 7: Writing about Places and Writing Personal Letters 7) Chapter 8: Telling a Story 8) Chapter 8: Writing a Narrative and Organizing Time in a Story 9) Chapter 8: Writing about Your Personal Experiences and Stories 10) Chapter 9: Expressing Opinions 11) Chapter 9: Giving Advice 12) Chapter 9: Expressing Opinions in a Formal Register 13) Writing Business Letters and Using the Formal Register 14) Writing a cv and Using the Formal Register 15) Course Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will have to write short assignments (paragraphs, essays, or reports) at home, or you will have to correct, revise, or rewrite your work.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	100% of the final grade is based on class participation, homework, essays, and reports. Evaluation is continual, so students are advised not to be absent.						
教科書	Ready to Write 1: A First Composition Text (3rd Edition) Karen Blanchard and Christine Root Pearson Longman ISBN: 978-0-13-136330-4						
参考書							

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	F. Shiobara						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中学・高校で学習した英文法の復習と英文法知識の定着						
授業の概要	Practical English Grammarは、英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。 中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。						
到達目標	授業では、文法用語の説明は必要最小限度にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説をおこない練習問題で学習内容を確認する。教科書は、学校文法に準拠したものを使い、実践的な英文法の知識を与えることを目的とする。						
授業計画	第1回 Introduction, Verb be, Present 第2回 Past, Present perfect 第3回 Expressing future 第4回 Passive, verb forms 第5回 Test 1 / Grammar games 第6回 Modals 第7回 'There' and 'it' 第8回 Auxiliary verbs, Questions 第9回 '-ing' and 'to' 第10回 Test 2 / Grammar games 第11回 Pronouns and possessives 第12回 Determiners, 'a' and 'the' 第13回 Adjectives and adverbs 第14回 Prepositions and phrasal verbs 第15回 Test 3 / Grammar games Note that changes are possible owing to student learning requirements						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習をして授業に臨んでください。						
授業方法	実習						
評価基準と評価方法	テスト [3回] (60%), 宿題(40%)						
教科書	Basic Grammar in Use, Workbook, 3rd ed. William R. Smalzer, with Raymond Murphy Cambridge University Press ISBN 978-0-521-13330-2						
参考書	Basic Grammar in Use, 3rd ed. Raymond Murphy, with William R. Smalzer Cambridge University Press ISBN 978-0-521-13353-1						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中学・高校で学習した英文法の復習と英文法知識の定着						
授業の概要	Practical English Grammar Aは、英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。 中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。						
到達目標	授業では、文法用語の説明は必要最小限度にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説をおこない練習問題で学習内容を確認する。教科書は、学校文法に準拠したものを使い、実践的な英文法の知識を与えることを目的とする。						
授業計画	第1回 Introduction, Verb be, Present 第2回 Past, Present perfect 第3回 Expressing future 第4回 Passive, verb forms 第5回 Test 1 / Grammar games 第6回 Modals 第7回 'There' and 'it' 第8回 Auxiliary verbs, Questions 第9回 '-ing' and 'to' 第10回 Test 2 / Grammar games 第11回 Pronouns and possessives 第12回 Determiners, 'a' and 'the' 第13回 Adjectives and adverbs 第14回 Prepositions and phrasal verbs 第15回 Test 3 / Grammar games Note that changes are possible owing to student learning requirements						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習をして授業に臨んでください。						
授業方法	実習						
評価基準と評価方法	テスト〔3回〕(60%)、宿題(40%)						
教科書	Basic Grammar in Use, Workbook, 3rd ed. William R. Smalzer, with Raymond Murphy Cambridge University Press ISBN 978-0-521-13330-2						
参考書	Basic Grammar in Use, 3rd ed. Raymond Murphy, with William R. Smalzer Cambridge University Press ISBN 978-0-521-13353-1						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文法の基礎知識の確認						
授業の概要	Practical English Grammarは英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。授業では、文法用語の説明は最小限度にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説をおこない、練習問題で学習内容を確認する。教科書は、学校文法に準拠したものを使い、実践的な英文法の知識を与えることを目的とする。						
到達目標	英文法の基礎知識が獲得できる。						
授業計画	第1回 Lesson 8 完了形 過去完了形 (2) 第2回 Lesson 9 助動詞 can, may, must (1) 第3回 Lesson 10 助動詞 would, should, used to (2) 第4回 Lesson 11 関係詞 関係代名詞 (1) 第5回 Lesson 12 関係詞 関係副詞 (2) 第6回 まとめと試験 第7回 Lesson 13 態 基本の解説 (1)、Lesson 14 態 注目すべき受動態 (2) 第8回 Lesson 15 不定詞 3つの用法 (1) 第9回 Lesson 16 不定詞 不定詞を用いた構文 (2) 第10回 Lesson 17 分詞 基本的用法 (1)、Lesson 18 分詞 分詞構文 (2) 第11回 Lesson 19 動名詞 基本的用法 (1) 第12回 Lesson 20 動名詞 注意点と構文 第13回 Lesson 21 比較 (1) 第14回 Lesson 22 比較 (2) 第15回 まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習 英語が上達する方法は予習することです。予習して理解できたと思ったことはほとんどの場合正解です。正解であることを授業で確認してください。予習して、自分で正解にはなっていないと思ったことは100%不正解です。その場合は、どこが間違っていたのかを授業で確認してください。このような作業を繰り返すことで、驚くほど英語力がアップします。予習もせず授業を聴いているだけでは少しも英語力はアップしません。4年間は経験してみればわかりますが、あつと言う間です。何もしなければ何も手に入りません。頑張れば多くのことを手に入れることができます。この4年間に有意義に過ごすことが、卒業後の人生を豊かにします。予習を忘れないでください。 授業後学習 文法に関していえば、予習し授業をしっかりと聴いていれば、復習は軽く目を通す程度で十分です。						
授業方法	講義＋演習						
評価基準と評価方法	試験（2回）80点と課題（20点）						
教科書	New English Master 北山長貴、Margaret Yamanaka、福井慶一郎著 成美堂 ISBN978-4-7919-4788-1 C1082						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	郡司 隆男						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中学・高校で学習した英文法の復習と英文法知識の定着						
授業の概要	Practical English Grammar Aは、英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。 中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。						
到達目標	授業では、文法用語の説明は必要最小限度にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説をおこない練習問題で学習内容を確認する。教科書は、学校文法に準拠したものを使い、実践的な英文法の知識を与えることを目的とする。						
授業計画	第1回 授業紹介 第2回 Unit 1 品詞の種類 第3回 Unit 2 5文型 第4回 Unit 3 文の種類 第5回 Unit 4 基本3時制と進行形 第6回 Unit 5 完了形 第7回 Unit 6 受動態 第8回 質疑応答・中間試験 第9回 Unit 7 使役 第10回 Unit 8 仮定法 第11回 Unit 9 話法と時制の一致 第12回 Unit 10 不定詞 第13回 Unit 11 分詞 第14回 Unit 12 動名詞 第15回 質疑応答・期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習をして授業に臨んでください。						
授業方法	講義＋実習						
評価基準と評価方法	授業参加点40%＋試験（3回）60%						
教科書	石井・菅井・西川 基礎文法からはじめる大学英語学習 松柏社 ISBN 978-4-88198-629-5						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中学・高校で学習した英文法の復習と英文法知識の定着						
授業の概要	Practical English Grammar Aは、英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。 中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。						
到達目標	授業では、文法用語の説明は必要最小限度にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説をおこない練習問題で学習内容を確認する。教科書は、学校文法に準拠したものを使い、実践的な英文法の知識を与えることを目的とする。						
授業計画	第1回 授業紹介 第2回 Unit 1 品詞の種類 第3回 Unit 2 5文型 第4回 Unit 3 文の種類 第5回 Unit 4 基本3時制と進行形 第6回 Unit 5 完了形 第7回 Unit 6 受動態 第8回 質疑応答・中間試験 第9回 Unit 7 使役 第10回 Unit 8 仮定法 第11回 Unit 9 話法と時制の一致 第12回 Unit 10 不定詞 第13回 Unit 11 分詞 第14回 Unit 12 動名詞 第15回 質疑応答・期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習をして授業に臨んでください。						
授業方法	講義＋実習						
評価基準と評価方法	授業参加点40%＋試験（3回）60%						
教科書	石井・菅井・西川 基礎文法からはじめる大学英語学習 松柏社 ISBN 978-4-88198-629-5						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar A						
担当教員	吉井 康博						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	実践英文法演習						
授業の概要	Practical English Grammar Aは、英語の4技能の強化をはかるための基礎科目です。中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠であるだけでなく、さらに英語力を伸ばす効果的で効率のよい学習方法です。授業では、文法用語による説明は必要最小限にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説を行い、練習問題で学習内容を確認します。教科書は、日常的な会話やライティングに使える実用的な語彙や例文を扱ったものを使用します						
到達目標	文法知識を演習形式で体系づけることにより、英文の意味を正確に捉え、正しい英語を話し、書けるようにします。						
授業計画	1. Orientation / Perfect and Perfect Progressive Tenses (First Part) 2. Review Quiz / Future Time (First Part) 3. Review Quiz / Modals, Part II (First Part) 4. Review Quiz / The Passive (First Part) 5. Review Quiz / Noun Clauses (First Part) 6. Review Quiz / Adjective Clauses (First Part) 7. Review Quiz / Gerunds and Infinitives, Part I (First Part) 8. Review Quiz / Gerunds and Infinitives, Part II (First Part) 9. Review Quiz / Coordinating Conjunctions (First Part) 10. Review Quiz / Adverb Clauses (First Part) 11. Review Quiz / Reduction of Adverb Clauses to Adverbial Phrases (First Part) 12. Review Quiz / Connectives that Expresses Cause and Effect (First Part) 13. Review Quiz / Conditional Sentences and Wishes (First Part) 14. Review Lesson 15. Question-and-Answer Session / End-of-Semester Review Quiz						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回復習テストを行いますから、しっかりとテスト準備をすること。						
授業方法	基本事項の解説の後、練習問題を解いていきます。						
評価基準と評価方法	Review Quiz: 30% / Participation: 10% / End-of-Semester Review Quiz 60%						
教科書	Understanding and Using English Grammar WORKBOOK Betty S. Azar他 PEARSON EDUCATION / Longman ISBN 0-13-241543-7 978-0-13-241543-9						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	吉井 康博						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	実践英文法演習						
授業の概要	Practical English Grammar Aと同様中学校・高等学校で学んだ英文法を復習し知識を整理することで、英語の理解と運用に役立てます。授業も文法用語による説明は必要最小限にとどめ、用例を用いてできるだけ具体的に説明し、練習問題で学習内容を確認します。前期のAと後期のBで、英語を理解し運用するのに必要な英文法の基本的な項目全般について一通り見ていき、実践的な知識を養います。						
到達目標	文法知識を演習形式で体系づけることにより英文の意味を正確に捉え、正しい英語を話し書けるようにします。						
授業計画	1. Orientation / Perfect and Perfect Progressive Tenses (Second Part) 2. Review Quiz / Future Time (Second Part) 3. Review Quiz / Modals, Part II (Second Part) 4. Review Quiz / The Passive (Second Part) 5. Review Quiz / Noun Clauses (Second Part) 6. Review Quiz / Adjective Clauses (Second Part) 7. Review Quiz / Gerunds and Infinitives, Part I (Second Part) 8. Review Quiz / Gerunds and Infinitives, Part II (Second Part) 9. Review Quiz / Coordinating Conjunctions (Second Part) 10. Review Quiz / Adverb Clauses (Second Part) 11. Review Quiz / Reduction of Adverb Clauses to Adverbial Phrases (Second Part) 12. Review Quiz / Connectives that Expresses Cause and Effect (Second Part) 13. Review Quiz / Conditional Sentences and Wishes (Second Part) 14. Review Lesson 15. Question-and-Answer Session / End-of-Semester Review Quiz						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回復習テストを行いますから、しっかりとテスト準備をすること。						
授業方法	基本事項の解説の後、練習問題を解いていきます。						
評価基準と評価方法	Review Quiz: 30% / Participation: 10% / End-of-Semester Review Quiz 60%						
教科書	Understanding and Using English Grammar WORKBOOK Betty S. Azar他 PEARSON EDUCATION / Longman ISBN 0-13-241543-7 978-0-13-241543-9						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学A／TOEFL & Study Abroad A						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEFL ITP受験対策と留学準備						
授業の概要	TOEFLと海外留学Aは、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、大学で学ぶ英語に対する学生の能力を高めることによって、1年次の終りのTOEFL試験で高成績を上げるためのコースの前半を成す。教室では、文法知識の授業に加えて、リスニングとリーディングスキルに焦点を当てる。さらに、現代の英語圏諸国での慣習を紹介し、留学先での大学生活に関するアドバイスも与える。						
到達目標	1. 言い換え、否定、受動態、疑問文のリスニング 2. 要約と詳細な情報を得るためのリーディング 3. 文法上の間違いを発見すること						
授業計画	1 クラス分け / Course Introduction 2 Listening 1, Reading 1 3 Structure 1/2, Semester Abroad 4 Listening 2, Reading 2 5 Structure 3/4, Adelaide, Australia 6 Listening 3, Reading (TRE1-2) 7 Structure 5/6, Delaware, US 8 Review and Course Test A 9 Listening 4, Reading 3 10 Structure 7/8, York St. John, UK 11 Listening 5, Reading (TRE1-3) 12 Structure 9/10, Auckland, New Zealand 13 Listening 6, Reading 4 14 Structure 11/12/13, Victoria, Canada 15 Review and Course Test 2						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEFL ITP 試験問題の練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題(20%)、2 x コーステスト(80%)に基づきます。						
教科書	Phillips, D. Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test (with Answer Key) Pearson Longman ISBN 0-1318-4718-X						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学A／TOEFL & Study Abroad A						
担当教員	岡部 浩子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Pre-TOEFL Testと留学準備						
授業の概要	1. このコースは、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、1年次の終りのTOEFL試験で高成績を上げるためのコースの前半を成す。 2. 教室では、Pre-TOEFLのリスニング、ストラクチャー、リーディングに焦点を絞って練習します。英語圏の国々の日常生活、大学での勉強、ホームステイに関するアドバイスも与えられます。 3. 宿題は必要に応じて課されます 4. 初回の授業でクラス分けをします。						
到達目標	1. 言い換え、否定、受動態、疑問文のリスニング 2. 要約と詳細な情報を得るためのリーディング 3. 文法上の間違いを発見すること						
授業計画	第1回 クラス分け / Course Introduction 第2回 Diagnostic Pre-Test (Listening), Listening skill 1(pp.3-13) 第3回 Diagnostic Pre-Test (Structure), Structure Skill 1(pp.55-65) 第4回 Diagnostic Pre-Test (Reading) (pp.143-151) 第5回 Reading Skill 1(pp.154-160) 第6回 Listening Skill 2(pp.14-16), Structure Skill 2 and 3(pp.66-70) 第7回 Reading Skill 2(pp.160-167) 第8回 Review and Course Test A 第9回 Listening Skill 3(pp.16-19), Structure Skill 4 and 5(pp.70-76) 第10回 Reading Skill 3(pp.168-174) 第11回 Listening Skill 4(pp.19-22), Structure Skill 6 and 7(pp.76-82) 第12回 Reading Skill 4(pp.175-181) 第13回 Listening Skill 5(pp.23-26), Structure Skill 8 and 9(pp.82-88) 第14回 Reading Skill 5(pp.182-188) 第15回 Review and Course Test B						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEFL ITP 試験問題の練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題(20%)、2 x テスト(40% x 2 = 80%)						
教科書	Phillips, D. Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test (without Answer Key) Pearson Longman ISBN 0-1318-4719-4 (このISBNの番号で購入してください)						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学A／TOEFL & Study Abroad A						
担当教員	森岡 高子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Pre-TOEFLTestと留学の準備						
授業の概要	1. このコースは、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、1年次の終りのTOEFL試験で高成績を上げるためのコースの前半を成す。 2. 教室ではPre-TOEFLのリスニング、ストラクチャー、リーディングに焦点を絞って練習します。英語圏の国々の日常生活、大学での勉強、ホームステイに関するアドバイスも与えられます。 3. 宿題は必要に応じて課されます。 4. 初回の授業でクラス分けをします。						
到達目標	1. 言い換え、否定、受動態、疑問文のリスニング 2. 要約と詳細な情報を得るためのリーディング 3. 文法上の間違いを発見すること						
授業計画	1. クラス分け / Course Introduction 2. Diagnostic Pre-Test (Listening), Listening Skill 1 (pp. 3-13) 3. Diagnostic Pre-Test (Structure), Structure Skill 1 (pp. 55-65) 4. Diagnostic Pre-Test (Reading) (pp. 143-151) 5. Reading Skill 1 (pp. 154-160) 6. Listening Skill 2 (pp. 14-16), Structure Skill 2 and 3 (pp. 66-70) 7. Reading Skill 2 (pp. 160-167) 8. 質疑応答/まとめと COURSE TEST A 9. Listening Skill 3 (pp. 16-19), Structure Skill 4 and 5 (pp. 70-76) 10. Reading Skill 3 (pp. 168-174) 11. Listening Skill 4 (pp. 19-22), Structure Skill 6 and 7 (pp. 76-82) 12. Reading Skill 4 (pp. 175-181) 13. Listening Skill 5 (pp. 23-26), Structure Skill 8 and 9 (pp. 82-88) 14. Reading Skill 5 (pp. 182-188) 15. 質疑応答/まとめと COURSE TEST B 受講生の学習到達度により変更の可能性あり。						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEFL ITP 試験問題の練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は出席/宿題（20%） テストx 2（40% x 2 = 80%）に基づきます。						

教科書	Phillips, D. Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test (without answer key) Pearson Longman ISBN 0-1318-4719-4 (このISBNの番号で購入してください)
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学B／TOEFL & Study Abroad B						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEFL ITP受験対策と留学準備						
授業の概要	TOEFLと海外留学Bでは、以下の3点に焦点を当てることにより、さらにリスニングとリーディングスキル、文法知識を伸ばすことを図る。さらに、英語圏の社会での家庭生活を紹介し、学生がホームステイと地域社会での生活にうまく溶け込めるようなアドバイスを与える。最後に実際のTOEFL試験問題を集中的に練習し、受験に備える。						
到達目標	1. 長い会話と講義のリスニング 2. 行間を読むことと文脈から語彙の意味を推測する 3. 誤解されやすい文法事項と慣用表現						
授業計画	1. Listening 7, Reading TRE1-4 (One/Two) 2. Structure 14/15, Study Abroad Questions 3. Listening 8, Reading 5 (One/Two) 4. Structure 17/18, Study Abroad Answers 5. Listening 9, Reading TRE1-5 (One/Two) 6. Structure 19/20, Pre-TOEFL Listening - Practice Test 7. Pre-TOEFL S&R, Reading TRE1-5 (Three) 8. Listening 11, Reading 6 (One/Two) 9. Review and Course Test 1 10. Listening 12, Structure 23 11. Structure 24/25, Reading 6 (Three) 12. Reading (TRE1-6), Structure (TRE1-25) 13. Post-test Listening 14. Post-test Structure 15. Course Test 2, Course Summary						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEFL-PBT試験問題の練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題(10%)、2 x コーステスト(60%)、1 x TOEFL ITP テスト(30%) に基づきます。						
教科書	Philips, D. Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test (with Answer Key) Pearson Longman ISBN 0-1318-4718-X						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学B／TOEFL & Study Abroad B						
担当教員	岡部 浩子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Pre-TOEFL Testと留学準備						
授業の概要	1. このコースは、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、1年次の終わりのTOEFL試験で高成績を上げるためのコースの後半を成す。 2. 教室ではPre-TOEFLのリスニング、ストラクチャー、リーディングに焦点を絞って練習します。英語圏の国々の日常生活、大学での勉強、ホームステイに関するアドバイスも与えられます。 3. 宿題は必要に応じて課されます。 4. 学内Pre-TOEFL Testを11月に受験しなければならない。						
到達目標	1. 長い会話と講義のリスニング 2. 行間を読むことと文脈から語彙の意味を推測する 3. 誤解されやすい文法事項と慣用表現						
授業計画	第1回 Listening Skill 6(pp.26-29), Structure Skill 10 and 11(pp.89-96) 第2回 Reading Skill 6(pp.189-195) 第3回 Listening Skill 7-9(pp.32-37), Structure Skill 12 and 13(pp.96-101) 第4回 TOEFL Post-Test (Reading) (pp.198-205) 第5回 Listening Skill 10-12(pp.38-45), Structure Skill 14 and 15(pp.102-107) 第6回 Structure Skill 16-18(pp.108-113) 第7回 Structure Skill 19 and 20(pp.114-118), Review Exercise 第8回 Review and Course Test A 第9回 TOEFL Post-Test (Listening) (pp.46-51), Structure Skill 21-23(pp.119-125) 第10回 Complete Test One (Reading) (pp.258-265) 第11回 Complete Test One (Listening) (pp.245-250), Structure Skill 24 and 25(pp.126-132) 第12回 Complete Test Two (Reading) (pp.282-289) 第13回 Complete Test Two (Listening) (pp.269-274), TOEFL Post-Test (Structure) (pp.133-138) 第14回 Complete Test One (Structure) (pp.251-257), Complete Test Two (Structure) (pp.275-281) 第15回 Review and Course Test B						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEFL ITP 試験問題の練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題(10%)、2 x テスト(30% x 2 = 60%)、(11月実施)TOEFL ITP テスト(30%) に基づきます。						
教科書	Philips, D. Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test (without Answer Key) Pearson Longman ISBN 0-1318-4719-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	TOEFLと海外留学B／TOEFL & Study Abroad B						
担当教員	森岡 高子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Pre-TOEFL Testと留学の準備（前期のAから継続）						
授業の概要	1. このコースは、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、1年次の終りのTOEFL試験で高成績を上げるためのコースの後半を成す。 2. 教室ではPre-TOEFLのリスニング、ストラクチャー、リーディングに焦点を絞って練習します。英語圏の国々の日常生活、大学での勉強、ホームステイに関するアドバイスも与えられます。 3. 宿題は必要に応じて課されます。 4. 学内Pre-TOEFL Testを11月に受験しなければならない。 (Option: 学内Pre-TOEFL Test 2月 - 別途受験料3000円)						
到達目標	1. 長い会話と講義のリスニング 2. 行間を読むことと文脈から語彙の意味を推測する 3. 誤解されやすい文法事項と慣用表現						
授業計画	1. Listening Skill 6 (pp. 26-29), Structure Skill 10 and 11 (pp. 89-96) 2. Reading Skill 6 (pp. 189-195) 3. Listening Skill 7-9 (pp. 32-37), Structure Skill 12 and 13 (pp. 96-101) 4. TOEFL Post-Test (Reading) (pp. 198-205) 5. Listening Skill 10-12 (pp. 38-45), Structure Skill 14 and 15 (pp. 102-107) 6. Structure Skill 16-18 (pp. 108-113) 7. Structure Skill 19 and 20 (pp. 114-118), Review Exercise 8. 質疑応答/まとめとCourse Test A 9. TOEFL Post-Test (Listening) (pp. 46-51), Structure Skill 21-23 (pp. 119-125) 10. Complete Test One (Reading) (pp. 258-265) 11. Complete Test One (Listening) (pp. 245-250), Structure Skill 24 and 25 (pp. 126-132) 12. Complete Test Two (Reading) (pp. 282-289) 13. Complete Test Two (Listening) (pp. 269-274), TOEFL Post-Test (Structure) (pp. 133-138) 14. Complete Test One (Structure) (pp. 251-257), Complete Test Two (Structure) (pp. 275-281) 15. 質疑応答/まとめとCourse Test B 受講生の学習到達度により変更の可能性あり。						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEFL ITP 試験問題の練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は出席/宿題(10%) テストx 2 (30% x 2 = 60%)、 (11月実施) Pre-TOEFL Test (30%) に基づきます。						

教科書	Phillips, D. Longman Introductory Course for the TOEFL Test: The Paper Test (Without Answer Key) Pearson Longman ISBN 0-1318-4719-4
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンストスピーキングA/Advanced Speaking A						
担当教員	予備登録						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における学習（準備学習の内容）	
授業方法	
評価基準と評価方法	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンストスピーキングA／Advanced Speaking A						
担当教員	S. Bibby						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Advanced Speaking						
授業の概要	The main focus of the course is to improve students' general communicative ability. Speaking skills are divided into discussion and presentation, around six core themed topics. The topics are recycled across the two semesters. As a specific presentation item, all students participate in the Presentation Contest. *This course is taught entirely in English*						
到達目標	Students will improve in these areas: * general conversational skills * discussion skills around a series of themed topics * presentation skills, both within regular class and for the Presentation Contest * vocabulary, based on most frequently appearing words, thus the most useful words (from the National General Service List, NGSL) – better vocabulary improves speaking, plus listening and reading * critical thinking skills						
授業計画	The following is subject to change, and is necessarily tentative: 1. Course introductions, Unit 1: The Effects of Advertising 2. Unit 1: Effects of Advertising (2) 3. Unit 2: Sports – Extreme Sports 4. Unit 3: Our Ageing Population 5. Unit 3: Our Ageing Population (2) Focus in Depth – Japan's Population Crash 6. Unit 4: Robots in the Home 7. Unit 4: Robots in the Home (2): Types and Rights 8. Unit 5: Animals: Research Partners 9. Unit 5: Animal: Research Partners (2) 10. Poster presentation contest preparation (1)– planning 11. Poster presentation contest preparation (2)– creation and practice 12. Poster presentation contest (3)– students present 13. Unit 6: The Online Information Debate 14. Unit 6: The Online Information Debate (2) 15. Review and Assessment						
授業外における学習（準備学習の内容）	Some preparation will be required for presentations, plus some outside reading. There is online homework at www.cambridgeinfocus.org						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Students are assessed on classwork, participation, conversational ability and listening ability. 50% Regular participation, classwork 25% Homework 25% Speech						
教科書	In Focus (1) Student's Book by Charles Brown, Brent Culligan, Joseph Phillips ISBN 978-1-107-62709-3 Cambridge University Press						
参考書	Have access to a good dictionary.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンストスピーキングA／Advanced Speaking A						
担当教員	E. Dean						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Conversational English and Public Speaking						
授業の概要	This course is intended to develop students' oral communication skills from a "daily conversation" level to an intermediate level of ability.						
到達目標	Class activities will help students use English appropriately to share personal information and experiences, formulate and express opinions, and initiate and maintain exchanges. Public speaking practice will include the making of poster presentations.						
授業計画	1 Food part 1 2 Food part 2 3 Food part 3 4 Presentations 5 Introduction to Poster Presentations 6 Planning poster presentations 7 Editing poster presentations 8 Poster Presentations 9 Festivals part 1 10 Festivals part 2 11 Festivals part 3 12 Presentations 13 Jobs part 1 14 Jobs part 2 15 Jobs part 3						
授業外における学習（準備学習の内容）	Project/presentation preparation						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and videos.						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, projects and presentations Class participation: 40 % Assignments: 20% Projects and presentations: 40%						
教科書	Inspire Student Book 2 By Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon Published by: National Geographic and Cengage Learning Student book 2 ISBN: 978-1-133-96368-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンストスピーキングA／Advanced Speaking A						
担当教員	K. Jolley						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Conversational English and Public Speaking						
授業の概要	This course is intended to develop students' oral communication skills from a 'daily conversation' level to an intermediate level of ability						
到達目標	Class activities will help students use English appropriately to share personal information and experiences, formulate and express opinions, and initiate and maintain exchanges. Public speaking practice will include the making of poster presentations.						
授業計画	1 Food part 1 - Talking about food & street food 2 Food part 2 - Agreeing & disagreeing 3 Food part 3 - Expansion activities 4 Presentation 1 - Food 5 Introduction to Poster Presentations 6 Planning poster presentations 7 Editing poster presentations 8 Poster Presentations 9 Festivals part 1 - Talking about festivals in your city & unusual festivals 10 Festivals part 2 - Making and responding to suggestions 11 Festivals part 3 - Expansion activities 12 Presentations - Festivals 13 Jobs part 1 - Talking about jobs & future careers 14 Jobs part 2 - Making predictions about the future 15 Jobs part 3 - Expansion activities						
授業外における学習（準備学習の内容）	Project/presentation preparation						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and videos.						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, projects and presentations Class participation: 40 % Assignments: 20% Projects and presentations: 40%						
教科書	Inspire Student Book 2 By Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon Published by: National Geographic and Cengage Learning Student book 2 ISBN: 978-1-133-96368-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンストスピーキングB/Advanced Speaking B						
担当教員	予備登録						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における学習（準備学習の内容）	
授業方法	
評価基準と評価方法	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンストスピーキングB／Advanced Speaking B						
担当教員	S. Bibby						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Advanced Speaking						
授業の概要	The main focus of the course is to improve students' general communicative ability. Speaking skills are divided into discussion and presentation, about six core themed topics. As a specific presentation item, all students participate in the Speech Contest. *This course is taught entirely in English*						
到達目標	Students will improve in these areas: * general conversational skills * discussion skills around a series of topics * presentation skills, both within regular class and for the Speech Contest * vocabulary, based on most frequently appearing words, thus the most useful words (from the National General Service List, NGSL) – better vocabulary improves speaking, plus listening and reading * critical thinking skills						
授業計画	The following is subject to change, and is necessarily tentative. The course recycles topics from the first semester, examining in greater depth in the second semester. 1. Unit 7: Online advertising 2. Unit 7: Online advertising 3. Unit 8: Winning at any cost: sports and sports cheats 4. Unit 8: Winning at any cost: sports and sports cheats (2) 5. Unit 9: Do you want to live forever? 6. Unit 9: Do you want to live forever? (2) 7. Unit 10: 'I lost my job to a machine!' 8. Unit 10: 'I lost my job to a machine!' (2) 9. Unit 11: Treatment of animals 10. Speech Contest preparation (1) 11. Speech Contest preparation (2) 12. Speech contest preparation (3) 13. Unit 11: The Treatment of Animals (2) 14. Unit 12: Who owns the news? 14. Unit 12: Who owns the news? (2) 15. Review and Assessment						
授業外における学習（準備学習の内容）	Some preparation will be required for presentations, plus some outside reading. There is online homework at www.cambridgeinfocus.org						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Students are assessed on classwork, participation, conversational ability and listening ability. 50% Regular participation, classwork 25% Homework 25% Speech						
教科書	In Focus (1) Student's Book by Charles Brown, Brent Culligan, Joseph Phillips ISBN 978-1-107-62709-3 Cambridge University Press						
参考書	Have access to a good dictionary.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンストスピーキングB／Advanced Speaking B						
担当教員	E. Dean						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Conversational English and Public Speaking						
授業の概要	This course is intended to develop students' ability to discuss more serious issues as well as practice speech making.						
到達目標	Class activities will oblige students to listen carefully to others, evaluate different sides of an issue, and make constructive contributions in accurate, well-pronounced English. Public speaking practice will focus on the making of formal prepared speeches.						
授業計画	1 Nature part 1 2 Nature part 2 3 Nature part 3 4 Presentation 5 Introduction to Public Speaking 6 Planning and writing a speech 7 Editing speeches 8 Practicing speeches 9 Speech Presentations 10 Conservation part 1 11 Conservation part 2 12 Conservation part 3 13 Presentations 14 Happiness part 1 15 Happiness part 2						
授業外における学習（準備学習の内容）	project/presentation preparation						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and videos						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, projects and presentations Class participation: 40 % Assignments: 20% Projects and presentations: 40%						
教科書	Inspire Book 2 By Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon Published by: National Geographic and Cengage Learning Student book 2 ISBN: 978-1-133-96368-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンストスピーキングB／Advanced Speaking B						
担当教員	K. Jolley						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Conversational English and Public Speaking						
授業の概要	This course is intended to develop students' ability to discuss more serious issues as well as practice speech making						
到達目標	Class activities will oblige students to listen carefully to others, evaluate different sides of an issue, and make constructive contributions in accurate, well-pronounced English. Public speaking practice will focus on the making of formal prepared speeches.						
授業計画	1. Nature part 1 - Talking about adventure travel 2. Nature part 2 - Talking about Pros & Cons 3. Nature part 3 - Expansion activities 4. Presentation 1 - Nature 5. Introduction to Public Speaking 6. Planning and writing a speech 7. Editing and practicing speeches 8. Speech Presentations 9. Conservation part 1 - Talking about endangered animals 10. Conservation part 2 - Talking about problems & solutions 11. Conservation part 3 - Expansion activities 12. Presentations 2 - Conservation 13. Happiness part 1 - Talking about happiness & happy places 14. Happiness part 2 - Comparing & contrasting 15. Happiness part 3 - Expansion activities						
授業外における学習（準備学習の内容）	project/presentation preparation						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and videos						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, projects and presentations Class participation: 40 % Assignments: 20% Projects and presentations: 40%						
教科書	Inspire Book 2 By Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon Published by: National Geographic and Cengage Learning Student book 2 ISBN: 978-1-133-96368-4						
参考書							

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングA／Advanced Writing A						
担当教員	S. Bibby						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English composition						
授業の概要	The course provides an introduction to academic writing, and builds on the composition skills students learned in earlier courses. The focus is on writing paragraphs.						
到達目標	Students will improve: * sentence structure * tense control Students will learn: *key lexical items to start sentences and paragraphs, and to link ideas *how to link sentences to create coherent, cohesive paragraphs Students will practice: *writing sentences and paragraphs about a range of topics, in different genres *writing 'topic sentences' - to introduce the main idea of a paragraph						
授業計画	1. Introduction 2. Process Writing / Getting ready to write 3. What is a paragraph? Writing topic sentences 4. What is a paragraph? Writing topic sentences 5. Development of a paragraph 6. Development of a paragraph 7. Development of a paragraph 8. Descriptive and process paragraphs 9. Opinion paragraphs, Facts and opinions 10. Opinion paragraphs, Transition words 11. Correcting and peer-editing, Problem solution paragraphs 12. Problem solution paragraphs 13. Cause and effect paragraphs 14. Cause and effect paragraphs 15. Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will have to do some writing work at home in preparation for class. You will be expected to revise and rewrite, based on your own corrections, peer feedback and teacher feedback. All work is done in Google Drive.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	20% participation and attendance 60% 6 x writing assignments 20% final assignment						
教科書	Writing Essays: From Paragraph to Essay by Dorothy E Zamach Macmillan Languagehouse ISBN 978-0-2304-1592-8						
参考書	You should have access to a good dictionary - hard copy or digital.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングA／Advanced Writing A						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English composition						
授業の概要	This course will build on the composition skills students have previously learned and provide an introduction to academic writing. Students will learn to write good paragraphs and build them into an essay. The course will be particularly useful for students considering writing a graduation thesis.						
到達目標	This course will teach you to write paragraphs and build them into essays. You will learn to write descriptions and processes and express opinions.						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. Student input in the content of this course is welcome. 1) Introduction 2) Process writing/Getting ready to write 3) What is a paragraph? Writing topic sentences 4) What is a paragraph? Writing topic sentences 5) Using a thesaurus. Book reports 6) The development of a paragraph 7) The development of a paragraph 8) Descriptive and process paragraphs 9) Opinion paragraphs – facts and opinions 10) Opinion paragraphs; Transition words 11) Correcting and Peer Editing; Problem–solution paragraphs 12) Problem–solution paragraphs 13) Cause and effect paragraphs 14) Cause and effect paragraphs 15) Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will sometimes have to write at home. You will be expected to revise and rewrite work after it has been marked. You will also have to read in English to improve your vocabulary.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Final grades (100%) will be based on work in class and written assignments. There will be at least one book report and one major writing project before the end of the semester. There will be no exam.						
教科書	Writing Essays: From Paragraph to Essay Dorothy E. Zemach (Macmillan Languagehouse) ISBN: 978-0-2304-1592-8						
参考書	Please bring an English dictionary to this class.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングA／Advanced Writing A						
担当教員	山内 啓子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	学術的な英文ライティング						
授業の概要	アカデミックな文書を書くために1,2年次で培ったパラグラフライティングの能力を発展させます。この授業では基本である文法上の規則を再認識することから始め、メモ書き・下書き・見直し・編集を経て、より良い文書作成へと進めてゆきます。その際に様々なライティングのルールや方法を学び、幅広いテーマについて、記述、物語、論証などの様々な文体を書く能力を身につけます。						
到達目標	パラグラフの書き方のルールが分かり、前期にはトピックセンテンスの機能、導入、主要部が明快になったパラグラフが書けるようになります。						
授業計画	アカデミック文書を書くための方法や約束事を学び、それらを習熟するために様々な文章を書き、点検し実力をつけていきます。 そのためにテキストを活用しながら授業を行います。 前期: Stage 1: unit 1-4 1. Introduction: 単語レベルの確認 (品詞等) 語彙の充実 2. unit 1: 段落vsパラグラフ 1 3. unit 1: 段落vsパラグラフ 2 4. unit 2: パラグラフの構造 I - topic sentence 5. unit 2: パラグラフの構造 I - topic sentence revision 6. revise unit 1&2 + test 7. unit 3: パラグラフの構造 II - development of a paragraph - support sentences 8. unit 3: パラグラフの構造 II - development of a paragraph - support sentences revision 9. unit 4: パラグラフの構造 III - development of a paragraph - concluding sentence 10. unit 4: パラグラフの構造 III - development of a paragraph - overall revision 11. revise unit 3&4 + test 12. unit 5: パラグラフ演習 I 13. unit 5: パラグラフ演習 II 14. term end test 15. Overall Review						
授業外における学習 (準備学習の内容)	授業前学習: テキストを読み、書かれている内容を理解しておくこと。 授業後学習: 課題を作成し、必ず次の授業で提出すること。						
授業方法	授業中には個人の書く文章を個別に添削したり、板書で手本を示し、分かり易い丁寧な授業を行います。ほぼ毎週ワープロの打ち出し原稿提出の課題があります。						
評価基準と評価方法	授業への積極参加、小テスト、提出物等の累積評価を試験に加味します。提出課題50%, 平常小テスト20%, 期末テスト20%, 積極的 授業参加10%						
教科書	静哲人著 『Writing Facilitator 構造から学べるパラグラフライティング入門』 松柏社 ISBN4-88198-537-X						
参考書	授業中にプリントで配布します。						

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングB／Advanced Writing B						
担当教員	S. Bibby						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English composition						
授業の概要	This course builds on the composition skills of earlier writing courses, and extends the writing practice of 'Advanced Writing A', providing an introduction to academic writing. Students start to write paragraphs, and to join paragraphs into short essays. The course is particularly helpful for students getting ready to write their graduation thesis.						
到達目標	Students will progress from the linked 'Writing A' and continue to improve: * sentence structure * tense control Students will learn: * key lexical items to start sentences and paragraphs, and to link ideas * how to link sentences to create coherent, cohesive paragraphs Students will practice: * writing sentences and paragraphs about a range of topics, in different genres * writing 'topic sentences' - to introduce the main idea of a paragraph In the second part of this A/B course, students will also * examine introductions and conclusions * practice further genres * write creative Halloween-themed output						
授業計画	The course content is subject to change depending on student level and is necessarily tentative. Student input into course content is welcome. 1. Introduction / recap 2. The structure of an essay: Writing a 'thesis statement' 3. Examining genres: introducing problem solution examples 4. Problem solution (1) 5. Problem Solution (2) 6. Problem Solution (3) 7. Structure 8. Outlining 9. Thematic writing: Halloween 10. Introductions 11. Conclusions 12. Unity and coherence 13. Final writing submission: 2 page thesis topic advance version (1) 14. Final writing submission 2 page thesis topic advance version (2) 15. Corrections and review						
授業外における学習（準備学習の内容）	Some written work is required out of class. You will need to do this to be prepared for class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	20% participation and attendance 60% 6 x writing assignments 20% final assignment There is no exam outside (after) class time.						
教科書	Writing Essays: From paragraph to essay Dorothy E Zemach Macmillan Language house ISBN 978-0-2304-1592-8						
参考書	You should have access to a good dictionary.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングB／Advanced Writing B						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English composition						
授業の概要	This course will build on the composition skills learned in 'Advanced Writing A', providing an introduction to academic writing. Students will start to write academic essays. The course will be particularly useful for students considering writing a graduation thesis.						
到達目標	You will learn to write formal essays, book and film reviews.						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. Student input in the content of this course is welcome. 1) Introduction/ recap 2) The Structure of an Essay 3) Introductions 4) Conclusions 5) Writing an outline. Thesis statements 6) Making a speech/ Book reviews 7) Descriptive essay 1: a person I admire 8) Descriptive essay 1: a person I admire 9) Descriptive essay 2: an interesting place 10) Descriptive essay 2: an interesting place 11) Letter to Santa 12) Shoin Speech Contest: thesis statements; introductions and conclusions. 13) Writing a film review 14) Writing a film review 15) Corrections and review						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will sometimes have to write at home. You will be expected to revise and rewrite work after it has been marked. You will also have to read in English to improve your vocabulary.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Final grades (100%) will be based on work in class and written assignments. There will be several essays in this semester. There will be no exam.						
教科書	Writing Essays: From Paragraph to Essay Dorothy E. Zemach (Macmillan Languagehouse) ISBN: 978-0-2304-1592-8						
参考書	Please bring an English dictionary to this class.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングB／Advanced Writing B						
担当教員	山内 啓子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	学術的な英文ライティング						
授業の概要	アカデミックな文書を書くために1,2年次で培ったパラグラフライティングの能力を発展させます。この授業では前期学んだパラグラフライティングの知識を用いて、様々なライティングができるように学びます。						
到達目標	パラグラフの書き方のルールが分かり、後期には比較検討、意見文など論証の文章が書けるようになります。						
授業計画	前期に引き続き、アカデミック文書を書くための方法や約束事を学び、それらを習熟するために様々な文章を書き、点検し実力をつけていきます。 そのためにテキストを活用しながら授業を行います。 後期: Stage 2: unit 5-12 1. Introduction + revision 2. unit 5: 説明文 explanation 3. unit 5: 説明文 2 推敲 4. unit 6: 小テスト + 描写文 description 5. unit 6: 描写文 2 推敲 6. unit 7: 小テスト + 意見文 opinion 7. unit 8: 指示文 instruction 8. unit 9: 小テスト + 比較検討文 compare and contrast 9. unit 9: 比較検討文 2 推敲 10. unit 10: 小テスト + 日本文化の説明 explaining Japanese culture 11. unit 11: データ説明 describing data expressed in graphs 12. unit 12: サマリー 13. unit 12: サマリー 2 推敲 14. term end test 15. Overall Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：テキストを読み、書かれている内容を理解しておくこと。 授業後学習：課題を作成し、必ず次の授業で提出すること。						
授業方法	授業中には個人の書く文章を個別に添削したり、板書で手本を示し、分かり易い丁寧な授業を行います。ほぼ毎週ワープロの打ち出し原稿提出の課題があります。						
評価基準と評価方法	授業への積極参加、小テスト、提出物等の累積評価を試験に加味します。提出課題50%，平常小テスト20%，期末テスト20%，積極的 授業参加10%						
教科書	静哲人著 『Writing Facilitator 構造から学べるパラグラフライティング入門』松柏社 ISBN4-88198-537-X						
参考書	授業中にプリントで配布します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	意味と運用A						
担当教員	郡司 隆男						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	単語と文の「意味」に関する様々な問題を考えます。						
授業の概要	この授業では、ことばの大事な要素である、単語と文の「意味」をめぐる多様な問題を通じて、ことばとそれを使う人間をより深く理解することを目的とします。少しでも、ことばを見る目が深まることを期待します。 ことばには、「形式（音）」と「内容（意味）」という2つの側面があります。この中でも特に重要なのは、「意味」です。ことばを理解するということは、そのことばの「意味」を理解することであり、ものを考えるというのも、ものごとの「意味」を考えるということに他ならないからです。 あらためて「意味」とは何かと考えると、とても難しい問題であることに気づくと思います。この授業では、英語や日本語の日常のことばの使用例の中から、単語と文の「意味」にまつわるさまざまな現象を取り上げ、それらを整理しつつ、一定の原則にまとめていきます。						
到達目標	(1) 英語や日本語の日常のことばの使用例の中から、「意味」に関係する現象を指摘することができる。 (2) 日常言語の使用例における、「意味」に関係する現象を一般的な原則にまとめて理解することができる。 (3) ことばの使い方の論理的な誤りを指摘することができる。 (4) 単語と文それぞれの文法的なふるまいの違いを説明できる。						
授業計画	まず、単語の意味の成り立ちを整理し、単語どうしの意味には規則的な関係があることを見ます。その上で、単語の意味がどのようにして文の意味につながっていくのかを系統的に解説していく予定です。 以下はテキストの章・節立てに沿った、大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定です。 第1回：この授業で学ぶこと 第2回：知っているようで知らない「意味」 第3回：「意味」とは何か、語の意味 第4回：単語の構造 (1) 形態素 第5回：単語の構造 (2) 単語の性質 第6回：文の意味 (1) 文の意味論 第7回：文の意味 (2) 文の意味論：練習問題 第8回：意味と論理 (1) ことばと世界 第9回：意味と論理 (2) 論理と推論 第10回：意味と論理 (3) ことばと状況 第11回：単語の意味の分解 (1) 動詞の意味分解、語彙概念構造の考え方 第12回：単語の意味の分解 (2) 状態と変化、使役 第13回：単語の意味の分解 (3) 変項と定項、変化と活動 第14回：演繹と推測 (1) 演繹と推測の違い 第15回：演繹と推測 (2) 仮説形成 / 前期のまとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前に配られた資料は授業の前に読んでおくこと。 テーマの区切りごとに課題を出します。その際に自分の理解の不十分なところがあったら自分で調べるなどして補っておくこと。						
授業方法	配布資料などにしたがって、講義形式で進めていきます。 練習問題の一部は授業中に一緒に考えていき、その場で解答してもらいます。一部は宿題とし、その採点結果は、成績評価の材料にします。						
評価基準と評価方法	授業中の小テストの出来具合（70%以上）に授業への取り組み方（10%）、学期末の試験ないしレポート（20%以下）を考慮して成績をつけます。						
教科書	manaba により提示していきます。一部はハンドアウトを用意します。						
参考書	『意味と文脈』（今仁生美・金水敏、岩波書店）、 『単語と文の構造』（郡司隆男、岩波書店）、 『ことばの科学ハンドブック』（郡司隆男・西垣内泰介編著、研究社）、 『形態論と意味』（影山太郎、くろしお出版）、 その他、授業時間中に指示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	意味と運用B						
担当教員	郡司 隆男						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	文の「意味」、さらに、一文を越えた、ことばの使用場面に関わる「意味」の問題を考えます。						
授業の概要	ことばの「意味」をめぐる多様な問題を通じて、ことばを使う人間をより深く理解することを目的とします。 今まで何げなく使っていたことばの使い方に潜む深い原理を理解することを期待します。 文と文の間の論理的な関係を理解するとともに、論理では捉えきれない意味の多彩さについても考えます。意味の問題を通して、言語の不思議さ・おもしろさを経験してもらう予定です。 授業では、英語や日本語の日常の場面に即したことばの使用例から、会話の相手に話し手の意図がどのように伝わっていくかを整理して、そこに見出される一定の法則性を明らかにしていきます。 また、文章・談話の意味を考えることを通じて、論理的に効果のある話し方を事例に即して考えていきます。						
到達目標	(1) 文と文の間の論理的な関係が理解できる。 (2) 文と文の間の論理的な関係を超越する性質の区別ができる。 (3) 日常言語で、話し手の意図を伝えるための方略が説明できる。 (4) より効果的な話し方、相手の気持ちに沿った話し方ができる。						
授業計画	以下はテキストの章・節立てに沿った、大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定です。 第1回: この授業で学ぶこと 第2回: 条件構造 (1) 逆・裏・対偶 第3回: 条件構造 (2) 条件連鎖 第4回: 条件構造 (3) 練習問題8 第5回: What is pragmatics? 第6回: Entailment 第7回: Presupposition 第8回: The co-operative principle and implicature 第9回: More on implicatures 第10回: Speech acts 第11回: More about speech acts 第12回: Politeness 第13回: Making sense 第14回: Exploring pragmatics: projects 第15回: 後期のまとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書、事前に配られた資料は授業の前に読んでおくこと。 原則として毎週課題を出します。その際に自分の理解の不十分なところがあったら自分で調べるなどして補っておくこと。						
授業方法	配布資料、教科書にしたがって、講義形式で進めていきます。 練習問題の一部は授業中に一緒に考えていき、その場で解答してもらいます。一部は宿題とし、その採点結果は、成績評価の材料にします。						
評価基準と評価方法	授業中の小テストの出来具合（70%以上）、授業への取り組み方（10%）、学期末の試験ないしレポート（20%以下）を考慮して成績をつけます。						
教科書	Pragmatics (Jean Stilwell Peccei, Routledge, 1999, ISBN: 0-415-20523-9) その他ハンドアウトを用意します。						
参考書	『新版 論理トレーニング』（野矢茂樹、産業図書）、 その他 授業時間中に指示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	歌・ドラマで学ぶ英語A／English through Music and Drama A						
担当教員	K. Jolley						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Fantasy in English literature through song and drama						
授業の概要	This course will introduce students to works of fantasy in English literature, such as Mother Goose Nursery Rhymes, Alice in Wonderland, and so on. Students will study the cultural and social background of these works, as well as experience the pleasure that literature can give them by doing recitations, and performing dialogue and song. These activities will help students develop their pronunciation and self-confidence, while drama games will require students to use their imagination and express emotion.						
到達目標	Focusing on song, drama or film based verse or novels, the aim of this course is to give students an understanding of literature, as well as experience literary expression in performance and appreciate its value in education.						
授業計画	1. Introduction – Children's Literature 2. Word of Mouth – Mother Goose 3. Rhythm, Rhyme and Recitation – Children's Verse 4. Rhythm, Rhyme and Recitation – Light Verse 5. Individual Presentation 6. Lewis Carroll and the 'Alice' Books 7. Cheshire Cat 8. The Mad Hatter's Tea Party 9. Screenplay Transcription and Performance 10. Musical Theatre in London's West End 11. P.L. Travers and her 'Mary Poppins' Books 12. Mary Poppins – Introduction & The Movie (1)/ Q&A 13. Mary Poppins – The Movie (2)/ Q&A & Songs 14. Group Presentation 15. Review and Test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Read lesson material before class. Prepare for presentations and end of semester test.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	participation 20%, presentations 40%, end-of-term test 40%						
教科書	Prints prepared by the teacher						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	歌・ドラマで学ぶ英語B／English through Music and Drama B						
担当教員	K. Jolley						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Realism in English literature through song and drama						
授業の概要	This course will introduce students to works in English that portray the reality of social conditions and the complexity of human relations, such as the 19th-century Oliver Twist and the more contemporary popular and folk music of the 1960s. Students will explore the historical and social background of these works, and experience the pleasure that literature can give them through a variety of performance activities in the classroom.						
到達目標	Focusing on song, drama or film, the aim of this course is to give students an understanding of literature, as well as the opportunity to experience literary expression in performance and appreciate its value in education.						
授業計画	1. Introduction 2. Popular Music in the 1960s 3. The Beatles - Early Career 4. The Beatles - Later Career 5. The Beatles - Presentations 6. Charles Dickens, 19th Century London, and Oliver Twist 7. Oliver! - Introduction & The Movie (1)/ Q&A 8. Oliver! - Discussion & The Movie (2)/ Q&A 9. Oliver! - The Movie (3)/ Q&A & Songs 10. Oliver! - Presentations 11. Popular Music - Songs with a Story 12. Song Presentation - Introduction & Preparation 13. Song Presentation - Preparation & Practice 14. PowerPoint Presentations 15. Review and Test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Read lesson material before class. Prepare for presentations and end-of-semester test.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Participation 20%, Presentations 40%, Movie Report 20%, end-of-semester test 20%						
教科書	Prints prepared by the teacher						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	エアラインイングリッシュ						
担当教員	安藤 裕子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	エアライン（航空業界）を素材にして、英語でのCommunication能力を習得、向上させる						
授業の概要	エアラインイングリッシュでは、英語による基本的な自己紹介から、実際のエアラインの面接試験の質疑で問われるような高度な質問まで、広範囲にわたって英語による質疑応答を学習し、国内エアラインの英会話面接のみならず、外資系エアラインの試験にも対応できるようなコミュニケーション能力を身につける。さらに、望まれる素養・適性はなにか、面接の際の態度と言ったことも学ぶ。同時に、機内アナウンス、機内での会話、エアライン用語なども学習し、エアラインで必要とされる英語力の総合的な向上を目指す。エアラインを志望しない学生のかたも、興味深く楽しんで学習できる内容です。						
到達目標	1. 英語による自己紹介ができるようになる 2. 乗客としても乗務員としても、機内で必要な会話のほとんどを英語でできるようになる 3. 英語の機内アナウンスを、理解でき、かつ実施できるようになる 4. 「エアライン」に関する専門用語を習得する						
授業計画	Part1 Interview Questions 第1回. Basic Questions (名前、家族 etc.) 第2回. Basic Questions (出身地、アルバイト etc.) 第3回. Have you ever been abroad? (海外経験 etc.) 第4回. How is your command of English? (英語力 etc.) 第5回. What did you enjoy most in your school days? (日常生活 etc.) 第6回. What do you do to stay fit? (健康管理・体力づくり etc.) 第7回. Motives & Reasons (志望動機) Part2 In-flight English 第8回. 1. Before Departure 第9回. 2. Liquor Service 第10回. 3. Meal Service 第11回. 4. In-flight Sales 第12回. 5. Customs, Immigration and Quarantine & 6. In-flight Entertainment 第13回. 7. Airsick Passenger 第14回. 8. In-flight information 第15回. 9. After Landing & Farewellおよび General Review *We study specific words and phrases for the Airline Industry in every session.						
授業外における学習（準備学習の内容）	初回授業時に、クラス内にて指示します。						
授業方法	テキストをつかった講義と、テキストに沿った実践的practiceで行います。また、航空業界関連のDVD、動画などを参照して、航空業界への一層の理解を深めます。						
評価基準と評価方法	平常点15% (授業内での小テスト、およびレポート提出)、試験85% (アナウンス試験と筆記試験)						
教科書	教科書に関しては、初回授業時に、クラス内にて指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目																																						
科目名	英語イマージョンゼミ／English Immersion Seminar																																						
担当教員	A. E. Jackson																																						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	月曜2	配当学年	3	単位数	4.0																																
授業のテーマ	British Studies with the theme “London Life”																																						
授業の概要	This course aims to familiarize students with various aspects of life in Britain's capital London. Classwork will comprise a series of reading passages accompanied by comprehension questions, listening exercises, vocabulary work and discussion. Students will also view scenes from 2 films set in London as a basis for report writing.																																						
到達目標	To (a) acquire an understanding of modern British society, and (b) develop all four language skills.																																						
授業計画	<table><tr><td>1st semester</td><td>2nd semester</td></tr><tr><td>1 Introduction / Images of London</td><td>1 Sports and Annual Events</td></tr><tr><td>2 London People</td><td>2 The London Year</td></tr><tr><td>3 Japan in London</td><td>3 London Style and Fashion</td></tr><tr><td>4 Social Class</td><td>4 London's Markets</td></tr><tr><td>5 The Royal Family</td><td>5 Crime and Punishment</td></tr><tr><td>6 History</td><td>6 Henry VIII</td></tr><tr><td>7 Review Test 1 / Bend It Like Beckham A</td><td>7 Review Test 3 / Notting Hill A</td></tr><tr><td>8 Bend It Like Beckham B</td><td>8 Notting Hill B</td></tr><tr><td>9 Bend It Like Beckham C</td><td>9 Notting Hill C</td></tr><tr><td>10 Houses and Gardens</td><td>10 The City</td></tr><tr><td>11 Chelsea Flower Show</td><td>11 Gambling</td></tr><tr><td>12 Pub Life</td><td>12 Student Life</td></tr><tr><td>13 Pub Entertainment</td><td>13 Student Accommodation</td></tr><tr><td>14 London Sights</td><td>14 London's Museums</td></tr><tr><td>15 Course Summary / Review Test 2</td><td>15 Course Summary / Review Test 4</td></tr></table>							1st semester	2nd semester	1 Introduction / Images of London	1 Sports and Annual Events	2 London People	2 The London Year	3 Japan in London	3 London Style and Fashion	4 Social Class	4 London's Markets	5 The Royal Family	5 Crime and Punishment	6 History	6 Henry VIII	7 Review Test 1 / Bend It Like Beckham A	7 Review Test 3 / Notting Hill A	8 Bend It Like Beckham B	8 Notting Hill B	9 Bend It Like Beckham C	9 Notting Hill C	10 Houses and Gardens	10 The City	11 Chelsea Flower Show	11 Gambling	12 Pub Life	12 Student Life	13 Pub Entertainment	13 Student Accommodation	14 London Sights	14 London's Museums	15 Course Summary / Review Test 2	15 Course Summary / Review Test 4
1st semester	2nd semester																																						
1 Introduction / Images of London	1 Sports and Annual Events																																						
2 London People	2 The London Year																																						
3 Japan in London	3 London Style and Fashion																																						
4 Social Class	4 London's Markets																																						
5 The Royal Family	5 Crime and Punishment																																						
6 History	6 Henry VIII																																						
7 Review Test 1 / Bend It Like Beckham A	7 Review Test 3 / Notting Hill A																																						
8 Bend It Like Beckham B	8 Notting Hill B																																						
9 Bend It Like Beckham C	9 Notting Hill C																																						
10 Houses and Gardens	10 The City																																						
11 Chelsea Flower Show	11 Gambling																																						
12 Pub Life	12 Student Life																																						
13 Pub Entertainment	13 Student Accommodation																																						
14 London Sights	14 London's Museums																																						
15 Course Summary / Review Test 2	15 Course Summary / Review Test 4																																						
授業外における学習（準備学習の内容）	Read and understand textbook articles before class.																																						
授業方法	Seminar																																						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on 4 tests (80%) and film reports (20%).																																						
教科書	Prints																																						
参考書																																							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語学概論A						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	さまざまな視点から英語の成り立ちを概観する						
授業の概要	国際社会の中での英語の位置づけ、英語の歴史、英語の音韻、語の形態など、英語の姿をとらえるいくつかの通時的側面、共時的側面について紹介し、英語学の基本的な考え方への導入を図る。 受講希望者へ 英語教育関係を進路とする人に限らず、「英語ってどんな言語」と関心を持つ人、英語をより身近なものにしたいと考える人を対象に、英語学の基本的な考え方に親しんでもらうことを目指します。						
到達目標	(1) 言語としての英語の特色を知り、英語への興味・関心をより具体的なものとして意識することができる。 (2) 英語の特色を英語学の基本的な考え方に基づいて分析し、他者に説明することができる。						
授業計画	第1回 英語について考える視点 第2回 世界の中の英語 第3回 英語の方言、アメリカ英語とイギリス英語 第4回 イギリスの歴史、英語の始まり 第5回 古期英語の姿 第6回 中期英語 への変遷 第7回 近代英語への流れ 第8回 発音のしくみと音の種類 第9回 音素の考え方 第10回 音節の構造、音の変化 第11回 強勢とイントネーション 第12回 形態論の考え方 第13回 語を作る要素 第14回 語形成のしくみ 第15回 授業内容のまとめ・総復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：教科書の授業で取り扱う箇所を事前に読んでおくこと 授業後学習：授業で紹介した要点をふまえて、教科書の重要箇所を再度確認すること						
授業方法	講義と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	期末試験 70%、各回の受講コメントなどによる平常点 30%、						
教科書	『新 えいご・エイゴ・英語学』、稲木昭子・堀田知子・沖田知子著、松柏社、ISBN978-4-7754-0004-3						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語学概論B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語という言葉の性質を理解するための基礎的概念を概観する。						
授業の概要	英語学の分野のうち、英語の文法構造、意味のあり方、対人関係の中での機能、ことばと社会の関係など、現代英語を構成するさまざまな形式的、機能的側面を取り上げ、英語研究への更なる関心を導き出すことを目指す。英語学の基礎的概念の理解だけでなく、言語を観察、分析するための方法論についても紹介し、科学的な視点からの英語の観察法や分析法に親しむ機会を提供する。 受講者希望者へ さまざまな視点から「英語の成り立ちと働き」を概観する授業です。英語教育関係を進路とする人のほか、色々な分野で英語と深く付き合っていくみなさんにとって、その活動の土台となる知識を提供します。						
到達目標	(1) 言語としての英語の特色を知り、英語への興味・関心をより具体的なものとして意識することができる。 (2) 英語の特色を英語学の基本的な考え方に基づいて分析し、他者に説明することができる。						
授業計画	第1回 はじめに：文のしくみ、意味のしくみ、コミュニケーションのしくみ 第2回 統語論(1) 文の分析方法 第3回 統語論(2) 文の構造と意味 第4回 統語論(3) 英文法と普遍文法 第5回 意味論(1) 意味の多様性 第6回 意味論(2) 意味の変化と意味関係 第7回 意味論(3) 意味の意味 第8回 語用論(1) 発話としてのことばの意味 第9回 語用論(2) 会話のルールとていねいさ、テキストと談話 第10回 語用論(3) テキストと談話 第11回 文体論(1) 文体と使用域 第12回 文体論(2) 英語のスタイル 第13回 コミュニケーションの成立、動物のコミュニケーションと人間言語のちがい 第14回 言語と社会、言語と文化 第15回 学期のまとめと総復習、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：教科書の授業で取り扱う箇所を事前に読んでおくこと 授業後学習：授業で紹介した要点をふまえて、教科書の重要箇所を再度確認すること						
授業方法	講義と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	期末試験 70%、各回の受講コメントなどによる平常点 30%、						
教科書	『新 えいご・エイゴ・英語学』、稲木昭子・堀田知子・沖田知子著、松柏社、ISBN978-4-7754-0004-3						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語教育概論A						
担当教員	岩井 麻紀						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語教育と英語学習						
授業の概要	母語習得、及び第二言語習得理論などを紹介し、その理論をどのように外国語学習、及び指導に生かすことができるか考えます。また、英語の絵本や歌も紹介します。						
到達目標	英語教育の背景にある基本的な理論を理解し、英語の4技能を高めるための指導に必要な実践的な知識を修得する。 英語の絵本や歌などを通して、早期英語教育に必要な英語力を高める。						
授業計画	第1回：第二言語習得論のエッセンス 1 第2回：第二言語習得論のエッセンス 2 第3回：第二言語習得論のエッセンス 3 第4回：第二言語習得論のエッセンス 4 第5回：SLAから見た日本の英語教育 1 第6回：SLAから見た日本の英語教育 2 第7回：SLAから見た日本の英語教育 3 第8回：小学校英語教育のこれから 1 第9回：小学校英語教育のこれから 2 第10回：小学校英語教育のこれから 3 第11回：中学校英語教育のこれから 第13回：高校英語教育のこれから 第14回：質疑応答・試験 第15回：総復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従って、該当箇所を読んでおいてください。 授業後学習：授業で学んだことをまとめ、復習してください。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	テスト40% 平常点60%						
教科書	白井恭弘著『英語教師のための第二言語習得論入門』（大修館書店） ISBN978-4-469-24570-7						
参考書	Julie Ashworth & John Clark Longman著 Picture Dictionary: American English (Longman) ISBN 0-582-29981-0						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語教育概論B						
担当教員	岩井 麻紀						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語教育と英語学習						
授業の概要	英語の教授法を紹介し、指導法を学びます。また、英語を教える際に必要となる英語表現を身につけることも目指します。						
到達目標	第二言語習得の基礎理論と方法論などを学ぶ。 教室英語など指導に必要な実践的な英語コミュニケーション能力を高める。						
授業計画	第1回：コース説明 Lesson 1: Warm up・Closing Remarks 第2回：英語教授法① Lesson 2: Classroom Commands 第3回：英語教授法② Lesson 3: Performance Activities 第4回：英語教授法③ Lesson 4: Interactions with ALT 第5回：英語教授法④ Lesson 5: Games: Sugoroku・Bingo 第6回：リスニングの指導① Lesson 6: Games: Cards 第7回：リスニングの指導② Lesson 7: Total Physical Response 第8回：スピーキングの指導① Lesson 8: Coloring・Drawing・Making 第9回：スピーキングの指導② Lesson 9: Festivals and Events 第10回：リーディングの指導① Lesson 10: School Life 第11回：リーディングの指導② Lesson 11: Play 第12回：ライティングの指導① Lesson 12: Sports 第13回：ライティングの指導② Lesson 13: Animals and Insects 第14回：発表① Lesson 14: Birds & Creatures Living in the Sea and River 第15回：発表② Lesson 15: Daily Life of Children 第14回：質疑応答・試験 第15回：総復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従って、教科書の該当箇所の問題をしておいてください。 授業後学習：授業内容を復習してください。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	テスト40％ 平常点60％						
教科書	カレイラ松崎順子著『子どもに英語を教えるための教室英語』（南雲堂）ISBN978-4-523-17628-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化概論A／Introduction to English—Speaking Cu						
担当教員	F. Shiobara						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English-speaking cultures: how they developed and how they became diverse.						
授業の概要	英語圏の文化概論Aではイギリス英語の歴史や発展を考察した後、アメリカ英語誕生の経緯を観察し、さらには、イギリス英語とアメリカ英語というもともと影響力のある2種類の英語について、その比較をおこなう。This course will introduce students to the English Language, language families and how English developed into what it is today.						
到達目標	To develop students' knowledge of English-speaking cultures in their diversity. To develop students' reading, writing and listening skills.						
授業計画	第1回: Course information; overview of English Around the World 第2回: Indo-European 第3回: Old English 第4回: Middle English (Chaucer) 第5回: Modern English pre 1800 (Shakespeare) 第6回: The British Empire 第7回: Review Weeks 1-6 第8回: Review and Mid-term test 第9回: English goes to America 第10回: Slavery Pidgin & Creole 第11回: Other languages' influence on English 第12回: Louisiana Cajun 第13回: Review weeks 9 - 12 第14回: Revision and Final test 第15回: Review and course evaluation.						
授業外における学習（準備学習の内容）	Before the course, students should make themselves familiar with world geography in order to understand and references to countries in class activities.						
授業方法	Lecture This class will be taught only in English.						
評価基準と評価方法	50% Classroom quizzes 50% Mid-term and final examination.						
教科書	None (handouts are used)						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化概論B／Introduction to English-Speaking Cu						
担当教員	F. Shiobara						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English-speaking cultures: how they developed and how they became diverse.						
授業の概要	This course will introduce a variety of different Englishes from all over the world. The aim is for students to appreciate the wide variety of Englishes in the world.						
到達目標	To develop students' knowledge of English-speaking cultures in their diversity. To develop students' reading, writing and listening skills.						
授業計画	第1回：Brief History of English 第2回：Rural cultures of Britain 第3回：A sample of British urban cultures: Brummie, Geordie, Scouse 第4回：Cockney language and culture 第5回：Irish and Welsh English 第6回：Scottish English 第7回：Review and Mid-term test 第8回：Australian English 第9回：New Zealand English 第10回：Indian English 第11回：Singaporean English 第12回：Christmas Around the World 第13回：Review of classes 第14回：Revision and final test 第15回：Review and evaluations						
授業外における学習（準備学習の内容）	Before the course, students should make themselves familiar with world geography in order to understand and references to countries in class activities.						
授業方法	Lecture This class will be taught only in English.						
評価基準と評価方法	50% Classroom quizzes 50% Tests.						
教科書	None (handouts are used)						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化特論A／Special Lecture on English—Speaking						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	An introduction to Britain and its people.						
授業の概要	In this course we will look at Britain and its society to discover what it means to be British and live in Britain today. The course will be taught by lecture, supplemented by readings in English and audio-visual material.						
到達目標	You will learn about Britain and the British people and make comparisons with Japan and Japanese society.						
授業計画	1) Introduction 2) What is Britain and Who are the British? 3) An Introduction to Britain (Text book: Unit 1) 4) Multicultural Britain 5) The Class System. 6) British Cinema: My Fair Lady 7) Schools (Text book: Unit 2) 8) Schools (Text book: Unit 2) 9) The English Language 10) British Food (Text book: Unit 3) 11) British Food (Text book: Unit 3) 12) British Cinema: Billy Elliot 13) British Cinema: Billy Elliot 14) Revision 15) Review and Test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Sometimes you will be required to read or do worksheets at home.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Test (80%) and Homework (20%) Poor attendance will affect your grade and failure to attend the required number of classes may result in failure.						
教科書	Window on Britain (Activity Book), Richard MacAndrew, Oxford University Press ISBN: 0-19-459038-0 Prints. You must buy a clear file in which to keep them and the work you do.						
参考書	Please bring a dictionary to class.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化特論B／Special Lecture on English-Speaking						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	An introduction to the people and culture of Britain						
授業の概要	This course will build on the introduction of Special Lecture on English-Speaking Cultures A, looking in more detail at aspects of British life and culture. You will be expected to make comparisons with Japan and Japanese society.						
到達目標	To give an insight into British society today and to help you make comparisons with Japan and Japanese society. You will make a presentation during this class.						
授業計画	1) Review/ The British Home (Text book: Unit 4) 2) The British Home (Text book: Unit 4) 3) The Royal Family 4) British Cinema: The Queen 5) British Cinema: The Queen 6) Sport (Text book: Unit 5) 7) Sport (Text book: Unit 5) 8) Pop Music (Text book: Unit 7) 9) London (Text book: Unit 8) 10) Oral Presentations 11) Oral Presentations/ Festivals: Christmas (Text book: Unit 6) 12) Festivals (Text book: Unit 6) 13) Marriage 14) Marriage/British Cinema: Four Weddings and a Funeral 15) Review and Test						
授業外における学習（準備学習の内容）	Sometimes you will be required to read or do worksheets at home.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Oral Presentation (20%). Test (80%) Poor attendance will affect your grade and failure to attend the required number of classes may result in failure.						
教科書	Window on Britain (Activity Book), Richard MacAndrew, Oxford University Press ISBN: 0-19-459038-0 Prints. You must buy a clear file in which to keep them and the work you do.						
参考書	Please bring a dictionary to class.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論A						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化とコミュニケーション						
授業の概要	異文化間コミュニケーションの理論と実践を学ぶ。コンテキストと情報伝達の関係、非言語コミュニケーションの理論を紹介し、文化による差異を考察する。また、テレビコマーシャルを含むメディア研究や、カルチャーショックの事例研究を基にして、異文化間コミュニケーション能力と実践的英語力を養う。 この授業のねらいは主に2つあります。1つは英語圏の人々と「異文化間コミュニケーション」ができるような実践的英語力の基礎を身につけることです。もう1つは、「コミュニケーション」のしくみを理論的に学ぶことです。 本年度は、英語圏を中心とした海外のテレビ・コマーシャルを実際に数多く見ることによって、ナチュラル・スピードの英語の聴解力を養い、英語圏の文化に対する理解を深めます。 コマーシャルの分析を通じて、メッセージの伝達方法と文化の関連を考え、日本文化と英語圏文化の差異について具体例に基づいて検討します。また、コミュニケーション論の隣接領域である心理学の基礎知識や英語通訳技術の基礎、そしてコミュニケーションの理論を紹介し、効果的な異文化間コミュニケーション能力を養成します。 このような知識・能力は、ジャーナリズムや航空・旅行業界などの接客業に関心がある人にとっても就職に有利な武器になるでしょう。 また、将来、留学を考えている人にとっては、実践的な異文化間コミュニケーション力の基礎を養うことができるでしょう。						
到達目標	実践的な英語コミュニケーション力を身につけること。 文化とコミュニケーションについて理解を深めること。						
授業計画	第1回 オリエンテーション 第1章 第2回 第2章：比較広告① 第3回 第3章：ステレオタイプ 第4回 演習：コミュニケーションの理論（身体運動学、近接学） 第5回 第4章：英国とデンマークのコマーシャル 第6回 第5章：高齢者をテーマにした米国のコマーシャル 第7回 第6章：英国と米国のコマーシャルの比較 第8回 演習：非言語コミュニケーション（近接学II） 第9回 第7章：ドイツのコマーシャル 第10回 第8章：韓国のコマーシャル 第11回 第9章：米国で放送禁止のコマーシャル 第12回 第10章：動物をトピックにしたコマーシャル 第13回 第11章：比較広告② 第14回 第12章：PSAの広告 第15回 まとめとテスト						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習を十分して授業にのぞむこと。						
授業方法	講義とグループワーク・プレゼンテーションなどの演習						
評価基準と評価方法	受講状況を考慮に入れ、レポート・発表（2割）・試験（8割）の総合評価。最終試験の成績を重視します。欠席についてはマイナス点として評価します。 試験で60点未満の人、また試験を受験しなかった人はレポートを提出しても不合格になります。レポートを提出しなかった人は、試験で満点に近い点数がとれないと不合格となります。						
教科書	TVコマーシャルに見る異文化（I） 岩崎暁男ほか著（成美堂） ISBN 4-7919-4544-1						
参考書	参考書の購入は受講生に任せます。授業の内容を更に深めたい学生は、以下の参考書の購入が望ましいです。また、様々な参考文献を毎回紹介します。 テキスト心理学 橋本憲尚ほか著（ミネルヴァ書房）						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論A						
担当教員	辻野 理花						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化とコミュニケーション						
授業の概要	英語コミュニケーション概論Aでは、異文化間コミュニケーションの理論と実践を学ぶ。コンテキストと伝達情報の関係、非言語コミュニケーションの理論を紹介し、文化による差異を考察する。また、テレビ・コマーシャルを含むメディア研究の事例研究を基にして異文化間コミュニケーション能力と実践的英語力を養う。						
到達目標	異文化間コミュニケーションの理論について学ぶことができる 実践的な英語能力を身につける						
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 文化とは 第3回 コミュニケーションとは 第4回 コミュニケーションスタイル①自己開示 第5回 コミュニケーションスタイル②自分を知る 第6回 非言語コミュニケーションの種類 第7回 非言語コミュニケーションの特徴 第8回 映像に見る非言語コミュニケーション 第9回 コンテキストと情報伝達 第10回 ステレオタイプと異文化コミュニケーション 第11回 映像に見る非言語表現 第12回 映像に見るステレオタイプ 第13回 映像から学ぶステレオタイプ 第14回 差別と異文化理解 第15回 まとめ 各テーマごとに、映像資料、リスニングなどを取り入れ、進めていきます。また英語の教材も適宜使います。 講義の進度によって、順序や内容を変更することもあります						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習として出される課題をしっかりと準備してくる						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	小テスト（複数回）、課題、授業中に書いてもらう小レポート・受講状況とで評価する（小テスト：小レポート：平常点＝3：1：1で評価する）						
教科書	プリントを配布します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論B						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化とコミュニケーション						
授業の概要	英語コミュニケーション概論Bでは、英語コミュニケーション概論Aで身につけた知識と英語力をもとに、さらに専門的な異文化間コミュニケーションについての理論を学ぶ。時間・空間の認識の文化による差異、自己、アイデンティティと文化のかかわりなどについての理論を英語の文献で紹介することによって、高度な英語の読解力と異文化理解についての知識を深める。カルチャーショックに対応するために開発されたシュミレーションゲームや異文化理解のためのロールプレイなども随時取り入れながら、実践的なコミュニケーション能力を養う。 主に英語圏のテレビ・コマーシャルを数多く見て、ナチュラル・スピードの英語の聞き取りに慣れ、異文化への理解を深めます。 短時間で製品やサービスを売り込むことをねらって制作されているコマーシャルには、それぞれの文化が最も効果的だと考えるコミュニケーション・スタイルのエッセンスが詰まっています。 「英語コミュニケーション概論A」の応用編、という意味のある授業なので、川中紀子担当の概論Aを受講した上でこの授業を受ければ、異文化間コミュニケーションへの理解が深まり、より高度な英語の聞き取りに挑戦することができるでしょう。 また、2回生から初めて川中紀子担当の授業を受ける人にとっても、海外のコマーシャルを見ながら、実践的な英語力が身につくように指導します。留学・就職にも役に立つ授業になるでしょう。 随時、実際に英語圏の大学・大学院で使われているコミュニケーション論のテキスト（洋書）も使いますので、留学を考えている人には、その準備となるでしょう。						
到達目標	ナチュラル・スピードの英語の聞き取りに慣れ、英語圏の文化について理解を深めること。						
授業計画	第1回：オリエンテーション（広告の社会・文化的背景） 第2回：第1章（アメリカ合衆国の広告の特徴） 第3回：第2章（比較広告） 第4回：第3章（SFをテーマにした広告） 第5回：第4章（問題解決志向の広告） 第6回：第5章（歴史的な事実を用いた広告） 第7回：第6章（誇大広告） 第8回：第7章（環境保護をテーマにした広告） 第9回：第8章（映画をもとに作られた広告） 第10回：第9章（「お金」がテーマの広告） 第11回：第10章（ストーリー形式の広告） 第12回：第11章（音楽を用いた広告） 第13回：第12章（非言語コミュニケーションの理論を学ぶ広告） 第14回：まとめと受講生のプレゼンテーション 第15回：復習と受講生のプレゼンテーション、テスト						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習を十分して授業にのぞむこと。						
授業方法	講義と演習（プレゼンテーションやグループワークを含む）						
評価基準と評価方法	受講状況（出席・発表）を考慮に入れ、試験（8割）と発表・レポート（2割）の総合評価。 試験を受験しなかった人は、発表やレポートを提出しても不合格となります。 また、レポートを提出しなかった人は、テストが満点に近くないと不合格となりますので、注意してください。						
教科書	TVコマーシャルに見る異文化（II） 岩崎暁男ほか（成美堂） ISBN 4-7919-4559-X						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論B						
担当教員	辻野 理花						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化とコミュニケーション						
授業の概要	英語コミュニケーション概論Bでは、英語コミュニケーション概論Aで身につけた知識と英語力をもとに、更に専門的な異文化間コミュニケーションについての理論を学ぶ。時間・空間の認識の文化による差異、自己、アイデンティティと文化との関わりなどについての理論を、英語の文献で紹介することによって、高度な英語力の読解力と異文化理解についての理解を深める。カルチャーショックに対応するために開発されたシミュレーションゲームや異文化理解のためのロールプレイなども、随時とりいれながら、実践的なコミュニケーション能力を養う。						
到達目標	異文化間コミュニケーションの理論についての理解を深める 実践的な英語能力を身につける						
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 空間の認識 第3回 空間の認識と対人距離 第4回 時間の認識 第5回 非言語コミュニケーション（接触行動） 第6回 映像に見る非言語コミュニケーション 第7回 映像と非言語コミュニケーションの分析 第8回 異文化適応とカルチャーショック 第9回 映像を通して異文化適応について考える 第10回 価値、規則と異文化衝突 第11回 TVコマーシャルの創りだすイメージ 第12回 TVコマーシャルを分析する 第13回 グローバリゼーションとアイデンティティ 第14回 映像を通してグローバル化時代のアイデンティティについて考える 第15回 まとめ 各テーマごとに、映像資料などをとりいれ、進めていきます。また英語の教材も適宜使います。 講義の進度によって、順序や内容を変更することもあります						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習として出される課題をしっかりと準備してくること						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	小テスト（複数回）、課題、授業中に書いてもらう小レポート・受講状況で評価する。（小テスト：小レポート：平常点＝3：1：1で評価する）						
教科書	プリントを配布します。						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーションゼミ／Seminar in English Communicatio						
担当教員	S. Bibby						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	金曜4	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	UK Life and Culture: Exploring Daily life						
授業の概要	Within this course you will look at life in Great Britain today. The course is multi-skilled and students will have lots of opportunity to practice speaking (both discussing and presenting), listening , reading, with some writing.						
到達目標	Students will: * learn about Britain through an examination of a great number of different aspects of British people and their culture(s). * reflect on the similarities and differences in cultures and behaviours, and compare and contrast with life here in Japan. * write, discuss and present about these different cultural aspects						
授業計画	This is a rough plan, considering general interests. This is tentative and is likely to change. SEMESTER 1 1. Getting started, course introductions, Facebook group, Google Drive 2. Britain – what do you know? Overview 3. Places – countries, cities, and countryside 4. The English language 5. Class presentations 6. Food and drink 7. Fashion 8. Money and work 9. British heroes (1) – heroes in history 10. Customs and traditions (1a) 11. Presentations: customs and traditions (1b) 12. Entertainment, leisure time, sport, music 13. UK Music presentations: 60s, 70s, 80s, 90s, 2000+ 14. Assessment 15. Review SEMESTER 2 1. Review of last semester, ‘Round Britain’ game, quiz 2. Daily life 3. Education in the UK – schools and universities, life at university 4. UK government and the royal family 5. Customs and traditions (2): Halloween, Guy Fawkes/Bonfire Night 6. Unusual/strange traditions 7. British heroes (2): famous people today (e.g. 1D, Beckham...) 8. British heritage and heritage sites 9. Literature (1a) 10. Presentations: Literature (1b) 11. Britain in the 21st century 12. Christmas celebrations and British end-year traditions 13. Presentations 14. Assessment 15. Final review, student-made quizzes and summary						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students are required to do the reading and the preparation and be ready for class. When students are scheduled to present, they must be practiced and ready. Discussions in class are in English only, so students should be ready to use English in all class work and discussion.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	40% Class participation and discussions 30% Presentations 30% End assessment						

教科書	England by Rachel Bladon (MacMillan Readers: Level 4, Pre-Intermediate) Macmillan Press ISBN 978-023-0-43637-4
参考書	A good dictionary is advisable – hard copy or electronic. In addition to the course text, many further reference materials are provided by the teacher, and these must be brought to class.

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーションゼミ／Seminar in English Communicatio						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	水曜3	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	Love and Marriage in British Novels and Films						
授業の概要	This course will examine attitudes towards love and marriage and the social conventions of the times over a period of 200 years in Britain as portrayed in British novels and films.						
到達目標	You will learn about British culture and society through an examination of love and marriage. You will reflect on traditions and customs in Japan and make comparisons.						
授業計画	1st SEMESTER: 1) Introduction 2) Arranged Marriage: 'The Duchess' 3) Arranged Marriage: 'The Duchess' 4) Arranged Marriage: 'The Duchess' 5) Class presentation (Arranged Marriage). Background to Jane Austen 6) Late 18th Century. Marriage and Property - Jane Austen: 'Pride and Prejudice' 7) Late 18th Century. Marriage and Property - Jane Austen: 'Pride and Prejudice' 8) Late 18th Century. Marriage and Property - Jane Austen: 'Pride and Prejudice' 9) Late 18th Century. Marriage and Property - Jane Austen: 'Pride and Prejudice' 10) Class presentation (Pride and Prejudice). Background to the Brontes 11) 19th Century and Romanticism. Passion - Emily Bronte: 'Wuthering Heights' 12) 19th Century and Romanticism. Passion - Emily Bronte: 'Wuthering Heights' 13) 19th Century and Romanticism. Passion - Emily Bronte: 'Wuthering Heights' 14) Class presentation (Wuthering Heights). Revision 15) Review and Test 2nd SEMESTER: 1) A Pure Woman? - Thomas Hardy: 'Tess of the d' Urbevilles' 2) Thomas Hardy: 'Tess of the d' Urbevilles' 3) Thomas Hardy: 'Tess of the d' Urbevilles' 4) Thomas Hardy: 'Tess of the d' Urbevilles' 5) Class presentation (Tess). Love Outside Marriage - David Lean's 'Brief Encounter' (1945) 6) Love Outside Marriage - David Lean's 'Brief Encounter' (1945) 7) Class presentation (Brief Encounter). The 60s and the Sexual Revolution: Lone Scherfig's 'An Education' (2009) 8) The 60s and the Sexual Revolution: Lone Scherfig's 'An Education' (2009) 9) The 60s and the Sexual Revolution: Lone Scherfig's 'An Education' (2009). Class presentation (An Education) 10) Same Sex Love - Stephen Frear's 'My Beautiful Laundrette' (1975) 11) Same Sex Love - Stephen Frear's 'My Beautiful Laundrette' (1975) 12) Same Sex Love - Stephen Frear's 'My Beautiful Laundrette' (1975). Class presentation (My Beautiful Laundrette) 13) Love Across Cultures - Ken Loach's 'Ae Fond Kiss' (2004) 14) Love Across Cultures - Ken Loach's 'Ae Fond Kiss' (2004). Class presentation (Ae Fond Kiss) 15) Review and Test						
授業外における学習（準備学習の内容）	You will sometimes have to read at home in preparation for the class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Tests and Written reports. You will also have to make a class presentation once during the year. Poor attendance will affect your grade and failure to attend the required number of classes may result in failure. Your final grade will be based upon: Presentation (20%); Two Tests and Other Homework (80%)						

教科書	Prints. You must buy a clear file in which to keep the prints and bring them to class each week.
参考書	Please bring a dictionary to class.

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーションゼミ／Seminar in English Communicatio						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	水曜2	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	英語圏・日本のポップ・カルチャー大調査						
授業の概要	英語圏・日本のポップ・カルチャーに属する特定の音楽、映画、コミック、演劇について、グループで資料を集め、分析し、プレゼンテーションを行う。英語圏や日本のポップカルチャーへの理解を深めると同時に、プレゼンテーションの経験を積み、プレゼン技能の習得に努めます。						
到達目標	英語圏・日本のポップ・カルチャーへの理解の深化と、プレゼン技能の修得						
授業計画	【前期】 第1回 授業紹介 第2回 グループ分け、メールの出し方、DropBoxの使い方 第3回 プレゼンテーションの方法 第4回 ハンドアウトの書き方 第5回 アイデア発表 1 第6回 アイデア発表 2 第7回 中間発表 1 第8回 中間発表 2 第9回 中間発表 3 第10回 最終発表 1 第11回 最終発表 2 第12回 最終発表 3 第13回 最終発表 4 第14回 最終発表 5 第15回 まとめと復習 【後期】 第16回 オリエンテーション、グループ分け2 第17回 英語圏ポップカルチャー事例研究 The Beatles 1 第18回 英語圏ポップカルチャー事例研究 The Beatles 2 第19回 英語圏ポップカルチャー事例研究 The Beatles 3 第20回 アイデア発表 第21回 アイデア発表 第22回 中間発表 1 第23回 中間発表 2 第24回 中間発表 3 第25回 最終発表 1 第26回 最終発表 2 第27回 最終発表 3 第28回 最終発表 4 第29回 最終発表 5 第30回 まとめと復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	丹念な発表準備（調査、議論、発表資料作成）						
授業方法	講義と発表						
評価基準と評価方法	プレゼンテーションの出来具合50%、および他グループのプレゼンへのコメント50%						
教科書							

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション特論A／Special Lecture on Communicati						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画理論と文化						
授業の概要	コミュニケーション論・メディア理論に関する参考文献を紹介しながら、文化と社会・メディアの果たす役割を考察する。特に英語圏のフェミニスト映画理論などを紹介し、例えば「女性性」が各時代・文化でどのように表現されているのかを映画の中の女性像を基にして考える。また、英語圏の映画を研究することによって、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力の養成も目標とする。 映画ビデオを観ながら、映画理論・分析方法論を紹介します。社会の中でメディアが果たす役割と文化に及ぼす影響、また「女性性」の表現について考察します。時代とともに変化するディズニー・プリンセスの女性像にも焦点をあて、映画を通して英語表現を学ぶことも目指します。時間が許せば、宮崎アニメの女性像・男性像も考察します。 特論Aはヒッチコックの映画『裏窓』『めまい』を中心に「見る男性・行動する男性」に対して「見られる女性・受身の女性」という図式を映像の中に読み取っていくフェミニスト映画理論について批評します。特論Bは、カメラ・アイ、ファッションなどを含む映画理論・分析方法論を「女性の心の発達」というテーマから考察していきます。 女性の心が成長するプロセスを扱った映画の中で、ヒッチコックの『レベッカ』を鑑賞し、批評家の分析を紹介することから始めます。女性の心の発達を映画を通じて考える良い機会になるでしょう。『ローマの休日』『千と千尋の神隠し』『時をかける少女』『ハウルの動く城』などの映画の鑑賞・分析も予定していますが、後期で中心となるのは、受講生みなさんの映画の発表とディスカッションです。 3、4回生での演習・卒論に取り組む際にはもちろん、社会人になっても重要となる「プレゼンテーション力」「コミュニケーション力」を鍛えるためにも、レジュメを作成して発表するという経験に早くから挑戦してもらいたいものです。時間が許せば、映画のほかにも人気漫画や演劇などにも触れ、さまざまな女性像・男性像を考えてみたいですね。 映画が好きな受講生はもちろん、ポピュラー・カルチャー、ファッション、フェミニズムなど幅広い関心を持った皆さんの積極的な参加を期待します。映画を楽しみ、積極的にディスカッションや発表に参加したい人はぜひ受講して下さい。できれば、特論A、Bで履修されることを薦めます。						
到達目標	映画と文化のかかわりについて、理解を深めること。 また、字幕無しで映画テキストを理解し、英語の文献を読む力を養います。						
授業計画	第1回：オリエンテーション 第2回：コミュニケーションのしくみと 非言語コミュニケーションの役割 第3回：『裏窓』鑑賞と批評Ⅰ：登場人物 第4回：『裏窓』鑑賞と批評Ⅱ：カメラ・アイ 第5回：『裏窓』鑑賞と批評Ⅲ：ファッションの意味 第6回：『めまい』鑑賞と批評Ⅰ：登場人物 第7回：『めまい』鑑賞と批評Ⅱ：カメラ・アイ 第8回：『めまい』鑑賞と批評Ⅲ：女性像の考察 第9回：『裏窓』『めまい』の比較 第10回：映画理論のまとめ、映画の中の女性像（時代によって変化する女性像とディズニー・プリンセス） 第11回：受講生の選択による映画 第12回：受講生のプレゼンテーション 第13回：受講生のプレゼンテーションⅡ：グループ発表 第14回：プレゼンテーションの技法とレポート作成について 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	しっかり予習をして授業に臨むこと。 英語の難易度の高い洋書の読解も授業に含めるので、ある程度、英語力に自信のある学生を歓迎します。						
授業方法	講義形式および受講者のプレゼンテーションなどの演習						
評価基準と評価方法	受講状況（毎回のレポートと希望者による発表）を考慮に入れ、最終レポート（5割）試験（5割）の総合評価。						

教科書	配布プリント
参考書	『ビデオで女性学』井上輝子ほか著、有斐閣 その他、たくさんの参考書、参考文献を授業中に指示します。

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション特論B／Special Lecture on Communicati						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画理論と文化						
授業の概要	英語コミュニケーション特論Bでは、英語コミュニケーション特論Aで学んだコミュニケーション論・メディア理論に関する知識をもとに、受講生自身が英語圏の文化・社会について分析できるような思考力を養うことを目標とする。英語で書かれた文献を紹介し、高度な英語の読解力と異文化に対する理解力を養うことを目指す。 特論Aはヒッチコックの映画『裏窓』『めまい』を中心に「見る男性・行動する男性」に対して「見られる女性・受身の女性」という図式を映画の中に読み取っていくフェミニスト映画理論について批評します。 特論Bは、紹介したカメラ・アイ、ファッションなどを含む映画理論・分析方法論を「女性の心の発達」というテーマから考察していきます。 特論Bでは、女性の心が成長するプロセスを扱った映画の中で、ヒッチコックの『レベッカ』を鑑賞し、批評家の分析を紹介することから始めます。女性の心の発達を映画を通じて考える良い機会になるでしょう。						
到達目標	映画と文化のかかわりについて理解を深めること。 字幕無しで映画を理解し、英語テキストを講読する力も養います。 また、受講生が選んだ映画についてのプレゼンテーションを通じて、表現力、コミュニケーション力も向上させていきます。						
授業計画	第1回：オリエンテーション（非言語コミュニケーションと映画理論） 第2回：女性の心の発達と映画に見る女性像 第3回：『レベッカ』鑑賞と批評 ①：登場人物 第4回：『レベッカ』鑑賞と批評 ②：「名前」の持つ意味 第5回：『レベッカ』鑑賞と批評 ③：女性像の考察 第6回：精神分析と映画理論 第7回：『レベッカ』の女性像にみるエレクトラ・コンプレックス 第8回：女性の心の発達と映画にみる「通過儀礼」のテーマ 第9回：英語文献精読①：語彙の紹介 第10回：英語文献精読②：構文分析 第11回：英語文献精読③：要約 第12回：受講生のプレゼンテーション①：レジュメの作成 第13回：受講生のプレゼンテーション②：グループ発表 第14回：受講生のプレゼンテーション③：レポート作成に向けて 第15回：まとめとテスト						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習を十分して授業に臨むこと。 英語の難易度の高い洋書の読解も含まれるので、英語力に自信のある学生を歓迎します。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験：5、レポート：3、平常点：2＝計10						
教科書	プリントを配布						
参考書	授業中にたくさんの参考文献を指示します。 『シネマのなかの臨床心理学』 山中康裕 著 有斐閣ブックス						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ概論A						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	コンピュータで遊ぼう！
授業の概要	・ デスクトップまわりをカスタマイズ ・ メールの使い方---大学生ならPCのメールを使おう！大学のウェブメールの設定、iPhone での設定など。 ・ iPhoneを使いこなそう---iPhoneはPCと連携してこそちゃんと使える。 ・ iTunesを使いこなそう---iTunes は高校生も使ってるけど、ちゃんとした使い方を学ぼう。 ・ Podcast 知ってる？---これもiTunes の知られざる魅力のひとつです。英語の教材がすごい！ ・ Let's play GarageBand!--- GarageBandは音楽の部品を組み合わせてオリジナルな音楽を作らせてくれるソフトウェアです。基本操作を学んで音楽を作り、iPhone の着信音にしよう！ ・ iMovie を活用しよう --- iMovie は写真や動画を組み込んで自分だけのムービーを作ることができるソフトウェアです。iMovie の基本から、応用してマルチメディア英語教材を作ってみよう♪
到達目標	コンピュータのさわり方から始めて、音楽を作ったり、マルチメディアの英語教材を作ったり --- コンピュータでおしゃれに遊ぼう！。
授業計画	Week 1: Mac に慣れよう ・ デスクトップ、Windows との共通点・相違点（OSについて） ・ ハードウェアとソフトウェア ・ 「ディスク」「フォルダ」「ファイル」の扱い Week 2: メールを設定しよう ・ 神戸松蔭のウェブメールを活用するための設定 Week 3: iPhoneとiTunes を使いこなそう ・ iPhone を活用するためにはPCのiTunes を使いこなす必要があります Week 4: iTunes を使いこなそう ・ Podcast を活用しよう Week 5: iTunes を使いこなそう ・ Podcast から書き取りの練習 Week 6: Let's Play GarageBand! (1) ・ GarageBand の使い方 Week 7: Let's Play GarageBand! (2) ・ Create your original music! Week 8: Let's Play GarageBand! (3) ・ GarageBand で作成した音楽をiPhone の着信音に♪ Week 9: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (1) ・ 音声教材を編集する Week 10: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (2) ・ 英語教材に使う写真をアレンジする Week 11: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (3) ・ 音声ファイルと写真を組み合わせてムービーにする Week 12: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (4) ・ 音声と画像のタイミングを合わせる Week 13: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (5) ・ 「共有」→ムービーを書き出す Week 14: 作品完成！ Week 15: まとめと復習
授業外における学習（準備学習の内容）	日常的にコンピュータを使用する。
授業方法	実習と講義
評価基準と評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。 1回欠席すると平常点から5点減点、さらに提出課題から5点減点とします。 詳細は教室で説明します。

教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ概論B						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使って英語とことばを考える						
授業の概要	リスニング教材を選び、その内容に合った背景写真を選びます。それらと音声をiMovieで組み合わせ、テーマ機能、トランジション機能を利用してリスニング教材のムービーにします。 英語の意味と発音、リズムをよく考えないとできない作業です。 次に、Word を使ってきちんとした英語の文章を書く練習をします。 気をつけるのは次のようなことです。 ・英文を書くのに適したフォントを使っているか ・ちゃんとパンクチュエーション (punctuation) の規則を守っているか ・スタイル機能を活用してきちんとした文章に。 最後にPowerPointを使ってマルチメディア英語教材を作ります。 効果的な教材の提示方法を考えよう。						
到達目標	この授業では、iMovie を使って英語リスニング教材のムービーを作ることを通して音声と映像のデジタル処理の基礎を学び、同時に英語の総合的な学習にも役立てます。						
授業計画	- Mac のデスクトップ、ブラウザ、メールの設定 *ファイルの扱いと情報の概念の基礎 *メールのなりたちとネットワークの基礎 - 英語リスニングのムービーを作る(1) *リスニング教材を選び、内容に合った背景写真を選ぶ - 英語リスニングのムービーを作る(2) *音声のデジタル・ファイル (mp3) を GarageBandを使って分割する *さまざまなデジタル・メディアについて - 英語リスニングのムービーを作る(3) *画像の扱い方 - 英語リスニングのムービーを作る(4) *iMovie でムービーにつなぎあわせ、テーマ機能で歌詞を書き込む - 英語リスニングのムービーを作る(5) *iMovie でムービーにつなぎあわせ、テーマ機能で歌詞を書き込む - ムービーを「共有」できるフォーマットに変換、YouTubeに *著作権 (知的財産権) など情報倫理について説明します - Word で英語をきちんと書こう ・英語を書くときに使うフォント ・英語のパンクチュエーション (punctuation) - Word で英語をきちんと書こう ・Podcast の英語教材を書き取ってみよう - Word の文書に画像を入れよう ・Photoshop で画像をアレンジ♪ ・CG について - PowerPoint を使ってマルチメディア英語教材 ・効果的な単語、表現の提示 - PowerPoint を使ってマルチメディア英語教材 ・効果的なテキスト表示 ・音声も入れてマルチメディア英語教材 - 人工知能とロボット ・特にことばの処理に関連して - ウェブサイトとかんたんなプログラミング - 授業のまとめと復習						
授業外における学習 (準備学習の内容)	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						

評価基準と 評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。 1回欠席すると平常点から5点減点、さらに提出課題から5点減点とします。 詳細は教室で説明します。
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ特論A						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使って英語とことばを考える						
授業の概要	*iMovie を使って英語の歌のカラオケや歌詞表示のムービーを作ります。 ・歌詞の意味をよく考えてふさわしい背景写真を選び、ムービーの素材にします。 ・Photoshop を使って写真を加工し、歌詞を書き込みます。 ・iMovie を使って画像と音楽をつなぎ合わせ、カラオケまたは歌詞表示のムービーに。 *音声分析 MP3 とは何か？ 音声をデジタル化することによって、音声分析のソフトを使って、英語の発音の秘密を明らかにすることができます。						
到達目標	コンピュータを使って、英語、そしてことば全体について考える方法を学びます。前期は特にマルチメディアとその活用について学びます。						
授業計画	1. この授業についての全体的な紹介と注意事項 2. マルチメディア英語教材のムービーを作る(1) *著作権上問題のない音源を提供し、内容に合った背景写真を選ぶ *あわせて著作権について学びます 3. マルチメディア英語教材のムービーを作る(2) *Photoshop で写真を加工し、歌詞を書きます。 4. マルチメディア英語教材 のムービーを作る(3) *Photoshop による作業続行 5. マルチメディア英語教材のムービーを作る(4) *iMovie で画像と音楽をムービーにつなぎあわせます。 6. マルチメディア英語教材のムービーを作る(5) *iMovie で作業続行 7. ムービーを「共有」できるフォーマットに変換、提出 *YouTube と著作権について 8. MP3 って何？ *MP3のしくみとオーディオ・エディタの活用 9. オーディオ・エディタを使って英語教材を編集してみる(1) ・オーディオ・ファイルを分割する 10. オーディオ・エディタを使って英語教材を編集してみる(2) ・分割したファイルを利用して書き取りをやってみよう 11. オーディオ・エディタで見る英語の発音の秘密 (1) ・英語の子音のヒミツにせまろう 12. オーディオ・エディタで見る英語の発音の秘密 (2) ・英語の二重母音のヒミツ 13. 英語の発音をムービーで表現！ (1) ・オーディオ・ファイルと写真を組み合わせてムービーをつくろう 14. 英語の発音をムービーで表現！ (2) ・タイミングを合わせます 15. 授業のまとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						
評価基準と評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。 1回欠席すると平常点から5点減点、さらに提出課題から5点減点とします。 詳細は教室で説明します。						

教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ特論B						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使って英語とことばを考える						
授業の概要	Word をちゃんと使って、きれいな英文やレポートを書く練習をします。 ちゃんとしたフォントやスタイル機能を使ってきれいな文章を書く、さらに画像を取り込んだり、表機能を活用して文書をきれいに配置するテクニックを学びます。 Html の基本を学んできれいなウェブサイトを作る練習をします。 Html の基本的なコマンドの使い方、画像やカラーの基本、表を利用した配置、さらにスタイル・ファイルを使ったきれいなサイトを作ります。あわせてウェブサイトのしくみと知的財産権について学びます。 Photoshop を使ってロゴなどの素材を作り、音声も取り込んだマルチメディアのサイトを作るところまで学びます。						
到達目標	この授業のポイントは Word とウェブサイト作りです。Word と HTML を学ぶことで、「構造のある文書」の概念を学びます。						
授業計画	1. 授業の概要について 2. Word できちんとした英文を書く ・スタイル機能を活用してきれいな英文を書く 3. Word できちんとした英文を書く ・画像を取り込んできれいな文書を作る 4. Word できちんとした英文を書く ・表機能を活用してきれいな文書を作る 5. Word できちんとした英文を書く ・作業続行・完成 6. ウェブサイトを作ってみよう ・エディタのインストールと html の基本 ・ウェブサイトの規格・概要 7. ウェブサイトを作ってみよう ・html: リスト、表、リンク 8. ウェブサイトを作ってみよう ・html: 画像、カラーを使ってみる ・知的財産権-使えない画像について 9. ウェブサイトを作ってみよう ・スタイル・ファイル (CSS) を使ってみる 10. ウェブサイトを作ってみよう ・スタイルの活用 11. ロゴや素材を作ってみよう ・Photoshop を使ってロゴやボタンなどの素材を作ってみよう 12. ロゴや素材を作ってみよう ・Photoshop を使って作業続行 13. ウェブサイトに音声を組み込む ・知的財産権について注意 14. ウェブサイトに音声を組み込む ・作品完成! 15. 授業のまとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						
評価基準と評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。 1回欠席すると平常点から5点減点、さらに提出課題から5点減点とします。 詳細は教室で説明します。						

教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングA／English Pronunciation A						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Introduction. Using Anki. Week 2: Using Praat. How English sounds are made. Week 3: Overview vowels of English Week 4: Overview consonants of English Week 5: Using the phonetic alphabet Week 6: Practice: low vowels, a, u, o Week 7: Practice: 'er' ; word, world, work etc. Week 8: Stress: stressed and unstressed words Week 9: Sentence practice: intonation Week 10: Sentence practice: questions Week 11: Practice: r vs. l Week 12: Practice: clusters with r and l Week 13: Practice: th vs. s, th vs. z Week 14: Practice: s vs. sh before i Week 15: Repeat and review						
授業外における学習（準備学習の内容）	We will make 'flash cards' to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングA／English Pronunciation A						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Introduction. Using Anki. Week 2: Using Praat. How English sounds are made. Week 3: Overview vowels of English Week 4: Overview consonants of English Week 5: Using the phonetic alphabet Week 6: Practice: low vowels, a, u, o Week 7: Practice: 'er' ; word, world, work etc. Week 8: Stress: stressed and unstressed words Week 9: Sentence practice: intonation Week 10: Sentence practice: questions Week 11: Practice: r vs. l Week 12: Practice: clusters with r and l Week 13: Practice: th vs. s, th vs. z Week 14: Practice: s vs. sh before i Week 15: Repeat and review						
授業外における学習（準備学習の内容）	We will make 'flash cards' to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングB／English Pronunciation B						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Review sound system Week 2: Review phonetic alphahbet Week 3: Repeat: r vs. l Week 4: Repeat: th vs. s, th vs. z Week 5: Repeat and review Week 6: Practice: i vs. yi Week 7: Practice: u vs. wu Week 8: Practice: v vs. b Week 9: Repeat and review Week 10: Practice: words ending in n, m, ng Week 11: Practice: words beginning with p, t, k Week 12: Practice: 'can' or 'can' t' Week 13: Practice: word final sounds Week 14: Sentence practice: joining words Week 15: Repeat and review						
授業外における学習（準備学習の内容）	We will make 'flash cards' to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングB／English Pronunciation B						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Review sound system Week 2: Review phonetic alphahbet Week 3: Repeat: r vs. l Week 4: Repeat: th vs. s, th vs. z Week 5: Repeat and review Week 6: Practice: i vs. yi Week 7: Practice: u vs. wu Week 8: Practice: v vs. b Week 9: Repeat and review Week 10: Practice: words ending in n, m, ng Week 11: Practice: words beginning with p, t, k Week 12: Practice: ‘can’ or ‘can’ t’ Week 13: Practice: word final sounds Week 14: Sentence practice: joining words Week 15: Repeat and review						
授業外における学習（準備学習の内容）	We will make ‘flash cards’ to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングA						
担当教員	郡司 隆男						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画を通して英語の音になじむ						
授業の概要	英語の映画を（字幕なしで）理解できるようになることを目標とします。 一本の映画を半年かけて見ることにより、英語の音になれるだけでなく、英語特有の言い回し、英語らしい話の展開などについても習熟することを目指します。特に背景となる文化面の理解も進めたいと思います。						
到達目標	(1) 英語の映画の内容が理解できる。 (2) 英語の字幕を見ながら原語の表現が聞きとれる。 (3) 日本語の字幕を見ながら原語の表現が聞きとれる。 (4) 字幕なしでも原語の表現が聞きとれる。 (5) 映画の文化的背景を理解する。						
授業計画	以下はテキストの章・節立てに沿った、大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定。 第1回 導入、『プラダを着た悪魔』（2006）の前半観賞。 第2回 『プラダを着た悪魔』の後半観賞。 第3回 Job Interview 第4回 First Day on the Job 第5回 Hurricane on the Weekend 第6回 Andy's Makeover 第7回 Andy Meets Christian 第8回 Miranda's Request 第9回 Nate's Birthday 第10回 Andy's Decision 第11回 Breakup with Nate 第12回 The Dream Job 第13回 Announcement at the Party 第14回 Andy's Final Choice 第15回 まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習の段階でスクリプトに目を通しておいた方が理解は深まると思いますが、授業中に集中して聴くことの方が大事です。 スクリプトを暗記してこようなどとは思わない方がよいですが、知らない単語があった場合には辞書を引いておいた方がよいでしょう。						
授業方法	まず、はじめの2回で日本語の字幕付で通して映画を見て、映画の内容を頭に入れてもらいます。 3回目からはストーリーにそって少しずつ見直し、セリフを聞きとる練習をしていきます。						
評価基準と評価方法	不定期の小テスト（50%）、授業中の取り組み具合（10%）、および学期末の試験ないしレポート（40%）により成績をつけます。。						
教科書	Communicate in English with The Devil Wears Prada---『プラダを着た悪魔』で学ぶコミュニケーション英語 Aline Brosh McKenna 著 角山照彦・Simon Capper 編著 松柏社 ISBN：978-4-88198-712-4						
参考書	授業中に指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングA						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	歌を通して英語のリスニングを学ぶ						
授業の概要	英語のポップソングを聴くことを通して、英語のリスニング、さらに表現や文化を学ぶ。						
到達目標	英語の自然な音声現象に慣れること。						
授業計画	第1回 イントロ 第2回 Hey Jude 第3回 Top of the world 第4回 You are not alone 第5回 Don't wanna lose you 第6回 How crazy are you? 第7回 質疑応答と中間試験 第8回 Sunday morning 第9回 I want it that way 第10回 Suddenly I see 第11回 How am I supposed to live without you? 第12回 Save the best for last 第13回 Last Christmas 第14回 Torn 第15回 質疑応答と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習と復習をすること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験（中間試験＋期末試験）60%＋授業参加点40%						
教科書	Kanel, Kim R. 「エンジョイ・ポップソング」（成美堂） ISBN: 978-4-7919-4541-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングB						
担当教員	郡司 隆男						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画を通して英語の音になじむ						
授業の概要	英語の映画を（字幕なしで）理解できるようになることを目標とします。 一本の映画を半年かけて見ることで、英語の音になれるだけでなく、英語特有の言い回し、英語らしい話の展開などについても習熟することを目指します。特に背景となる文化面の理解も進めたいと思います。						
到達目標	(1) 英語の映画の内容が理解できる。 (2) 英語の字幕を見ながら原語の表現が聞きとれる。 (3) 日本語の字幕を見ながら原語の表現が聞きとれる。 (4) 字幕なしでも原語の表現が聞きとれる。 (5) 映画の文化的背景を理解する。						
授業計画	以下はテキストの章・節立てに沿った、大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定。 第1回 導入、『いまを生きる』（1990）の前半観賞。 第2回 『いまを生きる』の後半観賞、A New Semester「新学期」 第3回 Seize the Day 「“その日をつかめ”」 第4回 An Invitation to Poetry「詩へのいざない」 第5回 Free Thinkers「自由思想家」 第6回 Dead Poets Society「“死せる詩人の会”復活」 第7回 Your Own Voice「自分自身の言葉」 第8回 Poetry Class「詩作の授業」 第9回 Conformity vs. Individuality「順応性と自分らしさ」 第10回 Time for Action「行動の時」 第11回 Father and Son「父と息子」 第12回 A Midsummer Night's Dream「“真夏の夜の夢”」 第13回 The End of the Society「“死せる詩人の会”終結」 第14回 Betrayal「密告」 第15回 Oh, Captain! My Captain!「“船長”への敬意」、まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習の段階でスクリプトに目を通しておいた方が理解は深まると思いますが、授業中に集中して聴くことの方が大事です。 スクリプトを暗記してこようなどとは思わない方がよいですが、知らない単語があった場合には辞書を引いておいた方がよいでしょう。						
授業方法	まず、はじめの1回半で日本語の字幕付で通して映画を見て、映画の内容を頭に入れてもらいます。 2回目の後半からは、ストーリーにそって少しずつ見直し、セリフを聞きとる練習をしていきます。						
評価基準と評価方法	不定期の小テスト（50%）、授業中の取り組み具合（10%）、および学期末の試験ないしレポート（40%）により成績をつけます。。						
教科書	『いまを生きる』――Dead Poets Society 田中長子・本多浩子・山本厚子・Benedict Rowlett・中垣恒太郎 編著 音羽書房鶴見書店 ISBN：978-4-7553-0368-5						
参考書	授業中に指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングB						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	歌を通して英語のリスニングを学ぶ						
授業の概要	英語のポップソングを聴くことを通して、英語のリスニング、さらに表現や文化を学ぶ。						
到達目標	英語の自然な音声現象に慣れること。						
授業計画	第1回 イントロ 第2回 Love me tender 第3回 Be my baby 第4回 Imagine 第5回 Unchained melody 第6回 The loco-motion 第7回 質疑応答と中間試験 第8回 When a man loves a woman 第9回 Yesterday once more 第10回 Help! 第11回 I just called to say I love you 第12回 Stand by me 第13回 Let it be 第14回 Woman 第15回 質疑応答と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習と復習をすること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験（中間試験＋期末試験）60%＋授業参加点40%						
教科書	Kanel, Kim R. 「ポップソング・リスニング」（成美堂） ISBN: 978-4-7919-4525-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英米文学概論A						
担当教員	白川 計子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文学とは何か、文学研究とは何か						
授業の概要	この授業では文学とは何か、文学研究とは何かを講義する。娯楽としての読書、教養としての読書から、深く人間や社会について考えるきっかけとしての読書への導入をおこなう。 英米の小説や詩を紹介し、分析の実例を講義する。						
到達目標	(1) 文学テキストを研究対象として注意深く読むことができるようになる。 (2) 課題として与えられた文学テキストに対し、読書感想文ではない、客観的な批評文が書けるようになる。						
授業計画	第1回：文学とは何か、文学批評とは何か 第2回：ジェイムス・ジョイス紹介 第3回：「アラビー」紹介 第4回：「アラビー」鑑賞 第5回：「アラビー」鑑賞と批評 第6回：「アラビー」批評の実践とフィードバック 第7回：シルビア・プラスとテッド・ヒューズ紹 第8回：シルビア・プラスの生涯 第9回：シルビア・プラスの詩の鑑賞と批評介 第10回：テッド・ヒューズの詩の鑑賞と批評 第11回：詩の批評の実践 第12回：レイモンド・カーバー短編小説鑑賞 第13回：レイモンド・カーバー短編小説批評 第14回：作家と社会 第15回：文学批評レポートの書き方指導						
授業外における学習（準備学習の内容）	与えられた作品を読み、批評文を書く。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	平常点（授業中の提出物）50％ 最終レポート50％						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英米文学概論B						
担当教員	白川 計子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化テキストとしての英米文学						
授業の概要	この授業では文学を芸術作品としてだけではなく、文化テキストとして読む方法を紹介する。すなわち、文学がある特定の時代の、特定の社会に生きた個人から発声された1つの現象として捉える姿勢を学ぶ。近代から現代の英米の文学作品を紹介し、作品への様々なアプローチについて講義する。文学が、われわれ自身、社会、世界のありようを問い直す力を潜在的にもっているものであることを伝えたい。						
到達目標	(1) 近代から現代にいたる社会と人間観の変容を知る。 (2) その変容が文化表象としての文学テキストにいかん反映しているかを理解する。 (3) 現代批評における文学へのアプローチの多様性を理解する。 (4) 文学と批評の社会的価値を理解する。						
授業計画	第1回：ジェイン・オースティン紹介 第2回：「高慢と偏見」鑑賞 第3回：「高慢と偏見」鑑賞と批評 第4回：「高慢と偏見」批評 第5回：D. H. ロレンス紹介 第6回：ロレンス「菊の香り」精読 第7回：ロレンス「菊の香り」精読と批評 第8回：ロレンスの動物詩の鑑賞と批評 第9回：『チャタレイ夫人の恋人』紹介 第10回：フィリップ・ラーキン紹介 第11回：ラーキンの社会詩鑑賞 第12回：『ブリジッド・ジョーンズの日記』紹介 第13回：『ブリジッド・ジョーンズの日記』批評 第14回：時代と作家と作品について 第15回：文学批評のレポートの書き方指導						
授業外における学習（準備学習の内容）	与えられた文学テキストを読み、批評文を書く						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	平常点（授業中の提出物）50％、最終レポート50％						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	教室英語A						
担当教員	久保田 真紀子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	英語で指導する上で必要なclassroom Englishやskillを習得し、それを駆使する。						
授業の概要	この授業は将来何らかの形で英語を教えたいと思う学生にそのskillを教えることを目標とする。また、指導だけのためではなく、学んだことを日常生活の中でcommunicationの手段として使えるようにする。現場で使える様々なactivityを学び、それを活用、実践していく。						
到達目標	英語で指導をすることに自信をもつこと。 英語を学ぶいろんな年齢層の生徒と楽しくcommunicationできること。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 Warm Up・Closing Remarks 第3回 Classroom Commands (Distributing handouts, Group organization) 第4回 Classroom Commands (Moving, Taking Turns) 第5回 Presentation (Starting the class, Ending the class) 第6回 Performance Activities (Songs, Letters, Textbooks) 第7回 Performance Activities (Test, Homework, Story) 第8回 Interactions with ALT 第9回 Games (Sugoroku, Bingo) 第10回 Games (Cards) 第11回 Presentation (One activity, One song) 第12回 Total Physical Response (Movement of hands, arms, and shoulders) 第13回 Total Physical Response (Movement of feet and legs) 第14回 Presentation (Festivals) 第15回 定期試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回の授業で学んだ表現を復習し、次の授業で活用できること。						
授業方法	演習形式なので積極的に参加すること。						
評価基準と評価方法	平常点（プレゼンテーション、課題、小テスト）50% 定期試験 50%						
教科書	Bright and Early, Classroom English for Teachers of Children Junko Matsuzaki Carreira 南雲堂 ISBN978-4-523-17628-2						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	教室英語B						
担当教員	久保田 真紀子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	英語で指導する上で必要なclassroom Englishやskillを習得し、それを駆使する。						
授業の概要	この授業は将来何らかの形で英語を教えたいと思う学生にそのskillを教えることを目標とする。また、指導だけのためではなく、学んだことを日常生活の中でcommunicationの手段として使えるようにする。現場で使える様々なactivityを学び、それを活用、実践していく。概要も目的もAと同じですが、Aで学んだことをさらにステップアップするのでAとBを続けて履修して欲しい。						
到達目標	英語で指導をすることに自信をもつこと。 英語を学ぶいろんな年齢層の生徒と楽しくcommunicationできること。						
授業計画	第1回 Coloring・Drawing・Making 第2回 Festivals and Events 第3回 School Life, Play 第4回 Sports 第5回 Presentation 第6回 Animals and Insects 第7回 Birds & Creatures Living in the Sea and River (Birds) 第8回 Birds & Creatures Living in the Sea and River (Creatures living in the sea and river) 第9回 Daily Life of Children 第10回 Group Presentation 第11回 Reading in English 第12回 Writing in English 第13回 Telling Stories 第14回 Presentation (15 minute presentation) 第15回 定期試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回の授業で学んだ表現を復習し、次の授業で活用できること。						
授業方法	演習形式なので積極的に参加すること。						
評価基準と評価方法	平常点（プレゼンテーション、課題、小テスト）50% 定期試験 50%						
教科書	Bright and Early, Classroom English for Teachers of Children Junko Matsuzaki Carreira 南雲堂 ISBN978-4-523-17628-2						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	予備登録						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における学習（準備学習の内容）	
授業方法	
評価基準と評価方法	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	予備登録						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における学習（準備学習の内容）	
授業方法	
評価基準と評価方法	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	F. Shiobara						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の修得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って、学習に取り組むことができるようになる。						
授業計画	第1回：オリエンテーション（キャンパスツアー・自己紹介・履修指導） 第2回：スタディ・マップ（履修指導・カリキュラムマップ・成績管理・GPA） 第3回：授業の受け方・ノートの取り方・タイムマネジメントの仕方（テキストpp. 74-77） 第4回：図書館の使い方（図書館員によるガイダンス） 第5回：図書館の使い方（pp. 78-80を参考にして、前回の図書館ガイダンスをもとに、p. 81のワークの課題に取り組む） 第6回：レポート・論文の書き方（pp. 82-85） 第7回：レポート・論文の書き方（pp. 86-87のワーク） 第8回：ディスカッションの仕方（pp. 88-89） 第9回：ディスカッションをしてみよう（p. 90のワーク） 第10回：ディベートの仕方（p. 91） 第11回：発表・プレゼンテーションの仕方（pp. 92-94） 第12回：プレゼンテーションの準備（p. 95のワーク） 第13回：プレゼンテーションの実践（グループに分かれてプレゼンテーション） 第14回：プレゼンテーションを振り返ろう（p. 96） 第15回：前期のまとめと振り返り（p. 97を参考に）						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく 事後学習：学習内容を整理・復習する。						
授業方法	講義および練習問題、プレゼンテーションやグループワークによる演習						
評価基準と評価方法	出席および授業参加における積極性を含む平常点 50%とレポートや試験が50%による総合評価						
教科書	My Career Note (I) Advance ベネッセ i ーキャリア						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の修得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って、学習に取り組むことができるようになる。						
授業計画	第1回：オリエンテーション（キャンパスツアー・自己紹介・履修指導） 第2回：スタディ・マップ（履修指導・カリキュラムマップ・成績管理・GPA） 第3回：授業の受け方・ノートの取り方・タイムマネージメントの仕方（テキストpp. 74-77） 第4回：図書館の使い方（図書館員によるガイダンス） 第5回：図書館の使い方（pp. 78-80を参考にして、前回の図書館ガイダンスをもとに、p. 81のワークの課題に取り組む） 第6回：レポート・論文の書き方（pp. 82-85） 第7回：レポート・論文の書き方（pp. 86-87のワーク） 第8回：ディスカッションの仕方（pp. 88-89） 第9回：ディスカッションをしてみよう（p. 90のワーク） 第10回：ディベートの仕方（p. 91） 第11回：発表・プレゼンテーションの仕方（pp. 92-94） 第12回：プレゼンテーションの準備（p. 95のワーク） 第13回：プレゼンテーションの実践（グループに分かれてプレゼンテーション） 第14回：プレゼンテーションを振り返ろう（p. 96） 第15回：前期のまとめと振り返り（p. 97を参考に）						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく 事後学習：学習内容を整理・復習する。						
授業方法	講義および練習問題、プレゼンテーションやグループワークによる演習						
評価基準と評価方法	出席および授業参加における積極性を含む平常点 50%とレポートや試験が50%による総合評価						
教科書	My Career Note (I) Advance ベネッセ i ーキャリア						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	郡司 隆男						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の修得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って、学習に取り組むことができるようになる。						
授業計画	第1回：オリエンテーション（キャンパスツアー・自己紹介・履修指導） 第2回：スタディ・マップ（履修指導・カリキュラムマップ・成績管理・GPA） 第3回：授業の受け方・ノートの取り方・タイムマネージメントの仕方（テキストpp. 74-77） 第4回：図書館の使い方（図書館員によるガイダンス） 第5回：図書館の使い方（pp. 78-80を参考にして、前回の図書館ガイダンスをもとに、p. 81のワークの課題に取り組む） 第6回：レポート・論文の書き方（pp. 82-85） 第7回：レポート・論文の書き方（pp. 86-87のワーク） 第8回：ディスカッションの仕方（pp. 88-89） 第9回：ディスカッションをしてみよう（p. 90のワーク） 第10回：ディベートの仕方（p. 91） 第11回：発表・プレゼンテーションの仕方（pp. 92-94） 第12回：プレゼンテーションの準備（p. 95のワーク） 第13回：プレゼンテーションの実践（グループに分かれてプレゼンテーション） 第14回：プレゼンテーションを振り返ろう（p. 96） 第15回：前期のまとめと振り返り（p. 97を参考に）						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく 事後学習：学習内容を整理・復習する。						
授業方法	講義および練習問題、プレゼンテーションやグループワークによる演習						
評価基準と評価方法	出席および授業参加における積極性を含む平常点 50%とレポートや試験が50%による総合評価						
教科書	「My Career Note (I) Advance」ベネッセi-キャリア						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の修得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って、学習に取り組むことができるようになる。						
授業計画	第1回：オリエンテーション（キャンパスツアー・自己紹介・履修指導） 第2回：スタディ・マップ（履修指導・カリキュラムマップ・成績管理・GPA） 第3回：授業の受け方・ノートの取り方・タイムマネージメントの仕方（テキストpp. 74－77） 第4回：図書館の使い方（図書館員によるガイダンス） 第5回：図書館の使い方（pp. 78－80を参考にして、前回の図書館ガイダンスをもとに、p. 81のワークの課題に取り組む） 第6回：レポート・論文の書き方（pp. 82－85） 第7回：レポート・論文の書き方（pp. 86－87のワーク） 第8回：ディスカッションの仕方（pp. 88－89） 第9回：ディスカッションをしてみよう（p. 90のワーク） 第10回：ディベートの仕方（p. 91） 第11回：発表・プレゼンテーションの仕方（pp. 92－94） 第12回：プレゼンテーションの準備（p. 95のワーク） 第13回：プレゼンテーションの実践（グループに分かれてプレゼンテーション） 第14回：プレゼンテーションを振り返ろう（p. 96） 第15回：前期のまとめと振り返り（p. 97を参考に）						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく 事後学習：学習内容を整理・復習する。						
授業方法	講義および練習問題、プレゼンテーションやグループワークによる演習						
評価基準と評価方法	出席および授業参加における積極性を含む平常点 50%とレポートや試験が50%による総合評価						
教科書	「My Career Note (I) Advance」ベネッセi-キャリア						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際秘書概論A						
担当教員	平井 拓己						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として必要な知識と実務能力の習得(基礎編)						
授業の概要	国際化社会、情報化社会の中で変化するビジネス環境、企業組織において、国際秘書として効果的な役割を果たすために必要な職能、資質、知識、技能などについて学習し、必要な専門的知識と実務能力の習得を目指す。国際秘書の職務に関連する分野は極めて広範囲にわたるが、本科目では、国際秘書の現状、地位、職能、資質、対人関係に関してはコミュニケーション能力、マナー、ホスピタリティ等について考えていく。						
到達目標	国際秘書としての業務の基本的な内容を知り、それに必要な知識を習得する。						
授業計画	1. オリエンテーション:国際秘書について 2. 日本企業の国際化:国際秘書の現状 3. 国際企業の組織:国際秘書の役割(1)組織における役職 4. 秘書の専門分化:国際秘書の役割(2)組織構造 5. 国際企業で求められる知識と技能:国際秘書の職能 6. 国際企業で求められる人材:国際秘書の資質 7. 国際秘書の職業観とキャリア(1)職業人としての基礎力 8. 国際秘書の職業観とキャリア(2)国際企業におけるキャリア 9. 国際秘書の言語コミュニケーション能力 10. 国際秘書の非言語コミュニケーション能力 11. 国際秘書のマナーと接遇 12. 国際秘書のプロトコル 13. 国際秘書のホスピタリティ 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前: 経済紙などを読み、企業活動について把握する。 授業後: 学んだ内容を復習し、機会を捉えて実践する。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	平常点(毎回提出物があります) 40% 中間レポート及び期末試験 60%						
教科書	なし(資料を配付します)						
参考書	講義中に指示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際秘書概論B						
担当教員	平井 拓己						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際社会、情報社会のなかで国際秘書として必要な知識と実務能力の習得（応用編）						
授業の概要	この授業では、国際秘書の知識、技能について考える。国際秘書に求められるのは、国際経営、金融、国際関係に関する専門的知識、商取引に関する法制度についての専門的知識、情報収集能力を含めた情報一般に関する専門的知識などとそれぞれの分野における高い実務能力である。授業では、これらのトピックについてできるかぎり具体例を用いて解説する。						
到達目標	国際秘書としての業務の基本的な内容をもとに、より専門的な知識、技能についての理解を深める。						
授業計画	1. オリエンテーション：国際秘書について 2. 秘書の国際化と専門分化 3. 国際秘書に必要な経済、金融についての知識 4. 国際秘書に必要な商取引、貿易取引についての知識 5. 国際秘書に必要な法制度、規制についての知識 6. 国際秘書に必要な事務管理能力 7. 国際秘書と異文化理解・プレゼンテーション能力 8. 国際秘書とマーケティング 9. 国際秘書と情報社会 10. 国際秘書のコンプライアンスへの対応 11. 国際企業のリスク管理への対応 12. 国際秘書の外部メディアへの対応 13. 国際秘書の情報収集能力と情報倫理への対応 14. 国際秘書とビジネス社会・まとめ 15. 質疑応答・期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前：経済紙などを読み、企業活動について把握する。 授業後：学んだ内容を復習し、機会を捉えて実践する。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	講義への出席（毎回提出物があります） 40% レポート及び期末試験 60%						
教科書	なし（資料を配付します）						
参考書	講義中に必要に応じて指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスコミュニケーションA／International Business Commu						
担当教員	S. Bibby						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	English for International Business Communication						
授業の概要	Within this course students work within a believable, “real-life” English-speaking business environment in the classroom across the whole academic year. Students 'are' new employees at an international company, where you work together in small groups to perform various simulated practical (and fun!) business-type tasks in English. Additionally students study business email in class – spoken and written aspects of business communication are thus covered. Students are also assigned language and culture focus worksheets to complete. *This course is taught entirely in English*						
到達目標	Students will: * improve their overall communicative ability * learn language expressions to use in multiple business situations * get better at small talk * practice presentations, meetings and group project work * learn more about different tasks in different departments in the business environment * learn to better appreciate aspects of 'intercultural' interactions and avoid causing offence * learn and practice business email						
授業計画	1. Course orientation and explanation, introductory activities, making business name cards and name tags 2. First meetings – behaviours and language – handshakes, card exchanges, conversation topics 3. Different departments: what do they do? HR, R & D, Finance, Sales and Marketing. 4. Understanding about different departments – explaining jobs 5. Choosing departments, Research and Development. Thinking about the you/job match. What do you want to do? 6. Good leader / bad leader – skills to be a project manager 7. Describing products 8. Problems and solutions 9. Best product ideas – product proposal form 10. Complete product proposal description and evaluate performance 11. Finance, work chat, new assignment, new project manager 12. Describe products, think about decision-making, analyse pros and cons / strengths and weaknesses , learn about disagreeing politely 13. Examining language – polite/impolite, thinking about pros and cons, listen for details, the company 14. Debating language and practice – consider and report pros and cons 15. Prepare and present poster explaining the decision making process						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students will need to complete language focus work outside class, but most of the course is designed to be completed within class time. Some homework will be set focusing on business emails – this must be done, and is checked in class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Appropriacy and effectiveness of language and behaviour in a business setting is assessed. In addition, when language homework is set, this is included in the assessment. 100% of assessment is thus via class work and homework. There is no final exam.						
教科書	Widgets – student book and DVD by Marcos Benevides and Chris Valvona Pearson Longman ISBN 9789620189531						
参考書	Use an electronic dictionary (on your smartphone is okay).						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスコミュニケーションB／International Business Commu						
担当教員	S. Bibby						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	English for International Business Communication						
授業の概要	Within this course students work within a believable, “real-life” English-speaking business environment in the classroom across the whole academic year. Within this course, students 'are' new employees at an exciting international company, where they work together in small groups to perform various simulated practical and fun business-type tasks in English. Additionally, students study business email in class – spoken and written aspects of business communication are thus covered. Students are also assigned language and culture focus worksheets to complete. *This course is taught entirely in English*						
到達目標	Students will: * improve their overall communicative ability * learn language expressions to use in multiple business situations * get better at small talk * practice presentations, meetings and group project work * learn more about different tasks in different departments in the business environment * learn to better appreciate aspects of 'intercultural' interactions and avoid causing offence * learn and practice business email						
授業計画	1. Small talk, choose new project manager, learn about new project 2. Types of questions – opinion/fact, questionnaires and surveys 3. Collect data, collate and analyse data – findings? 4. Prepare short presentation 5. Give presentations, offer handouts, evaluate performance 6. Presentations (2) 7. Casual work chat, listening – main ideas, final project manager assigned 8. Brainstorm marketing ideas 10. Videos – conclusions? Infomercials, plan infomercials with cartoon strips 11. Plan infomercial – details 12. Rehearse, perform 13. Perform (2) 14. Evaluate team performances, review language and skills 15. Complete 'training'						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should not miss any items. This is team-based and lessons are in progression. And it's fun! Most class time will be spent on communication focused activities. Some homework will be set focusing on business emails – this must be done, and is checked in class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Students are assessed on appropriate language and behaviours in the simulated working environment. 100% assessed in class.						
教科書	Widgets (student book and DVD) ISBN 9789620189531 Pearson Longman by Benevides and Valvona						
参考書	Electronic dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスマネジメントA／International Business Manageme						
担当教員	平井 拓己						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	We will study in depth the structure of the business firm and the environment in which it operates.						
授業の概要	We will first look at the structure of the economy paying close attention to the issues related to the operation of the firm. From there we will explore the structure and establishment of the firm within its economic environment.						
到達目標	To understand the how and why people establish businesses within their economic framework, with a focus on the HOW TO of setting up a business.						
授業計画	Module One: The Economy 1. Economy Overview, The division of Labor 2. Trade: history, methods and financing 3. Comparative advantage 4. Markets: origins and types 5. Money: history and uses of money, types of money 6. Banking and Finance 7. Labor: labor as the fundamental currency of economy 8. Regulation: regulatory issues for business Module Two: The Firm 9. What is a firm: types and purposes 10. The role of the firm: Structure and purpose 11. Establishing a business: purpose, structure, division of responsibility, paid-in-capital 12. Functions of the firm 13. Establishing the firm: choosing the structure, arranging capital, determining ownership, naming, registration etc. 14. Products and Services: Choosing your product, determining your service 15. Financing						
授業外における学習（準備学習の内容）	Participants are expected be familiar with current topics regarding the economy and business, by reading newspapers and/or through other sources.						
授業方法	The class will combine lecture, class discussion and group exercises. We will try to add practical exercises where possible. This class will be heavily favored toward English, so ability in English is required. However, Japanese support will be available in class. *I will be available for questions immediately before or after class.						
評価基準と評価方法	Class participation 40% Assignments 10% Final exam (presentation) 50%						
教科書	Materials will be distributed in class.						
参考書	Will be introduced during classes.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスマネジメントB／International Business Manageme						
担当教員	平井 拓己						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	We will study in greater depth the establishment and operation of the business firm.						
授業の概要	This course will focus on the establishment and operation of the business firm within the global economy.						
到達目標	To understand the how and why people establish businesses within their economic framework, with a focus on the HOW TO of setting up a business.						
授業計画	Module Three: Entrepreneurship v Management 1) What is an entrepreneur? What are the risks? What is the goal? What is the motivation? 2) Defining the product: product definition, product costs, competition, and differentiation. 3) Selling: What are you selling, prepping for sales, the presentation. 4) Making the sales presentation 5) Production: costs, timing and the schedule 6) Management: personnel, legal, operations. 7) Operational issues: human resources, contracts, accounting. Module Four: Building the Business Plan 1) Defining the Product 2) Researching the Market 3) Defining the Business Model 4) Defining the Business Model 5) Writing the Offering 6) Personnel Plan 7) Financing the Business 8) Presenting the Plan						
授業外における学習（準備学習の内容）	Participants are expected be familiar with current topics regarding the economy and business, by reading newspapers and/or through other sources.						
授業方法	The class will combine lecture, class discussion and group exercises. We will try to add practical exercises where possible.						
評価基準と評価方法	Class participation 40% Assignments 10% Final exam (presentation) 50%						
教科書	Materials will be distributed in class.						
参考書	Will be introduced during classes.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際マナー入門						
担当教員	岡部 浩子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	海外の国々の文化・習慣・価値観の違いなどを学びながら、状況に応じて適切なコミュニケーションができ、良い人間関係が築けるようにします。						
授業の概要	国際マナーの基本的な考え方から、挨拶、紹介、異文化理解などの具体的な事柄を学びます。日本人として、また社会人として、恥ずかしくないマナーの習得を目指します。						
到達目標	初対面の人への正しい応対ができること 食事のマナーを習得すること 異なる文化や習慣を理解し、円滑なコミュニケーションを行えること						
授業計画	第1回 Introduction: Manner とは何か, 挨拶 第2回 紹介と名刺 第3回 コミュニケーションのマナー 第4回 レディーファースト 第5回 レストランのマナー 第6回 フランス料理の基礎 第7回 テーブルマナー 第8回 ワインとマナー 第9回 宗教とマナー①イスラム教 第10回 宗教とマナー②ユダヤ教 第11回 国別対応 第12回 国際儀礼 第13回 パーティー 第14回 ホームパーティーへの招待, 贈り物 第15回 贈り物, Review and term exam						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業計画に従い、該当箇所に目を通しておくこと。						
授業方法	講義形式にて行います。						
評価基準と評価方法	平常点 (40%), 課題 (10%), 試験 (小テスト25%, 期末テスト25%)						
教科書	初回授業時にクラス内で指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際マナー入門						
担当教員	岡部 浩子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	海外の国々の文化・習慣・価値観の違いなどを学びながら、状況に応じて適切なコミュニケーションができ、良い人間関係が築けるようにします。						
授業の概要	国際マナーの基本的な考え方から、挨拶、紹介、異文化理解などの具体的な事柄を学びます。日本人として、また社会人として、恥ずかしくないマナーの習得を目指します。						
到達目標	初対面の人への正しい応対ができること 食事のマナーを習得すること 異なる文化や習慣を理解し、円滑なコミュニケーションを行えること						
授業計画	第1回 Introduction: Mannerとは何か, 挨拶 第2回 紹介と名刺 第3回 コミュニケーションのマナー 第4回 レディーファースト 第5回 レストランのマナー 第6回 フランス料理の基礎 第7回 テーブルマナー 第8回 ワインとマナー 第9回 宗教とマナー①イスラム教 第10回 宗教とマナー②ユダヤ教 第11回 国別対応 第12回 国際儀礼 第13回 パーティー 第14回 ホームパーティーへの招待, 贈り物 第15回 贈り物, Review and term exam						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業計画に従い、該当箇所に目を通しておくこと。						
授業方法	講義形式にて行います。						
評価基準と評価方法	平常点(40%), 課題(10%), 試験(小テスト25%, 期末テスト25%)						
教科書	初回授業時にクラス内で指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	コンピューティングA／Computing A						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	インターネットがわかる。ウェブデザインの基本。						
授業の概要	この授業ではコンピュータを使ってインターネット上の情報にアクセスする方法を学びます。このために、まずコンピュータの基本的な働き、オペレーティング・システム（OS）そしてコンピュータ・ネットワークについて理解を深めることにします。それからCGなどのデジタルメディアをを使ったウェブページの作成法、スタイルシートを使った情報の効果的な表示法を勉強します。さらにネット上でのあるべき倫理的問題、セキュリティとプライバシーの問題、そしてデジタルコンテンツの著作権の扱い方などにも触れます。授業では基本的概念の理解と実践の両方に重きを置く予定です。						
到達目標	テキストエディタ、グラフィックス・音声・動画ファイルなどを扱うさまざまなソフトウェアに使い慣れる。データのマークアップ、HTML、CSS、そして初歩のウェブプログラミングをマスターする。						
授業計画	第1回： コンピューターの基礎 第2回： ファイルエディターとファイルの種類 第3回： インターネットはなんですか？ 第4回： ブラウザーの種類 第5回： マークアップ言語：HTML/XHTML 第6回： ウェブサイトの計画 第7回： スタイルシート CSS 第8回： イメージの種類 第9回： 画像処理ソフトでイメージの変種 第10回： ユーザインターフェース 第11回： スクリプト 第12回： マルチメディア 第13回： プロジェクト作成・計画 第14回： プロジェクト作成・実現 第15回： プロジェクト作成・完成						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業で習った概念を実際に自分で使って慣れること。授業で始めたプロジェクトは、授業時間外に終わらせる必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	クイズで授業で扱った理論的概念のチェックをします。また、授業で扱ったスキルを使って、プロジェクトを完成させる必要があります。授業参加とクイズは評価の30%、プロジェクトは70%です。						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	コンピューティングB／Computing B						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使ったデータ分析。						
授業の概要	この授業ではコンピュータを使ってデータを収集し、組み立て、分析する方法を学びます。まずコンピュータの基本的な働き、オペレーティング・システム（OS）、ハードウェアとソフトウェアの違いなどについて理解を深めます。それからデータ入力、いろいろなフォーマットでの保存法や暗号化法、表計算ソフトやデータベースを使ったデータ分析法を勉強します。さらにネット上でのあるべき倫理的問題、セキュリティとプライバシーの問題、そしてデジタルコンテンツの著作権の扱い方などにも触れることにします。						
到達目標	データ入力と分析のためにさまざまなツールをマスターすること。XMLなどによるデータのマークアップをマスターすること。						
授業計画	第1回： データベースはなんですか？ 第2回： 表計算ソフトを使う 第3回： データの種類 第4回： グラフを作る 第5回： データ分析法 第6回： データ構造 第7回： マークアップ言語：XML 第8回： データベース言語：SQL 第9回： データベースの作成 第10回： データベースからデータを取り出す 第11回： セキュリティとプライバシーの問題 第12回： ウェブの接続 第13回： プロジェクト作成・計画 第14回： プロジェクト作成・実現 第15回： プロジェクト作成・完成						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業で習った概念を実際に自分で使って慣れること。授業で始めたプロジェクトは、授業時間外に終わらせる必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	クイズで授業で扱った理論的概念のチェックをします。また、授業で扱ったスキルを使って、プロジェクトを完成させる必要があります。授業参加とクイズは評価の30%、プロジェクトは70%です。						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報処理A						
担当教員	松田 泰至						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータおよび関連技術について知る						
授業の概要	本授業では、情報/コンピュータ関係の試験で問われる事項について基礎的な知識を得ると共に、実際にコンピュータで作業をすることにより(Webページの作成)、具体的に情報処理の過程を理解・習得することを目的とする。						
到達目標	1. コンピュータを用いた情報処理の過程を理解するようになる。 2. 国家試験である情報処理技術者試験の概要がわかる。						
授業計画	第1回 授業概要説明 第2回 情報処理技術者試験の概要 第3回 コンピュータの基本構造(1) 5大機能 第4回 コンピュータの基本構造(2) 各機能間の連携 第5回 コンピュータネットワークの基礎(1) 階層構造 第6回 コンピュータネットワークの基礎(2) プロトコル 第7回 コンピュータネットワークの基礎(3) Web関連技術 第8回 チェックおよび復習 第9回 画像処理(1) フォーマット 第10回 画像処理(2) フィルタ 第11回 画像処理(3) 演習 第12回 アニメーション(1) 原理 第13回 アニメーション(2) 演習 第14回 チェックおよび復習 第15回 チェックおよび総まとめ						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習：前回授業内容について復習しておく。 授業後学習：授業で出された課題について、コンピュータで作品を作成すること。						
授業方法	講義および演習						
評価基準と評価方法	課題(2回) 50% 平常点 50%						
教科書	特に指定しない。適宜プリントを配布する。						
参考書	授業中指示する。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報処理B						
担当教員	松田 泰至						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータの動作原理と現状を知る						
授業の概要	本授業では、情報処理A同様に、単なる座学ではなく実際にコンピュータを操作することにより、具体的に情報処理の過程を理解・習得することを目的とする。特にHTML5およびCSS3を中心としたWeb関連技術について講義する。						
到達目標	1. コンピュータを用いた情報処理の過程を理解するようになる。 2. 国家試験である情報処理技術者試験の概要がわかる。						
授業計画	第1回 授業概要説明 第2回 情報処理技術者試験の概要 第3回 コンピュータシステムの信頼性(1) 稼働率 第4回 コンピュータシステムの信頼性(2) プロトコル上の工夫 第5回 Web関連技術(1) 概要 第6回 Webk関連技術(2) HTML5 第7回 Web関連技術(3) CSS3 第8回 チェックおよび復習 第9回 Web関連技術(4) インラインフレーム 第10回 Web関連技術(5) アニメーション基礎 第11回 Web関連技術(6) アニメーション応用 第12回 情報処理演習(1) 情報圧縮 第13回 情報処理演習(2) 音声処理 第14回 チェックおよび復習 第15回 チェックおよび総まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：前回授業内容について復習しておく。 授業後学習：授業で出された課題について、コンピュータで作品を作成すること。						
授業方法	講義および演習						
評価基準と評価方法	課題（2回）50% 平常点 50%						
教科書	特に指定しない。適宜プリントを配布する。						
参考書	授業中指示する。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報と倫理A／Computer and Ethics A						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	情報社会を生き抜くために						
授業の概要	インターネットが充実した情報社会で情報を選別し、人に迷惑をかけず、迷惑行為や犯罪から身を守りながらコンピュータやメディアを積極的に使って知的生活に役立てる方法を考えていきます。 ・電子メールとネット上のエチケット 電子メールはインターネットに関わっていく基本です。ネット上のエチケット、「ネチケット」(netiquette)についての文献を日英語で読み、電子メールのちゃんとした書き方、扱い方、そして電子メールを中心としたネット上のエチケットについて学びます。 ・スパム・メールについて インターネットを使った迷惑行為「スパム・メール」（迷惑メール）についての資料を読み、その手口、対策について考えます。 ・フィッシング (phishing) について スパムと似たものですが、もっと悪質な犯罪行為フィッシングについて、資料を読み、それから身を守る方法について考えます。						
到達目標	インターネットが充実した情報社会で情報を選別し、人に迷惑をかけず、迷惑行為や犯罪から身を守りながらコンピュータやメディアを積極的に使って知的生活に役立てる						
授業計画	第1週：この授業についての全体的な紹介と注意事項 第2週：電子メールとネット上のエチケット ・なぜ「ネチケット」？ 第3週：電子メールとネット上のエチケット ・メールの仕組みとネチケット 第4週：電子メールとネット上のエチケット ・メールのスタイルとネチケット 第5週：電子メールとネット上のエチケット ・添付ファイル etc. 第6週：日本語のメールに関する問題(1) ・機種依存文字など 第7週：日本語のメールに関する問題(2) ・文字コードなど 第8週：ソーシャル・ネットワーキング・サイト(SNS) ・SNS の功罪・子供への影響 (1) 第9週：スパム・メールについて (1) ・スパムメールの歴史 第10週：スパム・メールについて (2) ・スパム対策 第11週：スパム・メールについて (3) ・メールの未来像？ 第12週：インターネットの犯罪・迷惑行為 ・Phishing について (1) 第13週：インターネットの犯罪・迷惑行為 ・Phishing について (1) 第14週：授業のまとめと復習テスト 第15週：復習テストの返却とレビュー						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常的にコンピュータ、インターネットを使用する。						

授業方法	英文のテキスト（プリント）を読みながら講義とディスカッション。
評価基準と 評価方法	授業ごとに毎回クイズ（小テスト）をします。小テストの平均点を100点満点で算出して成績とします。
教科書	プリントを使用します。
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報と倫理B／Computer and Ethics B						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	・ 情報社会を積極的に生きよう						
授業の概要	インターネット上で提供されている、知的生活に役立つサービスや情報などを紹介し、その活用方法や問題点などについて見ていきます。 特に前半では Google に注目し、その歴史、ここが提供しているサービスの内容、企業としてこの会社がどうやってなりたっているのか、などを調べます。 次にブログ、ツイッター、ポッドキャストなどインターネット上のメディアについて見ていきます。 更に、アメリカ最大のSNS MySpace の実態とその子どもへの影響などについて考えます。						
到達目標	インターネットが充実した情報社会で情報を選別し、人に迷惑をかけず、迷惑行為や犯罪から身を守りながらコンピュータやメディアを積極的に使って知的生活に役立てる						
授業計画	Week 1: 授業の内容、方法、評価方法など Week 2: Google: その歴史、サーチ・エンジンの特徴 Week 3: Google: さまざまなサービス、企業としての Google Week 4: Google: Cloud computing Week 5: Google vs. Yahoo! Week 6: YouTube その歴史 Week 7: YouTube のしくみ Week 8: YouTube と社会 Week 9: YouTube の規則 Week 10: 企業としての YouTube Week 11: Intellectual Property Week 12: Intellectual Property: Copyright Week 13: Intellectual Property: Patent Week 14: 復習と復習テスト Week 15: テスト返却と講評						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常的にコンピュータ、インターネットを使用する。						
授業方法	用意している英文の教材をともに読み、ディスカッションします。授業ごとにクイズ（小テスト）をします。						
評価基準と評価方法	授業ごとに毎回クイズ（小テスト）をします。小テストの平均点を100点満点で算出して成績とします。						

教科書	プリントを使います。
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	事前設定科目						
担当教員	予備登録						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	火曜1～2	配当学年	1	単位数	0.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

授業のテーマ	
授業の概要	
到達目標	
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。
授業外における 学習（準備学習 の内容）	
授業方法	
評価基準と 評価方法	
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	児童英語ゼミ						
担当教員	山内 啓子						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	月曜3	配当学年	3	単位数	4.0

授業のテーマ	小学校などで英語を教えることのできる、児童英語教育指導者の能力養成と演習
授業の概要	本授業では以下の4項を目標にしています： 1. 英語能力の向上（TOEIC 700を目標とします） 2. 国際理解教育（自己啓発と共に、指導者として活用する教材の探究を行います） 3. 指導案・教材制作（作成することで、教材の活用・応用を体得します） 4. 模擬授業演習 指導者としての英語の認識を深め、理解度を高めるだけでなく「表現力」をつけます。そのためには単に英語が話せるだけでなく、異文化理解を促し、真の表現者となるべく研鑽を積みます。理論の上に実践を重ね、具体的な能力を身につけるためのゼミです。
到達目標	小学校の授業サポートができる能力を身に付けます。また広く異文化を理解する寛容な態度を身に付けます。
授業計画	このゼミでは以下のように授業を進めます： 前期：教科書＋国際理解・英語絵本研究 後期：教科書＋教案作成・教材制作・模擬授業 「前期」 1. 教科書 ・国際理解教育の意義Ⅰ（国際理解とは） 2. 教科書 ・国際理解教育の意義Ⅱ（『地名の世界地図』1） 3. 教科書 ・国際理解教育の意義Ⅲ（『地名の世界地図』2） 4. 教科書 ・世界地理学習Ⅰ（『地名の世界地図』3） 5. 教科書 ・世界地理学習Ⅱ（『地名の世界地図』4） 6. 確認テスト（教科書＋『地名の世界地図』） ・世界地理学習まとめ 7. 教科書 ・文化の多面性（世界の宗教） 8. 教科書 ・文化の多面性（宗教と死生観） 9. 教科書 ・文化の多面性（宗教とタブー） 10. 教科書 ・異文化の多面性（食文化） 11. 教科書 ・異文化の多面性（自文化） 12. 確認テスト（教科書） ・国際理解発表Ⅰ 13. 国際理解発表Ⅱ 14. 国際理解発表Ⅲ 15. 国際理解発表Ⅳ（総括と評価） 「後期」

授業計画	16. ・復習と復習テスト 17. ・教科書 ・指導教案とは ・教材制作 I (教材と資料) 18. ・教科書 ・指導教案作成 I ・教材制作 II 19. ・教科書 ・指導教案作成 II ・模擬授業実践 1 20. ・教科書 ・模擬授業実践 1 21. ・教科書 (確認テスト) ・模擬授業実践 1 22. ・模擬授業実践 2: 改善版 23. ・模擬授業実践 2: 改善版 24. ・模擬授業実践 2: 反省と改善 25. ・教科書 ・改善指導案作成 26. ・教科書 ・改善模擬授業 3 27. ・教科書 ・改善模擬授業 3 28. ・教科書 (確認テスト) ・改善模擬授業 3 29. ・総まとめ I 30. ・総まとめ II
授業外における学習 (準備学習の内容)	テキストを事前予習して授業に臨むこと。授業中に訳読はしませんので、注意して下さい。 また国際ニュースもチェックし、世界情勢を把握しておくこと。 国際理解発表や模擬授業に先立っては授業外で十分練習を行うこと。
授業方法	演習形式に時折講義形式が混じります。
評価基準と評価方法	積極的なクラス参加、確認テスト、レポート提出、発表・模擬授業、授業態度等で総合評価を行います。 発表累計40%、テスト類30%、レポート類30%
教科書	『Different Realities』-Adventures in Intercultural Communication- Joseph Shaules/Juri Abe 著 南雲堂 ISBN978-4-523-17565-0
参考書	三浦 孝、弘山 貞男、中嶋 洋一編著『だから英語は教育なんだ』(研究社) ISBN978-4-327-41060-5 江利川 春雄「日本人は英語をどう学んできたか」(研究社) ISBN978-4-327-41068-1 その他は授業中に紹介します

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	スタディスキル／Study Skills						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Skills required for successful study abroad						
授業の概要	This course will build on progress made in TOEFLと海外留学 A,B to further develop the students' ability to function in an English-speaking society and university environment during their semester abroad.						
到達目標	1. To enable students to take a full-part in their academic life overseas. 2. To develop academic reading and listening skills, and the ability to respond orally to such input in the classroom. 3. To give students the English ability they need to deal successfully with commonly-encountered, daily-life situations in an English-speaking country, especially in homestay.						
授業計画	1. Course Introduction 2. Homestay English A 3. iBT Speaking Independent A 4. iBT Speaking Independent B 5. Test 1 (10%) 6. Homestay English B 7. iBT Speaking Integrated R/L/S A 8. iBT Speaking Integrated R/L/S B 9. Test 2 (20%), Show teacher your presentation idea & notes. 10. Homestay English C 11. iBT Speaking Integrated L/S A 12. iBT Speaking Integrated L/S B 13. Test 3 (20%), Show poster to teacher. 14. Homestay English D 15. Presentations (30%)						
授業外における学習（準備学習の内容）	Read and understand textbook conversations and handout exercises before class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on class participation (20%), 3 short tests (50%) and a presentation (30%).						
教科書	CD付き ホームステイの直前英会話 著：桑原 功次（） 出版社：ナツメ社 ISBN: 978-4816322440						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	スタディスキル／Study Skills						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Skills required for successful study abroad						
授業の概要	This course will build on progress made in TOEFLと海外留学 A,B to further develop the students' ability to function in an English-speaking society and university environment during their semester abroad.						
到達目標	1. To enable students to take a full-part in their academic life overseas. 2. To develop academic reading and listening skills, and the ability to respond orally to such input in the classroom. 3. To give students the English ability they need to deal successfully with commonly-encountered, daily-life situations in an English-speaking country, especially in homestay.						
授業計画	1. Course Introduction 2. Homestay English A 3. iBT Speaking Independent A 4. iBT Speaking Independent B 5. Test 1 (10%) 6. Homestay English B 7. iBT Speaking Integrated R/L/S A 8. iBT Speaking Integrated R/L/S B 9. Test 2 (20%), Show teacher your presentation idea & notes. 10. Homestay English C 11. iBT Speaking Integrated L/S A 12. iBT Speaking Integrated L/S B 13. Test 3 (20%), Show poster to teacher. 14. Homestay English D 15. Presentations (30%)						
授業外における学習（準備学習の内容）	Read and understand textbook conversations and handout exercises before class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on class participation (20%), 3 short tests (50%) and a presentation (30%).						
教科書	CD付き ホームステイの直前英会話 著：桑原 功次（） 出版社：ナツメ社 ISBN：978-4816322440						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	ステップアップ英文法A						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	レキシカル・グラマー（語彙文法）						
授業の概要	学校文法では、ことばの用法の解説に焦点が置かれているが、ステップアップ英文法Aでは、用法の解説のみならず、一步踏み込んで、特定の形式がなぜ特定の意味を表すかについてみていく。授業の目的は理論そのものにあるのではなく、英語のことばの仕組みを形式と意味との関係から捉えることにあるので、用例を中心に英語の基本的な文法項目についてその背後にある発想・考え方をみていく。						
到達目標	(1) 英文法の知識の整理ができるようになる。 (2) 英語の発想・しくみがわかるようになる。 (3) 英語についての疑問に答えられるようになる。						
授業計画	第1回 BEとHAVE 第2回 進行形、受身形 第3回 完了形、アスペクト 第4回 テンスとアスペクト 第5回 現在形と過去形 第6回 現在形と未来表現 第7回 与格構文 give a present to her 第8回 二重目的語構文 give her a present 第9回 与格構文と二重目的語構文の比較 第10回 MAKE、HAVEと使役構文BE 第11回 第2文型GETと構文の幅 第12回 T0と不定詞 (1) 不定詞の定義とto doの意味 第13回 T0と不定詞 (2) 3つの用法（名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法） 第14回 T0と不定詞 (3) have to doとbe to doの意味 第15回 質疑応答、試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業の最後に、次回のテーマの内容について要点を解説するので、教科書の該当する箇所を事前に読んできてください。目安とする学習時間は30分から1時間です。授業では理解度確かめるために教科書の用例や内容について質問します。 授業後学習：授業で扱ったテーマについての要約や、授業の内容を理解しているかどうかを確認する課題を出します。課題作成には1時間ぐらいかかります。課題のない時は、学んだことをもう一度簡単に整理し、要点をまとめる習慣をつけるよう心がけてください。後日、試験やレポート作成のときに大いに役立ちます。質問は、オフィスアワーを利用するか、授業、メール、または松蔭manabaでしてください。						
授業方法	講義＋演習						
評価基準と評価方法	試験（1回）40%、レポート（1回）30%、課題30%で評価する。						
教科書	『レキシカル・グラマーへの招待』 佐藤芳明・田中茂範著、開拓社、ISBN978-4-7589-2509-9						
参考書	『わかるから使える表現英文法』 田中茂範著 コスモピア出版社 ISBN978-4-86454-036-0						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	ステップアップ英文法B						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	レキシカル・グラマー（語彙文法）						
授業の概要	ステップアップ英文法Aに引き続き、ステップアップ英文法Bでも文法項目ごとに用法の解説と、英語において意味が形式にどのように反映されるのかを見る。形式と意味の關係に言及するのは、ことばを理解するには用例を学んで暗記するだけでは表面を見ているに過ぎず、形式のうしろに隠れている意味の姿を捉えて初めて可能になるからである。授業では、理論に偏らず、豊富な用例を基に意味と形式の關係を考察し英語のことばのしくみをみていく。						
到達目標	(1) 英文法の知識の整理ができるようになる。 (2) 英語の発想・しくみがわかるようになる。 (3) 英語についての疑問に答えられるようになる。						
授業計画	第1回 INGと現在分詞、動名詞 (1) 現在分詞の意味 第2回 INGと現在分詞、動名詞 (2) 現在分詞の用法（進行形、限定的用法） 第3回 INGと現在分詞、動名詞 (3) 限定的用法の典型的事例と周辺的事例 第4回 INGと現在分詞、動名詞 (4) 限定的用法の典型的事例から周辺的事例への拡張 第5回 INGと現在分詞、動名詞 (5) 動名詞の意味、動名詞と現在分詞の連続性仮説 第6回 A. Theと冠詞の使用原理 (1) aの意味と用法 第7回 A. Theと冠詞の使用原理 (2) theの意味と用法 第8回 itとthatの用法 (1) itの意味、thatの意味 第9回 itとthatの用法 (2) itとthatの使用上の注意点 第10回 法助動詞の意味とcanの意味 第11回 canとmustの意味 第13回 shouldとwillの意味 第14回 willと未来表現 第15回 質疑応答と試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業の最後に、次回のテーマの内容について要点を解説するので、教科書の該当する箇所を事前に読んできてください。目安とする学習時間は30分から1時間です。授業では理解度を確かめるために、教科書の用例や内容について質問します。 授業後学習：授業で扱ったテーマについての要約や、授業の内容を理解しているかどうかを確認する課題を出します。課題作成には1時間ぐらいかかります。課題のない時は、学んだことをもう一度簡単に整理し、要点をまとめる習慣をつけるよう心がけてください。後日、試験やレポート作成のときに大いに役立ちます。質問は、オフィスアワーを利用するか、授業、メール、松蔭manabaでしてください。						
授業方法	講義＋演習						
評価基準と評価方法	試験（1回）40%、レポート（1回）30%、課題30%で評価する。						
教科書	『レキシカル・グラマーへの招待』 佐藤芳明・田中茂範著、開拓社、ISBN978-4-7589-2509-9						
参考書	『わかるから使える表現英文法』 田中茂範著 コスモピア出版社 ISBN978-4-86454-036-0						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	世界の問題A／Global Issues A						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Global Issues especially in the developing world						
授業の概要	The purpose of this course is to increase your awareness of current global issues and to improve your ability to communicate about them. We will focus on issues in developing countries and make a special study of Cambodia. You will make regular reports on topics we study and make comparisons with Japan.						
到達目標	This course will develop writing, reading and presentation skills. You will learn to do research about a country you are interested in.						
授業計画	The contents of this course are subject to change and will reflect current events and interest of students. 1) Introduction 2) Developing World News / Refugees 3) Refugees: vocabulary review / reading / roleplay 4) Refugees: roleplay / reading / writing (conditional) 5) Introduction to Cambodia 6) Cambodia: 'The Killing Fields' 7) 'The Killing Fields' 8) 'The Killing Fields' / Landmines 9) Landmines 10) Big numbers in English. Japan-Cambodia comparisons 11) Presentations on countries 12) Outsourcing and sweatshops: where are your clothes from? 13) Outsourcing and sweatshops: where are your clothes from? 14) Fair Trade 15) Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	The class is a practical one in which you will read, complete worksheets, participate in group discussions and project work. Sometimes you will have to make presentations in class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There will be no test. 100% of final grade will be based on completion of homework, reports and class presentations.						
教科書	There is no textbook for this course but you must bring a clear file and all the prints you are given to each class.						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	世界の問題B／Global Issues B						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Global Issues especially in the developing world						
授業の概要	The purpose of this course is to increase your awareness of your own and other cultures and to improve your ability to communicate about them. We will focus on issues in developing countries and make special studies of Cambodia, India and Burma. In this semester we will look at education and issues affecting women. You will prepare materials for the visit by a student from Cambodia and make a short presentation about Japan or Japanese culture.						
到達目標	This course will develop writing, reading and presentation skills. You will learn about developing countries and make comparisons with Japan. You will also learn about your own country and make a presentation to a Cambodian visitor. You will write articles for a newspaper about Cambodia.						
授業計画	The exact contents are subject to change depending on current events and interests of students. 1) Review: countries in the news 2) Introduction to India: education in India 3) Case studies from India 4) Women's education; illiteracy 5) Illiteracy.Women's Education / Malala 6) Burma: Introduction 7) Film: 'The Lady' 8) Film: 'The Lady' 9) Preparation for visit by Cambodian visitor 10) Preparation for visit by Cambodian visitor 11) Class with Cambodian visitor: presentations about Japan 12) Class with Cambodian visitor: interviews about Cambodia 13) Shoin Cambodia Times explanation. India: Acid Attacks 14) Preparation of articles for Shoin Cambodia Times 15) Preparation of articles for Shoin Cambodia Times						
授業外における学習（準備学習の内容）	The class is a practical one in which you will read, complete worksheets, participate in group discussions and project work. Sometimes you will have to make presentations in class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There will be no test. 100% of final grade will be based on completion of homework, reports and class presentations.						
教科書	There is no textbook for this course but you must bring a clear file and all the prints you are given to each class.						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育応用A						
担当教員	吉井 康博						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	児童の英語教育研究						
授業の概要	この授業では、早期英語教育の理解に必要な認知心理学の基礎知識とSLA(第二言語習得)理論を学習します。言語を学習するには次のような要因が関与します。つまり個人の言語学習に向かう動機と態度、inputとoutput、相互交流、さらに意識と注意、そして気づきなどです。これらの要因がどのような形で相互に関連しL2(第二言語)学習を促進するかを理論の実例から学習します。また、授業の展開に必要な英語表現や基礎文法を口頭練習により学びます。						
到達目標	児童に英語を教える指導原理の習得と授業を行う際に要求される英語力を身につけます。						
授業計画	English for Primary Teachers: EPT / Classroom English: CE / Sentence-Creating Exercises: SCE / Review Quiz: RQ 1. Introduction 2. EPT 1.1 First Language -- second language CE 1-1 SCE1-1 3. RQ (CE1-1) EPT 1.2 Starting your lessons in English CE 1-2 SCE1-2 4. RQ (CE1-2) EPT 1.3 Organizing your classroom CE 1-3 SCE1-3 5. RQ (CE1-3) EPT 1.4 Ending your lessons CE 1-4 SCE1-4 6. RQ (CE1-4) EPT 1.5 Young learners CE 1-5 SCE1-5 7. RQ (CE1-5) EPT 2.1 Giving instructions in English CE 1-6 SCE1-6 8. RQ (CE1-6) EPT 2.2. Listening and identifying CE 1-7 SCE1-7 9. RQ (CE1-7) EPT 2.3 Listening and doing - TPR CE 1-8 SCE1-8 10. RQ (CE1-8) EPT 2.4 Listening and performing - miming CE 1-9 SCE1-9 11. RQ (CE1-9) EPT 2.5 Listening and responding games CE 1-10 SCE1-10 12. RQ (CE1-10) EPT 3.1 Listen and color CE 1-11 SCE1-11 13. RQ (CE1-11) EPT 3.2 Listen and draw CE 1-12 SCE1-12 14. RQ (CE1-12) EPT 3.3 Listen and make CE 1-13 SCE1-13 15. Question-and-Answer Session / Final Quiz						
授業外における学習（準備学習の内容）	(1) 毎回の授業で行うClassroom English(教室英語表現)は、Review Quiz(復習テスト)を行うので必ず口頭でも筆記でも対応できるよう準備が必要です。 (2) 教科書(English for Primary Teachers)は予習して、しっかり意味を理解しておく必要があります。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	Review Quiz: 40%; Participation:10%; Final Quiz:50%						
教科書	English for Primary Teachers Mary Slattery&Jane Willis Oxford Univ. Press ISBN 978-0-19-437563-3						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育応用B						
担当教員	吉井 康博						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	児童の英語教育研究						
授業の概要	早期英語教育応用Aで学習した理論的知識に基づき、実用的な授業展開方法に関する理解を深め、効果的な指導方法について何が必要なのかを考察していきます。また、授業案を練ることを課題とし、その課題を実践する模擬授業を行ってもらいます。 Aと同様、英語の形と表現法を学ぶ過程で、児童に投げかける疑問文を作ることや、様々な表現を組み合わせる簡単な物語を創作する練習も行います。						
到達目標	児童に英語を教える指導原理の習得と授業を行う際に要求される英語力を身につけること、また授業が実際に行えるようにすること。						
授業計画	English for Primary Teachers: EPT / Classroom English: CE / Sentence-Creating Exercises: SCE / Review Quiz: RQ 1. EPT 4.1 Using classroom phrases CE 1-1 SCE1-1 2. RQ (CE1-1) EPT 4.2 Saying rhymes and singing songs CE 1-2 SCE1-2 3. RQ (CE1-2) EPT 4.3 Practicing new vocabulary CE 1-3 SCE1-3 4. RQ (CE1-3) EPT 4.4 Playing vocabulary games CE 1-4 SCE1-4 5. RQ (CE1-4) EPT 4.5 Practicing pronunciation of new sounds CE 1-5 SCE1-5 6. RQ (CE1-5) EPT 5.1 Cognitive development CE 1-6 SCE1-6 7. RQ (CE1-6) EPT 5.2 Starting to speak freely CE 1-7 SCE1-7 8. RQ (CE1-7) EPT 5.3 Speaking games CE 1-8 SCE1-8 9. RQ (CE1-8) EPT 5.4 Children speaking in groups CE 1-9 SCE1-9 10. RQ (CE1-9) EPT 6.1 Beginning reading CE 1-10 SCE1-10 11. RQ (CE1-10) EPT 6.2 Speaking to reading CE 1-11 SCE1-11 12. RQ (CE1-11) EPT 6.3 Helping children recognize phrases CE 1-12 SCE1-12 13. RQ (CE1-12) EPT 6.4 Reading independently CE 1-13 SCE1-13 14. Presentation 15. Question-and-Answer Session / Final Quiz						
授業外における学習（準備学習の内容）	(1) 毎回の授業で行うClassroom English(教室英語表現)は、Review Quiz(復習テスト)を行うので必ず口頭でも筆記でも対応できるよう準備が必要です。 (2) 教科書(English for Primary Teachers)は予習して、しっかり意味を理解しておく必要があります。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	Review Quiz: 30%; Presentaion:20%; Final Quiz:50%						
教科書	English for Primary Teachers Mary Slattery&Jane Willis Oxford Univ. Press ISBN 978-0-19-437563-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育基礎A						
担当教員	山内 啓子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	小学校における英語教育の理論と実践 A						
授業の概要	小学校の英語教育に関わる歴史的背景と理論について学び、現在の学校教育における実践について広く考察する。 また実践として特に英語絵本を取り上げ、広く教材としての適正を検討する。						
到達目標	小学校における英語教育に関わることで次の3点を習得する。 ①基礎的な理論 ②現状理解 ③英語絵本の教材活用						
授業計画	1. オリエンテーション 2. 小学校英語の歴史的背景 3. 早期英語教育の是非（反対論） 4. 早期英語教育の是非（推進論） 5. 学習指導要領 6. 『Hi, Friends!』の考察1（通読と教材からの考察） 7. 『Hi, Friends!』の考察2（指導の立場からの考察） 8. 音声指導の基礎1（母音＋子音） 9. 音声指導の基礎2（音のつながり） 10. 英語絵本のいろいろ 11. 英語絵本の教材適正 12. 英語絵本の音読 13. 英語絵本の指導法 14. 期末試験 15. まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	普段から英語の運用力を高めるよう努力すること。またMReaderなどを用いて英語の本、絵本を多読すること。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	期末試験50%、課題30%、ディスカッションへの参加など積極的な授業参加状況20%を総合的に評価する。 欠席は平常の評価の低下に繋がるので注意すること。						
教科書	1. 『小学校英語教育法入門』（2013）樋口忠彦（代表）著 研究社 ISBN978-4-327-41086-5 2. 『Hi, Friends!』1 & 2 東京書籍 ISBN978-4-487-25883-3(1) 978-4-487-25884-0(2)						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育基礎B						
担当教員	山内 啓子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	小学校における英語教育の理論と実践 B						
授業の概要	前期に引き続き小学校の英語教育に関わる歴史的背景と理論について学び、現在の学校教育における実践について広く考察する。 また実践として特に英語絵本を取り上げ、広く教材としての適正を検討する。						
到達目標	小学校における英語教育に関わることで次の2点の応用ができるようになる。 ①基礎的な理論の実践 ②英語絵本の教材応用						
授業計画	1. オリエンテーションと前期の復習 2. 小学校英語に関する関連分野（第二言語習得） 3. 小学校英語の関する関連分野（国際理解教育） 4. 小学校英語の授業実践考察1（指導案） 5. 小学校英語の授業実践考察2（Hi, Friends 教材作成） 6. 小学校英語の授業実践考察3（Hi, Friends 指導案作成） 7. 教室英語 8. 音声指導の実践1（「音のつながり」の確認） 9. 音声指導の実践2（「音のつながり」の指導） 10. 小学校英語の授業実践考察4（英語絵本教材） 11. 小学校英語の授業実践考察5（英語絵本作成） 12. 小学校英語の授業実践考察6（模擬授業） 13. 模擬授業 14. 期末試験 15. まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容）	普段から英語の運用力を高めるよう努力すること。またMReaderなどを用いて英語の本、絵本を多読すること。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	期末試験30%、課題30%、模擬授業など積極的な授業参加状況40%を総合的に評価する。 欠席は平常の評価の低下に繋がるので注意すること。						
教科書	1. 『小学校英語教育法入門』（2013） 樋口忠彦（代表）著 研究社 ISBN978-4-327-41086-5 2. 『Hi, Friends!』 1 & 2 東京書籍 ISBN978-4-487-25883-3(1) 978-4-487-25884-0(2)						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究／Graduation Thesis						
担当教員	S. Bibby						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	水曜3	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	Graduation Thesis						
授業の概要	This course is designed to help you write your Graduation Thesis on any aspect of language, culture, history or literature, particularly (but not necessarily) related to Britain. Topics can be negotiated with the tutor. Several weeks will be spent on improving writing ability and discussing the study skills necessary for writing a thesis, for example: choosing a topic; time management; effective research; essay structure; using references; and academic writing style.						
到達目標	You will complete a 25-page Graduation Thesis on a subject of your choice.						
授業計画	SEMESTER ONE 1. Introductions and getting started with Google Drive 2. Using reference books and online materials & choosing a suitable topic 3. Suitable topics and making an outline plan 4. Breaking it down – subsections 5. Organizing your paper – structure of paper and paragraphs 6. Plagiarism (1) Avoiding copying – how to cite and reference (1) 7. Choose topic by this date 8. Writing tools: using MS Word and Google Drive effectively 9. Make and submit outline by this date 10. Writing style, common mistakes 11. Plagiarism (2) review 12. Subtopics – starting the writing 13. Group meetings and writing 14. Group meetings and writing 15. Review and progress check SEMESTER TWO In this semester we will meet in the library in small groups to discuss the thesis as you write it. You will be given guidance and support. 1. Meeting to check progress of first chapter of the thesis 2. Group tuition meeting 3. Group tuition meeting 4. Group tuition meeting 5. Group tuition meeting 6. Group tuition meeting 7. Group tuition meeting 8. Group tuition meeting 9. Group tuition meeting 10. Group tuition meeting 11. Group tuition meeting 12. Conclusions, citations and references 13. Revision 14. Corrections 15. Final revisions						
授業外における学習（準備学習の内容）	Please come to the first lesson ready to discuss the topics you are interested in. In the first semester you will develop writing skills to get you ready to write. You will then start writing. In the second semester (although it is good to start earlier) you write and share with your supervisor, using the online tool GoogleDrive. You must write regularly.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Your grade is based entirely (100%) on the completed Graduation Thesis. Based on Shoin rules, satisfactory attendance is also required.						

教科書	Basic Steps to Writing Research Papers by David Kluge and Matthew Taylor (Cengage Learning) ISBN 978-4-902902-89-1
参考書	You should be using a good hard copy dictionary, electronic dictionary, or online dictionary. Both English-English and English-Japanese/Japanese-English are helpful. Your teacher will provide supplementary reference materials. To contact the teacher/coordinator: sibby@shoin.ac.jp

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究／Graduation Thesis						
担当教員	S. Bibby						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	Graduation Thesis						
授業の概要	This course is designed to help you write your Graduation Thesis on any aspect of language, culture, history or literature, particularly (but not necessarily) related to Britain. Topics can be negotiated with the tutor. Several weeks will be spent on improving writing ability and discussing the study skills necessary for writing a thesis, for example: choosing a topic; time management; effective research; essay structure; using references; and academic writing style.						
到達目標	You will complete a 25-page Graduation Thesis on a subject of your choice.						
授業計画	SEMESTER ONE 1. Introductions and getting started with Google Drive 2. Using reference books and online materials & choosing a suitable topic 3. Suitable topics and making an outline plan 4. Breaking it down – subsections 5. Organizing your paper – structure of paper and paragraphs 6. Plagiarism (1) Avoiding copying – how to cite and reference (1) 7. Choose topic by this date 8. Writing tools: using MS Word and Google Drive effectively 9. Make and submit outline by this date 10. Writing style, common mistakes 11. Plagiarism (2) review 12. Subtopics – starting the writing 13. Group meetings and writing 14. Group meetings and writing 15. Review and progress check SEMESTER TWO In this semester we will meet in the library in small groups to discuss the thesis as you write it. You will be given guidance and support. 1. Meeting to check progress of first chapter of the thesis 2. Group tuition meeting 3. Group tuition meeting 4. Group tuition meeting 5. Group tuition meeting 6. Group tuition meeting 7. Group tuition meeting 8. Group tuition meeting 9. Group tuition meeting 10. Group tuition meeting 11. Group tuition meeting 12. Conclusions, citations and references 13. Revision 14. Corrections 15. Final revisions						
授業外における学習（準備学習の内容）	Please come to the first lesson ready to discuss the topics you are interested in. In the first semester you will develop writing skills to get you ready to write. You will then start writing. In the second semester (although it is good to start earlier) you write and share with your supervisor, using the online tool GoogleDrive. You must write regularly.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Your grade is based entirely (100%) on the completed Graduation Thesis. Based on Shoin rules, satisfactory attendance is also required.						

教科書	Basic Steps to Writing Research Papers by David Kluge and Matthew Taylor (Cengage Learning) ISBN 978-4-902902-89-1
参考書	You should be using a good hard copy dictionary, electronic dictionary, or online dictionary. Both English-English and English-Japanese/Japanese-English are helpful. Your teacher will provide supplementary reference materials. To contact the teacher/coordinator: sibby@shoin.ac.jp

科目区分	英語学科専門教育科目																																																
科目名	卒業研究／Graduation Thesis																																																
担当教員	A. E. Jackson																																																
学期	通年／Full Year	曜日・時限	金曜2	配当学年	4	単位数	8.0																																										
授業のテーマ	Graduation Thesis supervision																																																
授業の概要	This course is designed to help you write your graduation thesis in one of these fields: British Society and Culture / Education / TESOL. This class will meet for several weeks in a classroom for instruction in thesis writing skills. Thereafter, students will meet for individual or group consultation in the teacher's office.																																																
到達目標	Students will expected to write a 25-page thesis in English in accordance with APA conventions.																																																
授業計画	<table><tr><td>1st semester</td><td>2nd semester</td></tr><tr><td>1 In class: Introduction</td><td>1 In class: Introduction</td></tr><tr><td>2 Library orientation</td><td>2 In teacher's office:</td></tr><tr><td>3 Thesis structure</td><td>Individual/group consultation</td></tr><tr><td>4 Thesis structure</td><td>(Deadline for 1st main chapter)</td></tr><tr><td>5 Choosing a topic</td><td>3 Individual/group consultation</td></tr><tr><td>6 References and plagiarism</td><td>4 Individual/group consultation</td></tr><tr><td>7 In teacher's office:</td><td>5 Individual/group consultation</td></tr><tr><td>Individual/group consultation</td><td>6 Individual/group consultation</td></tr><tr><td>(Deadline for choosing topic)</td><td>7 Individual/group consultation</td></tr><tr><td>8 Individual/group consultation</td><td>(You should have written 10 pages)</td></tr><tr><td>9 Individual/group consultation</td><td>8 Individual/group consultation</td></tr><tr><td>10 Individual/group consultation</td><td>9 Individual/group consultation</td></tr><tr><td>11 Individual/group consultation</td><td>10 Individual/group consultation</td></tr><tr><td>12 Individual/group consultation</td><td>11 Individual/group consultation</td></tr><tr><td>(Deadline for thesis outline)</td><td>12 Individual/group consultation</td></tr><tr><td>13 Individual/group consultation</td><td>(Your thesis should be almost complete)</td></tr><tr><td>14 Individual/group consultation</td><td>13 Final check</td></tr><tr><td>15 Individual/group consultation</td><td>Submission of thesis by deadline</td></tr><tr><td></td><td>14 (Individual consultation)</td></tr><tr><td></td><td>15 (Individual consultation)</td></tr></table>							1st semester	2nd semester	1 In class: Introduction	1 In class: Introduction	2 Library orientation	2 In teacher's office:	3 Thesis structure	Individual/group consultation	4 Thesis structure	(Deadline for 1st main chapter)	5 Choosing a topic	3 Individual/group consultation	6 References and plagiarism	4 Individual/group consultation	7 In teacher's office:	5 Individual/group consultation	Individual/group consultation	6 Individual/group consultation	(Deadline for choosing topic)	7 Individual/group consultation	8 Individual/group consultation	(You should have written 10 pages)	9 Individual/group consultation	8 Individual/group consultation	10 Individual/group consultation	9 Individual/group consultation	11 Individual/group consultation	10 Individual/group consultation	12 Individual/group consultation	11 Individual/group consultation	(Deadline for thesis outline)	12 Individual/group consultation	13 Individual/group consultation	(Your thesis should be almost complete)	14 Individual/group consultation	13 Final check	15 Individual/group consultation	Submission of thesis by deadline		14 (Individual consultation)		15 (Individual consultation)
1st semester	2nd semester																																																
1 In class: Introduction	1 In class: Introduction																																																
2 Library orientation	2 In teacher's office:																																																
3 Thesis structure	Individual/group consultation																																																
4 Thesis structure	(Deadline for 1st main chapter)																																																
5 Choosing a topic	3 Individual/group consultation																																																
6 References and plagiarism	4 Individual/group consultation																																																
7 In teacher's office:	5 Individual/group consultation																																																
Individual/group consultation	6 Individual/group consultation																																																
(Deadline for choosing topic)	7 Individual/group consultation																																																
8 Individual/group consultation	(You should have written 10 pages)																																																
9 Individual/group consultation	8 Individual/group consultation																																																
10 Individual/group consultation	9 Individual/group consultation																																																
11 Individual/group consultation	10 Individual/group consultation																																																
12 Individual/group consultation	11 Individual/group consultation																																																
(Deadline for thesis outline)	12 Individual/group consultation																																																
13 Individual/group consultation	(Your thesis should be almost complete)																																																
14 Individual/group consultation	13 Final check																																																
15 Individual/group consultation	Submission of thesis by deadline																																																
	14 (Individual consultation)																																																
	15 (Individual consultation)																																																
授業外における学習（準備学習の内容）	Think of general topic and gather materials.																																																
授業方法	Seminar																																																
評価基準と評価方法	Your grade will be based on (a) attendance at supervision appointments and meeting deadlines - 30%, and (b) the content and structure of your completed thesis - 70%.																																																
教科書	プリントを配布します。																																																
参考書																																																	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究／Graduation Thesis						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	木曜2	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	Graduation Thesis						
授業の概要	This course is designed to help you write a graduation thesis in English on any aspect of culture or literature, especially one related to Britain. Several weeks will be spent improving writing ability and discussing the study skills necessary for writing a thesis: how to choose the topic; how to use reference books; how to make quotations and give footnotes; academic writing style etc.						
到達目標	You will complete a graduation thesis in academic English on a subject of your choice						
授業計画	FIRST SEMESTER 1) Introduction 2) Using reference books 3) Library orientation (date to be confirmed) 4) Taking notes 5) Organizing your paper 6) Choosing a topic 7) Making an outline 8) Individual interviews 9) Choose topic by this date 10) Using MS Word; spelling and typing 11) Format 12) Make outline of thesis by this date 13) Preparation for writing introduction and first chapter of thesis 14) Plagiarism 15) Style. You must bring the first 2 pages of your thesis to this class SECOND SEMESTER In this semester we will meet on an individual basis to discuss your thesis as you write it. 1) Meeting to check progress of first chapter of your thesis: you will bring 6 pages to this class 2) Individual tuition on thesis 3) Individual tuition on thesis 4) Individual tuition on thesis 5) Individual tuition on thesis 6) Individual tuition on thesis 7) Individual tuition on thesis 8) Individual tuition on thesis 9) Individual tuition on thesis 10) Individual tuition on thesis 11) Individual tuition on thesis 12) Conclusion, footnotes and bibliography 13) Revision 14) Corrections 15) Checking final revisions. Hand in by the deadline: 16 January 2017						
授業外における学習（準備学習の内容）	Please come to the first lesson ready to explain the topics you are interested in and why you wish to take this class. In the first semester you will develop writing skills and bring exercises to class to be marked. In the second semester you must write about 4 pages every 2 weeks to be corrected.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Your grade will be based entirely on your completed thesis. There will be a short oral examination on your thesis at the end of January or in early February.						
教科書	'Basic Steps to Writing Research Papers' by David E Kluge and Matthew A Taylor (Cengage Learning) ISBN 978-4-902902-89-1						

参考書	You will need an English/English Dictionary (e.g. the Oxford Advanced Learner' s Dictionary) besides a Japanese/English dictionary.
-----	---

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究／Graduation Thesis						
担当教員	P. Spaelti						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	木曜2	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	Completion of a thesis in English, with a focus on language or a cultural topic						
授業の概要	This course will focus on the skills necessary to write a thesis. These skills include how to write a longer text, how to structure a thesis, and how to research and use supporting material. Other skills will include how to use computer and software tools effectively.						
到達目標	A primary goal is to learn how to state a logical argument, or relevant viewpoint, and how to support this with evidence.						
授業計画	第1回 Self introduction and writing exercise 第2回 On writing a thesis 第3回 Important points in thesis writing 第4回 On using supporting information 第5回 Good and bad uses of supporting information 第6回 Making a plan for writing 第7回 Group or individual meetings 第8回 Group or individual meetings 第9回 Group or individual meetings 第10回 Group or individual meetings 第11回 Group or individual meetings 第12回 Group or individual meetings 第13回 Group or individual meetings 第14回 Group or individual meetings 第15回 End of term meeting 第16回 Presentation of work done so far 第17回 Presentation of work done so far 第18回 Group or individual meetings 第19回 Group or individual meetings 第20回 Group or individual meetings 第21回 Group or individual meetings 第22回 Individual progress meetings 第23回 Individual progress meetings 第24回 Individual progress meetings 第25回 Individual progress meetings 第26回 Individual progress meetings 第27回 Individual progress meetings 第28回 Individual progress meetings 第29回 Individual progress meetings 第30回 Individual progress meetings						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students are expected to work independently on their project or thesis as required, and to prepare materials for use in group meetings.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Successful completion of a thesis						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究／Graduation Thesis						
担当教員	郡司 隆男						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	月曜4	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	(言語に関するテーマの) 学術的な論文を書く力を養う						
授業の概要	受講者の関心によって、言語に関係のあるテーマ、ないしは、担当者が適切と考えるテーマで論文を書きます。各自、身近なところから関心のある研究テーマを選んで、ある程度の長さのまとまった論文を書いていきます。 テーマはいちおう、担当者が理解できるものならばよしとしますが、同じようなテーマばかりになってつまらないので、担当者とよく相談して決めて下さい。						
到達目標	(1) 論文を書くための適切なデータの種類・質が判断できる。 (2) 収集したデータから意味のある一般化を引き出すことができる。 (3) 同じテーマに関する先行研究を適切に評価できる。 (4) 自分の仮説を論理的な文章として表現できる。 (5) 仮説の検証・反証可能性に自覚をもっている。						
授業計画	はじめは、教科書の中から適宜トピックを選び、講義形式で進めます。 後半は、各自の選んだトピックについて小論文を書いてみて、それを皆で批判的に議論しながら進めます。限られた時間内での口頭発表、ハンドアウト作りの練習もします。 以下は大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定。 第1回 全体の概要の説明、教科書の内容の説明 第2--10回 論理的な文章の書き方に慣れる。並行して、トピックの選定 第8回までに：各自のテーマ（第0案）を面談の上決める 第10回までに：各自のテーマ（第1案）を面談の上決める 第11回 ハンドアウトの作り方説明 第14回 概要口頭発表、ハンドアウト用意 第15回までに：夏休み前の段階での卒論概要(A4 5ページ)提出 第16回 概要返却、講評、各自の夏休みの計画の確認 第17回 論文の形式について説明 第20回までに 卒業論文第0版提出 第21回までに 卒業論文第0版返却、講評 第22回 第2次口頭発表、ハンドアウト用意 第23回 卒業論文第1版提出 第25回までに 卒業論文第1版返却、講評 第26回 第3次口頭発表、ハンドアウト用意 第27回 卒業論文第2版提出 第28回 卒業論文第2版返却、講評 第29回 卒業論文最終版チェック 1月15日：卒業論文提出日 第30回 卒業論文講評						
授業外における学習（準備学習の内容）	卒業研究は教室で教わるものではなく、主に教室外で自主的に調査・執筆し、教室では進行状況のチェック・進行方向の微調整が主となるものです。 したがって、基本的には授業外にほとんどの作業をすることになります。						
授業方法	少しずつ構想を練っていき、お互いに発表をしてディスカッションをしていきながら、年末（学年末でなく！）には論文の形にまとめていきます。 論文の内容もさることながら、口頭発表のしかた、配布資料の作り方、レポートのまとめ方、文としての形式、コンピュータの適切な使い方、読みやすく形式的にも綺麗な論文の書き方などの、大学院進学や就職後にも役に立つ具体的な技術も身につけることができるようにしたいと思います。						
評価基準と評価方法	日常的な研究への取り組み方の度合（30%以上）、および論文のまとめ具合（70%以下）の総合評価。						
教科書	戸田山和久『新版 論文の教室－レポートから卒論まで』（NHK ブックス） ISBN: 978-4140911945						
参考書	山内志朗『ぎりぎり合格への論文マニュアル』（平凡社新書） 岡田寿彦『論文って、どんなもんだい』（駿河台出版社） その他、授業中に指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究／Graduation Thesis						
担当教員	郡司 隆男						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	(言語に関するテーマの) 学術的な論文を書く力を養う						
授業の概要	受講者の関心によって、言語に関係のあるテーマ、ないしは、担当者が適切と考えるテーマで論文を書きます。各自、身近なところから関心のある研究テーマを選んで、ある程度の長さのまとまった論文を書いていきます。 テーマはいちおう、担当者が理解できるものならばよしとしますが、同じようなテーマばかりになってつまらないので、担当者とはよく相談して決めて下さい。						
到達目標	(1) 論文を書くための適切なデータの種類・質が判断できる。 (2) 収集したデータから意味のある一般化を引き出すことができる。 (3) 同じテーマに関する先行研究を適切に評価できる。 (4) 自分の仮説を論理的な文章として表現できる。 (5) 仮説の検証・反証可能性に自覚をもっている。						
授業計画	はじめは、教科書の中から適宜トピックを選び、講義形式で進めます。 後半は、各自の選んだトピックについて小論文を書いてみて、それを皆で批判的に議論しながら進めます。限られた時間内での口頭発表、ハンドアウト作りの練習もします。 以下は大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定。 第1回 全体の概要の説明、教科書の内容の説明 第2--10回 論理的な文章の書き方に慣れる。並行して、トピックの選定 第8回までに：各自のテーマ（第0案）を面談の上決める 第10回までに：各自のテーマ（第1案）を面談の上決める 第11回 ハンドアウトの作り方説明 第14回 概要口頭発表、ハンドアウト用意 第15回までに：夏休み前の段階での卒論概要(A4 5ページ)提出 第16回 概要返却、講評、各自の夏休みの計画の確認 第17回 論文の形式について説明 第20回までに 卒業論文第0版提出 第21回までに 卒業論文第0版返却、講評 第22回 第2次口頭発表、ハンドアウト用意 第23回 卒業論文第1版提出 第25回までに 卒業論文第1版返却、講評 第26回 第3次口頭発表、ハンドアウト用意 第27回 卒業論文第2版提出 第28回 卒業論文第2版返却、講評 第29回 卒業論文最終版チェック 1月15日：卒業論文提出日 第30回 卒業論文講評						
授業外における学習（準備学習の内容）	卒業研究は教室で教わるものではなく、主に教室外で自主的に調査・執筆し、教室では進行状況のチェック・進行方向の微調整が主となるものです。 したがって、基本的には授業外にほとんどの作業をすることになります。						
授業方法	少しずつ構想を練っていき、お互いに発表をしてディスカッションをしていきながら、年末（学年末でなく！）には論文の形にまとめていきます。 論文の内容もさることながら、口頭発表のしかた、配布資料の作り方、レポートのまとめ方、文としての形式、コンピュータの適切な使い方、読みやすく形式的にも綺麗な論文の書き方などの、大学院進学や就職後にも役に立つ具体的な技術も身につけることができるようにしたいと思います。						
評価基準と評価方法	日常的な研究への取り組み方の度合（30%以上）、および論文のまとめ具合（70%以下）の総合評価。						
教科書	戸田山和久『新版 論文の教室－レポートから卒論まで』（NHK ブックス） ISBN: 978-4140911945						
参考書	山内志朗『ぎりぎり合格への論文マニュアル』（平凡社新書） 岡田寿彦『論文って、どんなもんだい』（駿河台出版社） その他、授業中に指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究／Graduation Thesis						
担当教員	白川 計子						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	月曜4	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	翻訳、論文の執筆						
授業の概要	<論文による卒業研究>英米の文学または文化を対象とし、卒業論文を完成させる。 <翻訳による卒業研究>各自が翻訳対象テキストを選び、その翻訳の完成をもって卒業研究とする。翻訳素材は日本で未翻訳の文学、文化、メディアテキストとする。						
到達目標	<論文> (1) 論理的、且つ客観的な表現力を身につける。 (2) 一年間、計画的に作業を進め、完成度の高い学術論文を書く。 <翻訳> (1) 英語能力をさらに向上させる。 (2) 具体的な翻訳に必要な情報、専門知識を自らがもつ。 (3) プロとして通用する完成度の高い翻訳を仕上げる。						
授業計画	第1回：卒業研究とは何か。心構えと方針。 第2回：研究対象決定までの指導 第3回：研究対象指導1 第4回：研究対象指導2 第5回：研究対象発表会 第6回：研究テーマ指導1 第7回：研究テーマ指導2 第8回：研究テーマ指導3 第9回：研究テーマ指導4 第10回：研究テーマ指導と発表準備 第11回：研究テーマ発表会 第12回：執筆指導1 第13回：執筆指導2 第14回：執筆指導3 第15回：夏期研究の指導 第16回：後期研究スケジュールの指導 第17回：執筆指導4 第18回：執筆指導5 第19回：執筆指導6 第20回：執筆指導7 第21回：中間発表会1 第22回：中間発表会2 第23回：執筆指導8 第24回：執筆指導9 第25回：執筆指導10 第26回：執筆指導11 第27回：執筆指導12 第28回：執筆指導13 第29回：口頭試問と総括14 第30回：口頭試問と発表指導						
授業外における学習（準備学習の内容）	論文、翻訳に必要な資料の収集と読書、執筆。						
授業方法	論文、翻訳作成指導。口頭発表とディスカッション。						
評価基準と評価方法	論文（翻訳）80％、口頭試問20％						
教科書							

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究／Graduation Thesis						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	木曜2	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	ことばとコンピュータ						
授業の概要	西垣内が担当してきている Practical English Grammar, 「英語コンピュータ概論」「英語コンピュータ特論」「語と文のしくみ」「情報と倫理」のいずれかの内容に関係のある, 英語とくに英文法とコンピュータ, インターネットに関するトピックを選び, 卒業研究とします。卒業論文というかたちでまとめるか, その内容をウェブサイトのかたちにするか, 選択してください。						
到達目標	前期の前半は卒業研究の可能なトピックについて説明し, 前期の後半は個別の面談によって卒業研究の題目と内容を決定する。それをもとに夏休み中に参考文献を読み, 準備を進める。後期には個別指導によって論文の執筆, ウェブサイトの制作を進め, 年内には完成させる。このように, 1年をかけて卒業研究を完成させることがこの卒業研究の目標である。						
授業計画	前期 - 卒業研究の可能なトピックの提示 (1) - 卒業研究の可能なトピックの提示 (2) - 卒業研究の可能なトピックの提示 (3) - 卒業研究の可能なトピックの提示 (4) - 卒業研究の可能なトピックの提示 (5) - 卒業研究の題目について個別面談 (1) - 卒業研究の題目について個別面談 (1) - 卒業研究の題目について個別面談 (1) - 卒業研究の題目について個別面談 (1) - 卒業研究の題目について個別面談 (1) - 卒業研究の題目について個別面談 (1) - 卒業研究の題目について個別面談 (1) - 卒業研究の題目について個別面談 (1) - 卒業研究の題目について個別面談 (1) 後期 - 卒業研究の形式について説明 (1) - 卒業研究の形式について説明 (2) - 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (1) - 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (2) - 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (3) - 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (4) - 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (5) - 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (6) - 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (7) - 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (8) - 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (9)						

授業計画	12. 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (10) 13. 卒業研究の完成と発表 (1) 14. 卒業研究の完成と発表 (2) 15. 卒業研究の完成と発表 (3)
授業外における学習 (準備学習の内容)	前期は授業で提示するトピックに関連する文献を読んで理解する。 後期は卒業研究の完成にむけて論文の執筆ないしウェブサイトの制作をすすめる。
授業方法	卒業研究の可能なトピックの提示は講義によって行い、題目の決定、卒業研究の論文執筆、ウェブサイトの制作の段階では個別指導を行っていく。
評価基準と評価方法	1年間を通じて卒業研究の完成に向けた作業を行うことが何よりも重要な卒業研究の評価の条件である。 その上で 1. 卒業研究の題目として選んだ内容についてよく調べているか。 2. その内容についてよく理解しているか。 3. 授業中に提示する論文やウェブサイトの形式に従っているか。 という基準に基づいて評価する。
教科書	使用しない。
参考書	授業中に提示する。

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究／Graduation Thesis						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	金曜3	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	松蔭4年間の総決算としての卒業論文を仕上げる						
授業の概要	以下のいずれかのテーマを選び、自分でさらに細かなテーマを決定し論文を執筆する ■TwitterやFacebook、LINEなどのSNSに関するもの ■日本語と英語の比較 ■日本とアメリカ、イギリスの文化比較						
到達目標	満足のいく卒業論文を書き上げる						
授業計画	第1回：イントロ 第2回：論文の書き方1：テーマの見つけ方 第3回：論文の書き方2：資料の調べ方 第4回：論文の書き方3：章を立てる、全体の構成を考える 第5回：論文の書き方4：過去の卒論に触れる 第6回：発表について 第7回：テーマのアイデア発表1 第8回：テーマのアイデア発表2 第9回：テーマのアイデア発表3 第10回：中間発表Ⅰ/1 第11回：中間発表Ⅰ/2 第12回：中間発表Ⅰ/3 第13回：中間発表Ⅰ/4 第14回：中間発表Ⅰ/5 第15回：夏期研究の指導 【夏休み】 第16回：後期研究スケジュールの指導 第17回：個別執筆指導 第18回：個別執筆指導 第19回：個別執筆指導 第20回：個別執筆指導 第21回：中間発表Ⅱ/1 第22回：中間発表Ⅱ/2 第23回：個別執筆指導 第24回：個別執筆指導 第25回：個別執筆指導 第26回：個別執筆指導 第27回：個別執筆指導 第28回：個別執筆指導 第29回：個別執筆指導 第30回：個別執筆指導						
授業外における学習（準備学習の内容）	論文に必要な資料の収集と読書・執筆。						
授業方法	論文作成指導、口頭発表およびディスカッション						
評価基準と評価方法	卒業論文の出来具合						
教科書							

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究／Graduation Thesis						
担当教員	山内 啓子						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	金曜2	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	児童英語の指導者養成と、国際理解／異文化理解促進のための研究を行います。						
授業の概要	児童英語教育/国際理解教育 ●国際理解教育／異文化理解を多角的に研究します。 ●その指導者になることを目指し、多角的な視野を養いながら研究を進めます。 ●「児童英語指導者認定資格」を求める学生には実習を課し、職業訓練も併せて行います これらを総合的にまとめ上げて、卒論に仕上げます。						
到達目標	卒業論文作成を通して、学術論文の書き方を習得する。						
授業計画	前期は種々の参考文献や参考書を読み込む授業を行い、後期からは実習及び卒論作成に合わせて個別指導を行います。 「前期」 1. 参考文献講読 2. 参考文献講読 3. 参考文献講読 4. 参考文献講読 (自主研究発表) 5. 参考文献講読 (自主研究発表) 6. 参考文献講読 (確認テスト) 7. 参考文献講読 (自主研究発表) 8. 参考文献講読 (自主研究発表) 9. 参考文献講読 (自主研究発表) 10. 参考文献講読 (自主研究発表) 11. 参考文献講読 (確認テスト) 12. 参考文献講読 (卒論テーマ仮決定) 13. 参考文献講読 (卒論テーマ仮決定) 14. 卒論中間発表 15. 卒論中間発表 「後期」 16. 復習テスト 17. 卒論指導 (論文の書き方) 18. 卒論指導 (参考文献の検索) 19. 卒論指導 (引用文献と著作権に関して) 20. 卒論指導 (英文サマリーの書き方) 21. 卒論指導 (発表) 22. 卒論指導 (発表) 23. 卒論指導 (発表) 24. 卒論提出 25. 卒論推敲 26. 卒論推敲 27. 英文サマリー推敲 28. 英文サマリー推敲 29. 試問準備 30. 卒論発表準備						
授業外における学習 (準備学習の内容)	授業前学習：参考文献を予習しておくこと。 授業後学習：授業中の学びを整理しノートにまとめる。論文作成段階では、課題を準備し、授業後は推敲を行うこと。 St. Michael's International School での実習は11月に行われるので、参加者は日程調整などの準備を行うこと。						
授業方法	ゼミ形式・個人指導 特に後期には授業外でも予約制で個別指導を随時行います。						

評価基準と 評価方法	100% 卒業論文の成果を評価します。
教科書	
参考書	青木保『異文化理解』（岩波新書）ISBN4-00-430740-6 江利川春雄『日本人は英語をどう学んできたか』（研究社）ISBN978-4-327-41068-1 その他多数、ゼミ中に教示します。

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	単語と文のしくみA						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	日本語・英語の語と文のしくみとコンピュータの使用						
授業の概要	英語の文を成り立たせているもっとも重要なものは動詞です。動詞のはたらきを理解して文全体のしくみを見渡した上で文を読むことを常に行えば、英語の読解力は飛躍的に向上します。 この授業では、英語の語と文のしくみを現代の言語学がどのように研究しているか基礎的な考え方を概観し、具体的な用例をインターネット上のコーパスを使って生きたことばの姿を探っていきます。						
到達目標	英語の語と文のしくみとその背後にある法則性を発見、理解して、語彙力、文法の知識をやしなう。電子辞書、インターネット検索によって情報リテラシーを高める。						
授業計画	第1回：授業の概要説明 第2回：文のしくみ (1) 語順について 第3回：文のしくみ (2) 日英語の語順 第4回：文のしくみ (3) 文を組み立てる 第5回：文のしくみ (4) 動詞の役割 第6回：文のしくみ (5) 他動詞と自動詞 第7回：文のしくみ (6) いろいろな自動詞 第8回：文のしくみ (7) 受け身文って何？ 第9回：文のしくみ (8) 日本語の受け身文 第10回：文のしくみ (9) 文の中の文 that 節について 第11回：文のしくみ (10) 不定詞を含む文 第12回：文のしくみ (11) 疑問文 第13回：文のしくみ (12) 疑問文と日英語の違い 第14回：授業のまとめと期末復習テスト 第15回：期末復習テストの講評と復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常的にコンピュータ、インターネットで英文に親しむ。						
授業方法	講義と課題にもとづく作業をしてもらいます。						
評価基準と評価方法	毎回授業でインターネットのコーパスで検索した結果を、授業で説明する方法に従って分類し、それをレポートとして提出してもらいます。毎回のレポートを10点満点で評価し、その平均点を100点満点で算出したものを授業の成績とします。欠席すればその回のレポートは0点です。						
教科書	教室で指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	単語と文のしくみB						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	英語の語と文のしくみとコンピュータの使用						
授業の概要	英語の文を成り立たせているもっとも重要なものは動詞です。動詞のはたらきを理解して文全体のしくみを見渡した上で文を読むことを常に行えば、英語の読解力は飛躍的に向上します。さらに、He depends on his parents. - his dependence on his parents のように、動詞とそれから派生される名詞が、この場合あとに on がくるといった性質を共有していることがよくあります。こういった動詞と名詞の関係を知っていることは、読解力だけでなく語彙力を向上させることにもつながります。この授業では、英語の語と文のしくみを現代の言語学がどのように研究しているか基礎的な考え方を概観し、具体的な用例をインターネット上のコーパスを使って生きたことばの姿を探っていきます。						
到達目標	日本語・英語の語と文のしくみとその背後にある法則性を発見、理解して、語彙力、文法の知識をやしなう。電子辞書、インターネット検索によって情報リテラシーを高める。						
授業計画	第1回：授業の概要説明 第2回：電子辞書とインターネット検索の方法 第3回：語のしくみ 第4回：新造語について 第5回：語形成 (1) 複合語の全体的な問題 第6回：語形成 (2) 複合語の特殊な問題 第7回：語形成 (3) 派生語の全体的な問題 第8回：語形成 (4) 派生語の特殊な問題 (1) 派生語のしくみと接辞 第9回：語形成 (5) 派生語の特殊な問題 (2) 「語の主要部」とは 第10回：語形成 (6) 語形成全体に関わる考え方 第11回：語形成と電子辞書 第12回：語と文の使用とインターネット (1) 検索の方法 第13回：語と文の使用とインターネット (2) 「例外的な文や語」を探そう 第14回：授業のまとめと期末復習テスト 第15回：期末復習テストの講評と復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常的にコンピュータ、インターネットを使用して英語の文章に親しむ。						
授業方法	講義と課題にもとづく作業をしてもらいます。						
評価基準と評価方法	毎回授業でインターネットのコーパスで検索した結果を、授業で説明する方法に従って分類し、それをレポートとして提出してもらいます。毎回のレポートを10点満点で評価し、その平均点を100点満点で算出したものを授業の成績とします。欠席すればその回のレポートは0点です。						
教科書	授業で指示します						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	中高英語教育ゼミ						
担当教員	作井 恵子						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	水曜3	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	英語科の指導に関する基本的な知識と英語力向上						
授業の概要	英語教育に関して基本的な知識を学び、また英語教員に必要な4技能を身につけることを目標とする。英語力を測定するという観点から、英語指導について考察する。教員評価に加え、相互評価及び自己評価を通して、実践的な能力を身につける。併せて、教材研究を通して、日本を含む世界各地の歴史や文化への理解を深めるとともに、文法・語法の研究もすすめる。						
到達目標	英語教育に関する知識基本的な指導技法を身につけ、教育一般について考察することができるようになる。英語教員としてふさわしい4技能のバランスがとれた英語力を身につける。						
授業計画	第1回 英語を学ぶこと、教えること 第2回 各自の英語教育経験を振り返る 第3回 英語教育の歴史 第4回 英語能力を測るということ (リスニング) 第5回 英語能力を測るということ (スピーキング) 第6回 英語能力を測るということ (リーディング) 第7回 英語能力を測るということ (ライティング) 第8回 リスニングの指導について 第9回 スピーキングの指導について 第10回 リーディングの指導について 第11回 ライティングの指導について 第12回 中学校1年生の教科書分析 第13回 中学校1年生の学習指導案作成 第14回 中学校1年生の模擬授業 第15回 中学校1年生の模擬授業の振り返り 第16回 よい授業とは 第17回 中学校2年生の教科書分析 第18回 中学校2年生の学習指導案作成 第19回 中学校2年生の模擬授業 第20回 中学校2年生の模擬授業の振り返り 第21回 中学校3年生の教材分析 第22回 中学校3年生の学習指導案作成 第23回 中学校3年生の模擬授業 第24回 中学校3年生の模擬授業の振り返り 第25回 高等学校の教材研究と学習指導案作成 第26回 高等学校の模擬授業 第27回 高等学校の模擬授業の振り返り 第28回 試験作成と評価 第28回 教授内容と評価の関係について 第29回 後期のまとめと質疑応答、期末試験 第30回 1年の振り返りと教育実習への心構えと準備						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業と並行して英語力をのばすために各自で目標をたてそれを達成するべく課題をこなす						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	レポート20%、模擬授業30%、発表30%、期末試験20%						
教科書	プリントとして授業中に配布						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳・翻訳ゼミ						
担当教員	清水 陽子						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	火曜1	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	通訳者・翻訳者養成のトレーニング方法を活用しての実践的な英語運用能力開発						
授業の概要	通訳・翻訳が出来るようになるには総合的英語・日本語能力がまず必要です。このクラスでは特に英語の4技能を高めるトレーニングを中心に行います。 また良い通訳・翻訳を行うには、情報のインプット側としては理解力・情報処理力・情報保持力が必要であり、またアウトプット側としては表現力・迅速な訳出能力・デリバリー等の技術を学んで身につけてはなりません。これらの要素を鍛えるトレーニング方法をクラス内で紹介し、実践します。 さらに良質な通訳・翻訳をするためには英語・日本語間にある言語的ずれの克服、文化的差異の認知とそれに対する柔軟な対応が求められます。このクラスでは異文化知識と歴史・社会的教養を深める教材や、時事問題を扱った教材を用いて、広範な語彙の獲得と、様々なケースに対応できる即時的応用力を高めます。 そしてコミュニケーションのプロとしてに何よりも大切な感受性、双方の気持ち・状況を推し量れる感性を磨く時間としての授業を履修生全員で進めていきたいと思ひます。						
到達目標	英語・日本語間の直訳ではなく、双方の文化・慣習状況をふまえて、訳出する能力が身に付きます。簡単な逐次通訳、翻訳を臆せずできるようになります。						
授業計画	第1回 Unit 1 & 逐次通訳と同時通訳 第2回 Unit 1 & ビジネス翻訳と文芸翻訳 第3回 Unit 2 & ラギング 第4回 Unit 2 & シャドウイング 第5回 Unit 3 & プロソディー・リーディング 第6回 Unit 3 & 発音矯正 第7回 Unit 4 & ミニプレゼンテーション 第8回 Unit 4 & リプロダクション 第9回 Unit 5 & サイトトランスレイション 第10回 Unit 5 & パラフレージング 第11回 Unit 6 & デリバリー 第12回 Unit 6 & スピーチ通訳プレゼンテーション 第13回 Unit 7 & スピーチ通訳プレゼンテーション 第14回 Unit 7 & スピーチ通訳プレゼンテーション 第15回 質疑 応答と試験 第16回 Unit 8 & ビジネス翻訳 英-日 第17回 Unit 8 & ビジネス翻訳 日-英 第18回 Unit 9 & フォーマル表現 (1) レセプション・パーティー 第19回 Unit 9 & フォーマル表現 (2) 会議通訳 第20回 Unit 10 & フォーマル表現 (3) 商談 第21回 Unit 10 & フォーマル表現 (4) 公演 第22回 Unit 11 & ミニプレゼンテーション 第23回 Unit 11 & 放送通訳 第24回 Unit 12 & 大統領の英語 第25回 Unit 12 & 同時通訳下準備 第26回 Unit 13 & 同時通訳 第27回 Unit 13 & スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション 第28回 Unit 14 & スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション 第29回 Unit 14 & スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション 第30回 質疑 応答と試験 尚スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーションの実施回は履修生の人数により多少流動的です。						
授業外における学習（準備学習の内容）	宿題ディクテーションの提出、配布教材の音読復習プレゼンテーション準備などがあります。スピーチ通訳プレゼンテーションの準備は、主に授業外で行います。						
授業方法	講義と演習 テキスト、配布プリント教材を用いてのトレーニングを組み合わせで行います。 CALL教室にてヘッドセットを使用、ペアを組んでの通訳演習とプレゼンテーション、グループによる討議等バラエティに富んだトレーニングを組み合わせで進めます。						
評価基準と評価方法	平常点20% 提出物20% スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション30% 期末試験30% 前期10回、後期10回以上の出席がないと、受講資格を失います。						

教科書	Developing English fluency through Shadowing シャドーイングで学ぶ英語-インプットとをアウトプットにつなぐ 門田修平 長谷尚弥 氏木道人 ショーン・ホワイト 南雲堂 ISBN978-4-523-17670-1 C0082
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングA						
担当教員	清水 陽子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	逐次通訳入門						
授業の概要	逐次通訳入門と同時通訳の基礎訓練 通訳とはどのような作業を行なうのか、逐次通訳と同時通訳の違いは何か、等の理解を深めながら、通訳を行なう際に求められる要素を紹介します。 授業では通訳養成のトレーニングを行なうことにより、効果的な英語学習を実践し、英語力の向上を目指します。 授業ではテープを用いて、スピーチの訳出、英文原稿のサマリー、Q&A、数字の聞き取り、ニュースの英語、観光通訳、インタビューの英語などに取り組みます。 学期末には各自スピーチを作成して、スピーチ通訳パフォーマンスを行ないます。						
到達目標	リスニング力を伸ばし、英語スピーチの作成、簡単な内容の逐次通訳が出来るようになります。英語・日本語による口頭発表が臆せず出来るようになります。						
授業計画	1 オリエンテーション ラギング、シャドウイング、サイトトランスレイションなどの通訳トレーニングの説明と実践 テキスト Unit 1 2 Unit 1 通訳トレーニング開始 ラギングにチャレンジ 3 Unit 2 数字の練習 4 Unit 2 美しく読む 発音矯正 スピードを上げる 重要な母音 5 Unit 3 美しく読む 発音矯正 スピードを上げる 重要な子音 6 Unit 4 速訳練習 7 Unit 5 簡単な挨拶 8 Unit 6 ニュースの英語 9 Unit 7 パラフレイズ練習 10 同時通訳にチャレンジ 11 スピーチ通訳パフォーマンス クラスメンバー 第一グループ 12 スピーチ通訳パフォーマンス クラスメンバー 第二グループ 13 スピーチ通訳パフォーマンス クラスメンバー 第三グループ 14 スピーチ通訳パフォーマンス クラスメンバー 第四グループ 15 まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回ディクテーションの宿題提出か、あるいは復習部分のプレゼンテーションが有ります。学期末に行う通訳スピーチプレゼンテーションの準備は指示に従って、主に授業外で行います。						
授業方法	テキストを用いての通訳トレーニングと配布プリントを用いての実践トレーニング。CALL教室にて、ヘッドセットをもちいて行ないます。						
評価基準と評価方法	毎回の授業でのトレーニング 平常点（20％）宿題提出物（20％）学期末試験（30％）通訳パフォーマンス（30％）による総合評価です。						

教科書	改訂四版 通訳トレーニングコース 水野真木子 鍵村和子 共著 大阪教育図書 ISBN4-271-11300-X
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングA						
担当教員	山内 啓子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	1) 英語の運用力向上 2) 日本語／英語の「ことば」に対する理解を深め、感性を高める						
授業の概要	二者間で情報が正しく伝達されるための、手段としての通訳法に対する理解を深めます。 双方に情報を正確に伝達するための要素として通訳養成トレーニングの技法を学び、それを活用して英語運用能力の向上を目指します。シャドウイング、リピーティング、暗唱、反復練習などを通して効果的な英語の学習法の実践・習得に努めます。 この授業では特にシャドウイングに特化した教科書を用いて英語力の強化を計ります。 また英語の運用能力の向上のためにペアワーク、グループワークを課して使える技能を磨きます。						
到達目標	通訳トレーニングの技法を知り、その練習を繰り返すことで日→英→日の言語往来の能力を高めます。						
授業計画	(毎回) ・5分間TOEIC準拠のリスニングテスト ・5分間TOEICテストの解説 前期はテキスト1-6, でシャドウイングとリピーティングの練習をします。 さらにwebsiteを活用します 1. Overall introduction 2. Unit 1: Left-handedness (1) task 01-06 3. Unit 1: Left-handedness (1) task 07-11 4. Unit 2: Left-handedness (2) task 01-06 5. Unit 2: Left-handedness (2) task 07-11 6. Unit 3: Solar Power (1) task 01-06 7. Unit 4: Solar Power (1) task 07-11 8. Students presentation on shadowing + repeating 9. Unit 5: Robots (1) task 01-06 10. Unit 5: Robots (1) task 07-11 11. Unit 6: Robots (2) task 01-06 12. Unit 6: Robots (2) task 07-11 13. Students presentation on 'interpretation' 14. Review + test 15. Follow up						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前：テキストをよく読んで予習しておくこと。 授業後：授業中に学んだ通訳の技法を繰り返し練習する。 課題として出されたウェブサイトを何度も聞く。						
授業方法	shadowing, repeatingなどの技法練習と、逐次訳練習						
評価基準と評価方法	授業への積極参加、テスト、発表等の累積評価を行います。 発表累計40%, テスト30%, 授業積極参加30%						
教科書	"Developing English Fluency through Shadowing" 門田修平他著（南雲堂） ISBN978-4-523-17670-1						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングB						
担当教員	清水 陽子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	逐次通訳入門と同時通訳の基礎訓練						
授業の概要	逐次通訳入門と同時通訳の基礎訓練 通訳とはどのような作業を行うのか、逐次通訳と同時通訳の違いは何か、などの理解を深めながら、通訳を行う際に求められる要素を紹介します。授業では実際に通訳者養成のトレーニングを用いて、効果的な英語学習方法を紹介し、実践します。授業は主としてテープを用いて英語のスピーチを日本語に訳出します。英語の運用能力を高めるために、英文記事のサマリー、Q&A、同時通訳的発想による速読法、速訳などの練習も行ないます。各自スピーチを作成してペアを組んだ通訳担当者とのパフォーマンスも行います。 前期では入門編とテキスト前半を終えておりますので、後期ではそれを発展させて、フォーマルスピーチにもチャレンジします。 前期後期合わせてカリキュラムを構成していますので、前期を履修していることが望ましいですが、後期から初めて履修する人のために簡単な説明と復習を行ってから授業を始めます。						
到達目標	リスニング力を伸ばし、ビジネススピーチの作成、フォーマル表現を習得し活用できるようになります。人前における英語・日本語の口頭発表が臆せず出来るようになります。						
授業計画	1 Unit 8 & 英日ビジネススピーチ 2 Unit 8 & 日英ビジネススピーチ 3 Unit 9 & フォーマル表現 会議での表現 4 Unit 9 & フォーマル表現 レセプションでの表現 5 Unit 10 & 司会者の挨拶 6 Unit 10 & ゲストの挨拶 7 Unit 11 & ニュースの英語 8 Unit 12 & 大統領の英語 9 Unit 13 & 大統領の英語 10 Unit 14 & 同時通訳にチャレンジ 11 スピーチ通訳プレゼンテーション 第1グループ 12 スピーチ通訳プレゼンテーション 第2グループ 13 スピーチ通訳プレゼンテーション 第3グループ 14 スピーチ通訳プレゼンテーション 第4グループ 15 まとめと筆記試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	毎回ディクテーションの宿題提出あるいは、復習のプレゼンテーションがあります。学期末に行うスピーチ通訳プレゼンテーションの準備は、指示に従って主に授業外で行います。						
授業方法	テキストを用いての授業と配布プリントを用いてのトレーニングを合わせて行ないます。CALL教室にてヘッドセットを使用してトレーニングをします。各学期末にスピーチ通訳パフォーマンスを行ないます。						
評価基準と評価方法	平常点20% 提出物20% スピーチ通訳プレゼンテーション30% 期末試験30%						

教科書	テキストとプリントを使用 改訂四版 通訳トレーニングコース 著 水野真木子・鍵村和子（大阪教育図書） ISBN4-271-11300-X
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングB						
担当教員	山内 啓子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	1) 英語の運用力向上 2) 日本語／英語の「ことば」に対する理解を深め、感性を高める						
授業の概要	前期に引き続き二者間で情報が正しく伝達されるための、手段としての通訳法に対する理解を深めます。 この授業では前期に引き続きシャドウイングに特化した教科書を用いて英語力の強化を計ります。 また英語の運用能力の向上のためにペアワーク、グループワークを課して使える技能を磨きます。						
到達目標	通訳トレーニングの技法を知り、その練習を繰り返すことで日→英→日の言語往来の能力を高めます。						
授業計画	(毎回) ・5分間TOEIC準拠のリスニングテスト ・5分間TOEICテストの解説 後期はテキスト7-14でシャドウイングの練習を重ねながら通訳練習をします。 Unit 9からは前期より進度が早くなります。 さらにwebsiteを活用します。 1. Revision + Overall introduction 2. Unit 7: Motivation (1) task 01-06 3. Unit 7: Motivation (1) task 07-11 4. Unit 8: Motivation (2) task 01-06 5. Unit 8: Motivation (2) task 07-11 6. Unit 9: Sleep (1) task 01-11 7. Unit 10: Sleep (2) task 01-11 8. Students presentation on shadowing + repeating 9. Unit 11: Intercultural Communication (1) task 01-11 10. Unit 12: Intercultural Communication (2) task 01-14 11. Unit 13: Age and Language Learning (1) task 01-11 12. Unit 14: Age and Language Learning (2) task 01-14 13. Students presentation on 'interpretation' 14. Review + test 15. Follow up						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前：テキストをよく読んで予習しておくこと。 授業後：授業中に学んだ通訳の技法を繰り返し練習する。 課題として出されたウェブサイトを何度も聞く。						
授業方法	shadowing, repeatingなどの技法練習と、逐次訳練習						
評価基準と評価方法	授業への積極参加、テスト、発表等の累積評価を行います。 発表累計40%, テスト30%, 授業積極参加30%						
教科書	"Developing English Fluency through Shadowing" 門田修平他著（南雲堂） ISBN978-4-523-17670-1						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークA						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネス実務の研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、接遇、電話応対、報告の仕方、など口頭でのコミュニケーションに重点を置き、ロールプレイを含む演習形式で授業を実施する。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。						
授業計画	1. オリエンテーション、秘書の仕事 2. 就職面接の心得、環境整備 3. 話し方と言葉づかい、日本語と英語の敬意表現 4. 服装、邦文・英文履歴書作成 5. 指示と報告（基礎） 6. 指示と報告（応用） 7. 接遇の要件、異文化コミュニケーション 8. 接遇ケーススタディ（基礎） 9. 接遇ケーススタディ（応用） 10. 電話応対の要件 11. 電話応対ケーススタディ 12. 国際電話 13. スケジュール管理 14. 出張業務、まとめ 15. 質疑応答、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。自問問題に関心を持つ。ロールプレイにより理想的な「型」を身につけ、ふだんから実践する。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50％）、平常点：ポートフォリオ等の提出を含む（50％）の総合評価 ◆遅刻や欠席は減点の対象とする。						
教科書	田中篤子編 著 『全訂新版 秘書実務 ー実習マニュアルー』（嵯峨野書院） ISBN 978-4-7823-0353-5						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークA						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネス実務の研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、接遇、電話応対、報告の仕方、など口頭でのコミュニケーションに重点を置き、ロールプレイを含む演習形式で授業を実施する。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。						
授業計画	1. オリエンテーション、秘書の仕事 2. 就職面接の心得、環境整備 3. 話し方と言葉づかい、日本語と英語の敬意表現 4. 服装、邦文・英文履歴書作成 5. 指示と報告（基礎） 6. 指示と報告（応用） 7. 接遇の要件、異文化コミュニケーション 8. 接遇ケーススタディ（基礎） 9. 接遇ケーススタディ（応用） 10. 電話応対の要件 11. 電話応対ケーススタディ 12. 国際電話 13. スケジュール管理 14. 出張業務、まとめ 15. 質疑応答、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。 自習問題に関心を持つ。ロールプレイにより理想的な「型」を身につけ、ふだんから実践する。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50％）、平常点：ポートフォリオ等の提出を含む（50％）の総合評価。 ◆遅刻や欠席は減点の対象とする。						
教科書	田中篤子編 著 『全訂新版 秘書実務 ー実習マニュアルー』（嵯峨野書院） ISBN 978-4-7823-0353-5						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークA						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネス実務の研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、接遇、電話応対、報告の仕方、など口頭でのコミュニケーションに重点を置き、ロールプレイを含む演習形式で授業を実施する。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。						
授業計画	1. オリエンテーション、秘書の仕事 2. 就職面接の心得、環境整備 3. 話し方と言葉づかい、日本語と英語の敬意表現 4. 服装、邦文・英文履歴書作成 5. 指示と報告（基礎） 6. 指示と報告（応用） 7. 接遇の要件、異文化コミュニケーション 8. 接遇ケーススタディ（基礎） 9. 接遇ケーススタディ（応用） 10. 電話応対の要件 11. 電話応対ケーススタディ 12. 国際電話 13. スケジュール管理 14. 出張業務、まとめ 15. 質疑応答、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。 自習問題に関心を持つ。ロールプレイにより理想的な「型」を身につけ、ふだんから実践する。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50％）、平常点：ポートフォリオ等の提出を含む（50％）の総合評価。 ◆遅刻や欠席は減点の対象とする。						
教科書	田中篤子編 著 『全訂新版 秘書実務 ー実習マニュアルー』（嵯峨野書院） ISBN 978-4-7823-0353-5						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネスの実務研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、PCソフトなどを用いた文書作成、会計業務、ファイリングなど、文書によるコミュニケーションに重点を置き、ビジネスレター、社交文書、メール等作成の実務能力を養う。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。						
授業計画	1. オリエンテーション 2. 会議と会合 3. 法的業務 4. 会計業務、通信業務 5. 慶弔業務の要件 6. 慶弔業務ケーススタディ 7. 文書実務の要件（基礎） 8. 文書実務ケーススタディ（基礎） 9. 文書実務の要件（応用） 10. 文書実務ケーススタディ（応用） 11. ポートフォリオ準備、目次作成 12. ファイリング（基礎） 13. ファイリング（応用） 14. イン・バスケット、まとめ 15. 質疑応答、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。多くのビジネス文書を読むことで、理想的な「型」を知り運用を試みることを推奨する。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（５０％）、平常点：ポートフォリオ等の提出を含む（５０％）の総合評価。 ◆遅刻や欠席は減点の対象とする。						
教科書	田中篤子編 著 『全訂新版 秘書実務 一実習マニュアル』（嵯峨野書院） ISBN 978-4-7823-0353-5						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネスの実務研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、PCソフトなどを用いた文書作成、会計業務、ファイリングなど、文書によるコミュニケーションに重点を置き、ビジネスレター、社交文書、メール等作成の実務能力を養う。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。						
授業計画	1. オリエンテーション 2. 会議と会合 3. 法的業務 4. 会計業務、通信業務 5. 慶弔業務の要件 6. 慶弔業務ケーススタディ 7. 文書実務の要件（基礎） 8. 文書実務ケーススタディ（基礎） 9. 文書実務の要件（応用） 10. 文書実務ケーススタディ（応用） 11. ポートフォリオ準備、目次作成 12. ファイリング（基礎） 13. ファイリング（応用） 14. イン・バスケット、まとめ 15. 質疑応答、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。 多くのビジネス文書を読むことで、理想的な「型」を知り運用を試みることを推奨する。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50％）、平常点：ポートフォリオ等の提出を含む（50％）の総合評価。 ◆遅刻や欠席は減点の対象とする。						
教科書	田中篤子編 著 『全訂新版 秘書実務 一実習マニュアル』（嵯峨野書院） ISBN 978-4-7823-0353-5						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネスの実務研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、PCソフトなどを用いた文書作成、会計業務、ファイリングなど、文書によるコミュニケーションに重点を置き、ビジネスレター、社交文書、メール等作成の実務能力を養う。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。						
授業計画	1. オリエンテーション 2. 会議と会合 3. 法的業務 4. 会計業務、通信業務 5. 慶弔業務の要件 6. 慶弔業務ケーススタディ 7. 文書実務の要件（基礎） 8. 文書実務ケーススタディ（基礎） 9. 文書実務の要件（応用） 10. 文書実務ケーススタディ（応用） 11. ポートフォリオ準備、目次作成 12. ファイリング（基礎） 13. ファイリング（応用） 14. イン・バスケット、まとめ 15. 質疑応答、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。多くのビジネス文書を読むことで、理想的な「型」を知り運用を試みることを推奨する。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50％）、平常点：ポートフォリオ等の提出を含む（50％）の総合評価。 ◆遅刻や欠席は減点の対象とする。						
教科書	田中篤子編 著 『全訂新版 秘書実務 一実習マニュアル』（嵯峨野書院） ISBN 978-4-7823-0353-5						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	比較文化論A／Study of Comparative Culture A						
担当教員	F. Shiobara						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Comparative culture (primarily comparing Western and East Asian culture)						
授業の概要	The aim of this course is to introduce students to the ideas of cultural difference in order for them to gain an idea of intercultural communication. Particularly comparing Japanese and western ways of thinking, and values.						
到達目標	To develop students' awareness of comparative culture as a discipline. To develop students' knowledge of Western and East Asian cultural backgrounds.						
授業計画	第1回：Course Introduction 第2回：Identity 第3回：Food 第4回：Values 第5回：Religion 第6回：Culture Shock 第7回：Houses 第8回：Revision and Mid-term test 第9回：Culture in Language 第10回：Body Language and Customs 第11回：Individualism 第12回：Art and Wabi Sabi 第13回：Review of Weeks 9-12 第14回：Revision and examination 第15回：Review and evaluations						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students need to be prepared to give their opinions and discuss various topics in English with other students.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Class activities and homework. 40%. Mid-term and final test 50% Participation 10%						
教科書	Joseph Shaules, Hiroko Tsujioka, Miyuki Iida: Identity Oxford University Press ISBN: 978-0-19-438574-9						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	比較文化論B／Study of Comparative Culture B						
担当教員	F. Shiobara						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Comparative culture (primarily comparing Western and East Asian culture)						
授業の概要	The aim of this course is to introduce students to the ideas of cultural difference in order for them to gain an idea of intercultural communication. Particularly comparing Japanese and western ways of thinking, and values.						
到達目標	To develop students' awareness of comparative culture as a discipline. To develop students' knowledge of Western and East Asian cultural backgrounds.						
授業計画	第1回：Poiteness 第2回：Honne and Tatemaie & Uchi and Soto 第3回：Confucianism 第4回：Communication Styles 第5回：Body Language 第6回：Gender and Culture 第7回：Women's Rights 第8回：Diversity 第9回：Ha-fu (Movie) 第10回：Social Change 第11回：Cambodia 第12回：Speech Contest 第13回：Global Community 第14回：Revision and examination 第15回：Review and evaluations						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students need to be prepared to give their opinions and discuss various topics in English with other students.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Class activities and homework. 40%. Mid-term and final test 50% Participation 10%						
教科書	Joseph Shaules, Hiroko Tsujioka, Miyuki Iida: Identity Oxford University Press ISBN: 978-0-19-438574-9						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語A						
担当教員	岡部 浩子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として活躍できる能力を習得する。						
授業の概要	ビジネスの場面で使用する英語を読解しながら、秘書として必要な英語表現、語彙などを理解し、国際社会に通用する英語力の養成を目指す。あわせて、グローバル社会において秘書が企業内で果たしている役割を考察し、その業務遂行に必要な基礎知識と必要な英語を学習する。秘書が携わる業務、主に、来客受付、応対、レジュメの書き方などについて、演習を交えながら学習する。						
到達目標	バイリンガル・セクレタリとして必要な基礎知識を身につけることができます。ビジネスで使える単語、表現、マナーなど、通常の英会話とのちがいなども理解できるようになります。						
授業計画	第1回 Introduction to the course and Unit 1 Job Hunting: part1 In Person 第2回 Unit 1: part 1 In Person and part 2 Telephone Communication 第3回 Unit 1 review quiz and Unit 2 Job Interviews: part 1 In Person 第4回 Unit 2: part 1 and part 2 Telephone Communication 第5回 Unit 2 review quiz and Unit 3 Company Profile: part 1 In Person 第6回 Unit 3: part 1 and part 2 Telephone Communication 第7回 Unit 3 review quiz and Unit 4 Job Description: part 1 In Person 第8回 Unit 4: part 1 and part 2 Telephone Communication 第9回 Unit 4 review quiz and Unit 5 E-mai-Announcing a Meeting: part 1 In Person 第10回 Unit 5: part 1 and part 2 Telephone Communication 第11回 Unit 5 review quiz and Unit 6 Meeting Business Associates at the Airport: part 1 In Person 第12回 Unit 6: part 1 and part 2 Telephone Communication 第13回 Unit 6 review quiz and TOEIC exercise 第14回 TOEIC exercise 第15回 Review and term exam						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当する箇所の内容を理解し、単語の意味を調べておいてください。 授業後学習：学習したことを復習し、英語と日本語双方向に文が作れるようにしてください。また、音読練習も並行して行ってください。						
授業方法	講義・演習						
評価基準と評価方法	平常点（４０％）、課題（１０％）、試験（小テスト２５％・期末テスト２５％）						
教科書	Let's Get Down to Business, Kazushige Tsuji, Setsu Tsuji and Margaret M. Lieb, Macmillan Language House ISBN: 9784777363858						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語A						
担当教員	多賀谷 真吾						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	秘書に求められる英語力を習得する。						
授業の概要	ビジネスの場面で使用する英語を読解しながら、秘書として必要な英語表現、語彙などを理解し、国際社会に通用する英語力の養成を目指す。あわせて、グローバル社会において秘書が企業内で果たしている役割を考察し、その業務遂行に必要な基礎知識と必要な英語を学習する。秘書が携わる業務、主に、来客受付、応対、レジュメの書き方などについて、演習を交えながら学習する。						
到達目標	この授業を受けることで、秘書の実務に必要なジャンルの英語の語彙や表現を習得し、英語読解力を身につけることができ、加えてTOEIC試験などのスコア・アップにも役立つことになる。						
授業計画	第01回 イントロダクション 第02回 基礎読解演習 (01) テーマ：天気・気象 第03回 基礎読解演習 (02) テーマ：求人広告 (01) (貿易・メディア関係) 第04回 基礎読解演習 (03) テーマ：求人広告 (02) (工業・製菓関係) 第05回 基礎読解演習 (04) テーマ：求人広告への応募 (01) (事務・受付関係) 第06回 基礎読解演習 (05) テーマ：求人広告への応募 (02) (経済アナリスト・経営コンサル関係) 第07回 基礎読解演習 (06) テーマ：求人応募への不採用通知 (01) (一般職・販売関係) 第08回 基礎読解演習 (07) テーマ：求人応募への不採用通知 (02) (研究者・マネージメント関係) 第09回 基礎読解演習 (08) テーマ：苦情 (ホテル・通販・IT・家電関係) 第10回 基礎読解演習 (09) テーマ：苦情への対応 (ホテル・出版・インテリア・家電関係) 第11回 基礎読解演習 (10) テーマ：銀行 (01) (ATM関係) 第12回 基礎読解演習 (11) テーマ：銀行 (02) (銀行関係) 第13回 基礎読解演習 (12) テーマ：航空 (01) (マイレージ・空港警備関係) 第14回 基礎読解演習 (13) テーマ：航空 (02) (機材・安全装備関係) 第15回 質疑応答と復習						
授業外における学習 (準備学習の内容)	授業前学習：各プリントの4ページ目の英文を読解してくる。こと。 授業後学習：各プリントの1～3ページ目の授業で学んだ英文を暗唱できるくらい音読してくる。こと。						
授業方法	演習方式。						
評価基準と評価方法	毎回の小テスト80%、発表点20%						
教科書	プリントを使用する。						
参考書	なし。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	岡部 浩子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として活躍できる能力を習得する。						
授業の概要	秘書英語Aで学習した内容を基に、秘書として業務を遂行していく上で必要な英語を学び、出張業務、スケジュール管理、パソコンを用いての文書作成、英文ビジネスレターについて学習する。また、企業で上司のサポートをし、コミュニケーションのパイプ役を果たす秘書がおこなう多岐に渡る業務を円滑に進めることができるよう、発表の機会を増やし、多様な場面で発表や実習を行う。発表を通して、職場で使用する会話表現や文化の違いなどを学習する。						
到達目標	バイリンガル・セクレタリとして必要な基礎知識を基に、それを応用していく技能を身につけることができます。						
授業計画	第1回 Introduction to the course and Unit 7 At the Reception Desk: part1 In Person 第2回 Unit 7: part 1 In Person and part 2 Telephone Communication 第3回 Unit 7 review quiz and Unit 8 Introductions & Exchanging Business Cards: part 1 In Person 第4回 Unit 8: part 1 and part 2 Telephone Communication 第5回 Unit 8 review quiz and Unit 9 Opening Remarks at a Meeting: part 1 In Person 第6回 Unit 9: part 1 and part 2 Telephone Communication 第7回 Unit 9 review quiz and Unit 10 Presentation: part 1 In Person 第8回 Unit 10: part 1 and part 2 Telephone Communication 第9回 Unit 10 review quiz and Unit 11 Negotiation: part 1 In Person 第10回 Unit 11: part 1 and part 2 Telephone Communication 第11回 Unit 11 review quiz and Unit 12 Invitation to Dinner: part 1 In Person 第12回 Unit 12: part 1 and part 2 Telephone Communication 第13回 Unit 12 review quiz and TOEIC exercise 第14回 TOEIC exercise 第15回 Review and term exam						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当する箇所の内容を理解し、単語の意味を調べておいてください。 授業後学習：学習したことを復習し、英語と日本語双方向に文が作れるようにしてください。また、音読練習も並行して行ってください。						
授業方法	講義・演習						
評価基準と評価方法	平常点（４０％）、課題（１０％）、試験（小テスト２５％・期末テスト２５％）						
教科書	Let's Get Down to Business, Kazushige Tsuji, Setsu Tsuji and Margaret M. Lieb, Macmillan Language House ISBN: 9784777363858						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	多賀谷 真吾						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	秘書に求められる英語力を習得する。						
授業の概要	秘書英語Aで学習した内容を基に、秘書として業務を遂行していく上で必要な英語を学び、出張業務、スケジュール管理、パソコンを用いての文章作成、英文ビジネスレターについて学習する。また、企業で上司をサポートし、コミュニケーションのパイプ役を果たす秘書がおこなう多岐に渡る業務を円滑に進めることができるよう、発表の機会を増やし、多様な場面で発表や実習をおこなう。発表の際は、海外との業務を想定しながら、オフィスで活用できる会話学習の習得とともに、仕事の進め方、文化の違いなどを学習する。						
到達目標	この授業を受けることで、秘書の実務に必要なジャンルの英語の語彙や表現を習得し、英語読解力を身につけることができ、加えてTOEIC試験などのスコア・アップにも役立つことになる。						
授業計画	第01回 イントロダクション 第02回 応用読解演習(01) テーマ：医薬(01)(薬局・健康問題) 第03回 応用読解演習(02) テーマ：車と駐車(01)(車の整備・燃費) 第04回 応用読解演習(03) テーマ：車と駐車(02)(駐車制限と禁止事項) 第05回 応用読解演習(04) テーマ：統計データ(01)(円グラフ・パーセンテージ) 第06回 応用読解演習(05) テーマ：統計データ(02)(折れ線グラフ・実験データ) 第07回 応用読解演習(06) テーマ：警告(01)(契約事項・使用上の注意) 第08回 応用読解演習(07) テーマ：警告(02)(免責事項・管理上の注意) 第09回 応用読解演習(08) テーマ：レシピ(レモネードやケーキの作り方) 第10回 応用読解演習(09) テーマ：旅程表(団体旅行・個人旅行) 第11回 応用読解演習(10) テーマ：金融(01)(現金所持・外国為替) 第12回 応用読解演習(11) テーマ：金融(02)(ローン・為替変動) 第13回 応用読解演習(12) テーマ：メモランダム(社内禁止事項・社内訓示) 第14回 応用読解演習(13) テーマ：株式(株価変動・先物取引) 第15回 質疑応答と復習						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習：各プリントの4ページ目の英文を読解してくること。 授業後学習：各プリントの1～3ページ目の授業で学んだ英文を暗唱できるくらい音読してくること。						
授業方法	演習方式。						
評価基準と評価方法	毎回の小テスト80%、発表点20%						
教科書	プリントを使用する。						
参考書	なし。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論A／Secretarial Theory A						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者のあり方を研究し、ビジネスの基本を学ぶ。						
授業の概要	企業のトップを補佐する秘書（オフィスワーカー）に必要な知識を学ぶ（基礎編） 社会の急激な変化に伴い、オフィスワーカーに求められる知識や技能は広範囲なものになっている。会社のしくみ、経営組織、秘書（オフィスワーカー）の職務と役割、資質・能力、など事務職に就く人はもちろん、さまざまな職業に活かせる知識や技能の「基礎」を解説する。 ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、社会で活用できる内容とする。 また、学生のライフデザイン、キャリア形成に役立つものとする。						
到達目標	社会の方向性を理解する。 企業の組織や意思決定の仕組みについて学び、事務職として必要な基本知識を得る。						
授業計画	1. オリエンテーション、秘書とは（グループディスカッション） 2. 情報化時代と秘書 3. 会社の仕組み 4. 会社役員と秘書 5. 会社の経営組織 6. 意思決定システム（グループディスカッション） 7. 秘書による補佐形態 8. 秘書の職務と役割 9. 秘書の職務内容 10. 職業人としての基礎力（グループディスカッション） 11. 働く意味（グループディスカッション） 12. キャリアデザインとは⇒「ゲスト・スピーカー」を招聘 13. 経営環境の変化 14. まとめ 15. 質疑応答と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど、解決に努める。 機会があれば、グローバル企業・NPOを訪問し、知見を広げる。						
授業方法	講義中心ではあるがグループディスカッション等を多く取り入れる。 ニュースの紹介、解説を適宜加え、企業社会を身近なものとする。 VTR、DVDなどを活用することで、理解しやすく興味の持てる授業とする。						
評価基準と評価方法	◆筆記試験（70％）と平常点（30％）の総合評価 ◆遅刻や欠席は減点の対象とする。						
教科書	オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成 西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著（中央経済社） ISBN978-4-502-39920-6 C3034						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論A／Secretarial Theory A						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者のあり方を研究し、ビジネスの基本を学ぶ。						
授業の概要	企業のトップを補佐する秘書（オフィスワーカー）に必要な知識を学ぶ（基礎編） 社会の急激な変化に伴い、オフィスワーカーに求められる知識や技能は広範囲なものになっている。会社のしくみ、経営組織、秘書（オフィスワーカー）の職務と役割、資質・能力、など事務職に就く人はもちろん、さまざまな職業に活かせる知識や技能の「基礎」を解説する。 ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、社会で活用できる内容とする。 また、学生のライフデザイン、キャリア形成に役立つものとする。						
到達目標	社会の方向性を理解する。 企業の組織や意思決定の仕組みについて学び、事務職として必要な基本知識を得る。						
授業計画	1. オリエンテーション、秘書とは（グループディスカッション） 2. 情報化時代と秘書 3. 会社の仕組み 4. 会社役員と秘書 5. 会社の経営組織 6. 意思決定システム（グループディスカッション） 7. 秘書による補佐形態 8. 秘書の職務と役割 9. 秘書の職務内容 10. 職業人としての基礎力（グループディスカッション） 11. 働く意味（グループディスカッション） 12. キャリアデザインとは ⇒ 「ゲスト・スピーカー」招聘 13. 経営環境の変化 14. まとめ 15. 質疑応答と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど、解決に努める。 機会があれば、グローバル企業・NPOを訪問し、知見を広げる。						
授業方法	講義中心ではあるがグループディスカッション等を多く取り入れる。 ニュースの紹介、解説を適宜加え、企業社会を身近なものとする。 VTR、DVDなどを活用することで、理解しやすく興味の持てる授業とする。						
評価基準と評価方法	◆筆記試験（70％）と平常点（30％）の総合評価 ◆遅刻や欠席は減点の対象とする。						
教科書	オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成 西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著（中央経済社） ISBN978-4-502-39920-6 C3034						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論B／Secretarial Theory B						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者のあり方を研究し、ビジネスへの応用を可能とする。						
授業の概要	企業のトップを補佐する秘書（オフィスワーカー）に必要な知識を学ぶ（応用編） オフィスワーカーに求められる基礎的な知識・技能を習得したのち、経営環境の変化、コミュニケーション能力、プロトコル（国際儀礼）、ホスピタリティ・マネジメント、CSR（企業の社会的責任）、リスクマネジメント、など多様な職業に必要とされる知識や技能について解説する。 ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、社会で活用できる内容とする。 また、学生のライフデザイン、キャリア形成に役立つものとする。						
到達目標	企業社会の方向性を理解する。 秘書（オフィスワーカー）に求められる基礎的な知識とスキルを修得したのちに、それらを多様な職種に応用できる。						
授業計画	1. オリエンテーション、秘書とは 2. 秘書とコミュニケーションⅠ 3. 秘書とコミュニケーションⅡ（グループディスカッション） 4. 人間関係（グループディスカッション） 5. プロトコル 6. ホスピタリティ 7. コーポレート・ガバナンス 8. 働く目的 ⇒ 「ゲスト・スピーカー」招聘 9. リスクマネジメント 10. 秘書のためのレファレンス 11. 経済・政治・地域に関する情報 12. 社会・文化に関する情報 13. 自己決定力（義務・権利・責任）（グループディスカッション） 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。 機会があれば、グローバル企業・NPOを訪問し、知見を広げる。						
授業方法	講義中心ではあるができるだけグループディスカッションを多く取り入れる。 新聞の経済記事、The Japan Timesの求人広告などを紹介、解説する。 VTR、DVDなどを活用することで、理解しやすく興味の持てる授業とする。						
評価基準と評価方法	◆筆記試験（70％）と平常点（30％）の総合評価。 ◆遅刻や欠席は減点の対象とする。						
教科書	オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成、西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著（中央経済社） ISBN978-4-502-39920-6 C3034						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論B／Secretarial Theory B						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者のあり方を研究し、ビジネスへの応用を可能とする。						
授業の概要	企業のトップを補佐する秘書（オフィスワーカー）に必要な知識を学ぶ（応用編） オフィスワーカーに求められる基礎的な知識・技能を習得したのち、経営環境の変化、コミュニケーション能力、プロトコル（国際儀礼）、ホスピタリティ・マネジメント、CSR（企業の社会的責任）、リスクマネジメント、など多様な職業に必要とされる知識や技能について解説する。 ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、社会で活用できる内容とする。 また、学生のライフデザイン、キャリア形成に役立つものとする。						
到達目標	企業社会の方向性を理解する。 秘書（オフィスワーカー）に求められる基礎的な知識とスキルを修得したのちに、それらを多様な職種に応用できる。						
授業計画	1. オリエンテーション、秘書とは 2. 秘書とコミュニケーション I 3. 秘書とコミュニケーション II（グループディスカッション） 4. 人間関係（グループディスカッション） 5. プロトコル 6. ホスピタリティ 7. コーポレート・ガバナンス 8. 働く目的 ⇒「ゲスト・スピーカー」招聘 9. リスクマネジメント 10. 秘書のためのレファレンス 11. 経済・政治・地域に関する情報 12. 社会・文化に関する情報 13. 自己決定力（義務・権利・責任）（グループディスカッション） 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。 機会があれば、グローバル企業・NPOを訪問し、知見を広げる。						
授業方法	講義中心ではあるができるだけグループディスカッションを多く取り入れる。 新聞の経済記事、The Japan Timesの求人広告などを紹介、解説する。 VTR、DVDなどを活用することで、理解しやすく興味の持てる授業とする。						
評価基準と評価方法	◆筆記試験（70％）と平常点（30％）の総合評価。 ◆遅刻や欠席は減点の対象とする。						
教科書	オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成、西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著（中央経済社） ISBN978-4-502-39920-6 C3034						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	プレゼンテーションの技法A						
担当教員	松田 泰至						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使った様々な表現技法を学ぶ						
授業の概要	プレゼンテーションとは、人前で効果的に自分の考えを述べ・伝えることを言う。プレゼンテーションの技法Aでは、単に原稿を読むだけの朗読ではなく、語りかけるようにわかりやすく話し、配付資料を作成してプレゼンテーションソフトを使用して行う、効果的なプレゼンテーションのやり方を学ぶ。クラスでは、プレゼンテーションの基礎を学びながら、実際に与えられたテーマに沿って学生が自らプレゼンテーションを行っていく。						
到達目標	コンピュータを使って、静止画像や音声等を用いた躍動感あるプレゼン資料を作ることができるようになります。						
授業計画	第1回：講義概要および受講時の注意 第2回：Macintoshの基本操作 第3回：静止画像の基本処理 1 レイヤーの概念 第4回：静止画像の基本処理 2 選択、フィルタ、イメージ調整 第5回：静止画像の基本処理 3 グラデーション 第6回：演習 1 全体デザインおよびレイヤー効果 第7回：演習 2 色彩理論 第8回：PC上での音声の符号化 第9回：静止画像および音声を融合したプレゼンテーション資料の作成 1 画像処理 第10回：静止画像および音声を融合したプレゼンテーション資料の作成 2 画面転換 第11回：静止画像および音声を融合したプレゼンテーション資料の作成 3 音声編集 第12回：静止画像および音声を融合したプレゼンテーション資料の作成 4 テキスト処理 第13回：演習 3 素材準備 第14回：演習 4 擬似動画と音声の融合 第15回：総復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：前回授業の内容を復習しておくこと。 授業後学習：授業で新たに学んだ技法を、配布プリントのみ参照しながら何度も納得するまで繰り返し練習してください。技法の修得する過程で、新たな疑問や要求項目等が生まれ、次の学習を牽引してくれます。						
授業方法	講義および演習						
評価基準と評価方法	課題（2回）50% 平常点 50%						
教科書	不要。適宜プリントを配布します。						
参考書	授業中指示する。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	プレゼンテーションの技法B						
担当教員	松田 泰至						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使った様々な表現技法を学ぶ						
授業の概要	プレゼンテーションの技法Bでは、プレゼンテーションの技法に引き続き、プレゼンテーションの基本を踏まえた、より高度なやり方を学ぶ。話す時の基本的な注意、配付資料の作り方、プレゼンテーションソフトによる資料の作成法・使い方などを解説し、実習を通して、実際にプレゼンテーションが上達するような実践的なアプローチで授業を行う。						
到達目標	Webの仕組みを理解し、種々の形式を持つデータを組み入れたWebページを作成することができるようになります。						
授業計画	第1回：講義概要および受講時の注意 第2回：Webページの内容理解 1 Webの仕組み 第3回：静止画像処理 第4回：Webページの内容理解 2 HTML復習 第5回：Webページの内容理解 3 動きのあるWebページの作成、Javascriptを触ってみる 第6回：Webページの内容理解 4 イベント駆動型プログラミング 第7回：各種データのWebページへの組込 静止画像、動画、ファイル形式 第8回：演習 1 Webページの作成 第9回：アニメーションの原理 フレーム 第10回：簡易アニメーションの作成 1 基本ビヘイビア 第11回：簡易アニメーションの作成 2 テキスト処理 第12回：簡易アニメーションの作成 3 静止画像、音声処理 第13回：簡易アニメーションの統合 共通媒体としての動画フォーマットの利用 第14回：演習 2 擬似動画の作成 第15回：総合演習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：前回の授業の内容をしっかりと復習しておきましょう。 授業後学習：授業で学んだ新たな技法を、配布プリントのみを参照しながら何回も納得するまで繰り返し練習してください。						
授業方法	講義および演習						
評価基準と評価方法	課題（2回）50% 平常点 50%						
教科書	なし。適宜プリントを配布します。						
参考書	授業中指示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	翻訳トレーニングA						
担当教員	白川 計子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	翻訳とは何か、実践をとおして学ぶ翻訳法						
授業の概要	英語から日本語へ、日本語から英語への正確な翻訳を実践するために求められる各種の知識を提供し、それに基づく翻訳の演習を行う。授業では様々な素材を用いた翻訳をスピード感をもって実践する。						
到達目標	(1) 翻訳に必要な作業（辞書の十分な活用、必要な情報の収集）ができるようになる。 (2) 文芸翻訳、実用翻訳、メディア翻訳の基本スキルを修得する。						
授業計画	第1回：翻訳とは何か。 第2回：俳句の英訳と文化の移植 第3回：百人一首の英訳実践 第4回：映画台詞理解 1 第5回：映画台詞理解 2 第6回：映画台詞翻訳実践 1 第7回：映画台詞翻訳実践 2 第8回：名言翻訳実践 第9回：実用書の翻訳 1 第10回：実用書の翻訳 2 第11回：実用書の翻訳 3 第12回：実用書の翻訳 4 第13回：短編小説の英訳実践 1 第14回：短編小説の英訳実践 2 第15回：まとめと復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	与えられた課題を予習し、翻訳を完成させる。						
授業方法	講義と翻訳演習						
評価基準と評価方法	平常点（授業中の予習と発表） 40％、翻訳作品提出物 60％						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	翻訳トレーニングB						
担当教員	白川 計子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	翻訳とは何か、実践をとおして学ぶ翻訳法						
授業の概要	英語から日本語へ、日本語から英語への正確な翻訳を実践するために求められる各種の知識を提供し、それに基づく翻訳の演習を行う。授業では様々な素材を用いた翻訳をスピード感をもって実践する。						
到達目標	(1) 翻訳に必要な作業（辞書の十分な活用、必要な情報の収集）ができるようになる。 (2) 文芸翻訳、実用翻訳、メディア翻訳の基本スキルを修得する。						
授業計画	第1回：翻訳とは何か、さまざまな翻訳紹介 第2回：「草枕」の英訳鑑賞 第3回：「草枕」の英訳実践 第4回：「ことわざ」の翻訳実践 第5回：映画の台詞理解 第6回：映画の台詞翻訳実践1 第7回：映画の台詞翻訳実践2 第8回：映画の台詞翻訳実践3 第9回：実用書翻訳実践 第10回：実用書翻訳実践1 第11回：実用書翻訳実践2 第12回：実用書翻訳実践3 第13回：英米作家短編翻訳実践1 第14回：英米作家短編翻訳実践2 第15回：まとめと復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	与えられた課題を予習し、翻訳を完成させる。						
授業方法	講義と翻訳演習						
評価基準と評価方法	平常点（授業中の予習と発表）40％、翻訳作品提出物60％						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語A／English in the Media A						
担当教員	E. Dean						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	English in the Media						
授業の概要	Students will learn how to make use of English media to both improve their English ability and to access information while studying abroad.						
到達目標	During class students will study English newspapers, watch and listen to English TV news programmes, spend time using the Internet in English and participate in pair and group discussions to give them confidence in using English media to better their lives while studying abroad.						
授業計画	1. - Introduction to English in the Media 2. - Getting Acquainted with English newspapers 3. - Skimming for information 4. - Writing a newspaper report 5 and 6 - BBC news report: Endangered Pandas 7 and 8 - BBC news report: Healthier Lunchboxes 9 and 10 - BBC news report: Peace Gate 11 and 12 - BBC news report: Animal Rights threaten medical research 13 and 14 - BBC news report: Acquiring information from the Internet 15 - Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	Some research for assignments						
授業方法	Lectures including reading English newspapers, watching DVDs and using the Internet. Students will be working alone and in pairs and groups to complete assignments.						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation and assignments Class participation: 40 % Assignments: 60%						
教科書	BBC Understanding the News in English 10 By Sakae Onoda and Lucy Cooker Published by Kinseido ISBN 978-4-7647-3955-0						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語A／English in the Media A						
担当教員	多賀谷 真吾						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	メディアの英語を通して、語彙力、リスニング力、コミュニケーション力を向上させる。						
授業の概要	英語圏の音楽やドキュメンタリー映画などを素材にして、ナチュラル・スピードの英語リスニング力を向上させるとともに、語彙力を増強させる。また、会話で役に立つ英語表現を状況に則して使うことができるような、コミュニケーションのための表現力を養うことを目標とする。						
到達目標	この授業を受けることで、ナチュラル・スピードの英語のリスニング力を向上させ、英語語彙力を身につけることができる。また、よりよいコミュニケーションを行うための表現力を身につけ、海外留学への準備ができる。						
授業計画	第01回 イントロダクション 第02回 基礎リスニング演習 (01) テーマ：音楽とドキュメンタリー(“Unchained Melody”) 第03回 基礎リスニング演習 (02) テーマ：音楽とドキュメンタリー(“Can't Take my Eyes off of You”) 第04回 基礎リスニング演習 (03) テーマ：音楽とドキュメンタリー(“Don't Want to Miss a Thing”) 第05回 基礎リスニング演習 (04) テーマ：音楽とドキュメンタリー(“Girls Just Want to Have Fun”) 第06回 基礎リスニング演習 (05) テーマ：音楽とドキュメンタリー(“Just Called to Say I Love You”) 第07回 基礎リスニング演習 (06) テーマ：音楽とドキュメンタリー(“Honesty”) 第08回 質疑応答と復習 第09回 基礎リスニング演習 (07) テーマ：音楽とドキュメンタリー(“Yesterday Once More”) 第10回 基礎リスニング演習 (08) テーマ：音楽とドキュメンタリー(“To Love You More”) 第11回 基礎リスニング演習 (09) テーマ：音楽とドキュメンタリー(“Your Song”) 第12回 基礎リスニング演習 (10) テーマ：音楽とドキュメンタリー(“You've Got a Friend”) 第13回 基礎リスニング演習 (11) テーマ：音楽とドキュメンタリー(“When a Man Loves a Woman”) 第14回 基礎リスニング演習 (12) テーマ：音楽とドキュメンタリー(“I Want to Know What Love Is”) 第15回 質疑応答と復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：テキストの各ユニットの英語テキストを読んでくること。 授業後学習：テキストの指示された部分の英語テキストを音読してくること。						
授業方法	演習方式。						
評価基準と評価方法	毎回の小テスト80％、発表点20％						
教科書	“Smash Hit Listening” Nobuhiro Kumai & Stephen Timson 編著、マクミラン ISBN978-4-7773-6378-0						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語A／English in the Media A						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	自然な英語の聞き取り能力を身につける						
授業の概要	英語のヒットソングを聴きながら、英語自然発話で良く見られる音声現象を学び、その聞き取り方法を学ぶ。同時に現代英語のさまざまな表現を学び、それらが使えるようにする。						
到達目標	英語の聞き取り能力の向上、多彩な表現の習得						
授業計画	第1回 イントロ 第2回 Complicated 第3回 S. O. S. 第4回 You are not alone 第5回 Don't wanna lose you 第6回 How crazy are you? 第7回 質疑応答と中間試験 第8回 Sunday morning 第9回 I want it that way 第10回 Suddenly I see 第11回 How am I supposed to live without you? 第12回 Save the best for last 第13回 Last Christmas 第14回 Torn 第15回 質疑応答と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習と復習をすること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験2回（60％）＋授業参加（40％）						
教科書	角山照彦・Simon Capper 「ヒットソングで学ぶ総合英語」（成美堂） ISBN: 978-4-7919-3387-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語B／English in the Media B						
担当教員	E. Dean						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	English in the Media						
授業の概要	Students will be making use of English media to both improve their English ability and give them confidence to use English media to enhance their education.						
到達目標	During class students will study English newspapers, watch and listen to English TV news programmes, spend time using the Internet in English and participate in pair and group discussions to give them confidence in using English media in their lives.						
授業計画	1 - An introduction to English in the Media 2 - Social Media 3 - Movie study 4 and 5 - Celebrity study and assignment 6 and 7 - BBC news report: Addiction to Smart phones 8 and 9 - BBC news report: The UKs Daily Commute 10 and 11 - BBC news report: The Future of Television 12 and 13 - BBC news report: Turbines for Tidal Power 14 and 15 - News report presentation						
授業外における学習（準備学習の内容）	Some research for assignments						
授業方法	Lectures including reading English newspapers, watching DVDs and using the Internet. Students will be working alone and in pairs and groups to complete assignments.						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation and assignments Class participation: 40 % Assignments: 60%						
教科書	BBC Understanding the News in English 10 By Sakae Onoda and Lucy Cooker Published by Kinseido ISBN 978-4-7647-3955-0						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語B／English in the Media B						
担当教員	多賀谷 真吾						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	メディアの英語を通して、語彙力、リスニング力、コミュニケーション力を向上させる。						
授業の概要	英語圏の音楽やドキュメンタリー映画などを素材にして、ナチュラル・スピードの英語リスニング力を向上させるとともに、語彙力を増強させる。また、会話で役に立つ英語表現を状況に則して使うことができるような、コミュニケーションのための表現力を養うことを目標とする。						
到達目標	この授業を受けることで、ナチュラル・スピードの英語のリスニング力を向上させ、英語語彙力を身につけることができる。また、よりよいコミュニケーションを行うための表現力を身につけ、海外留学への準備ができる。						
授業計画	第01回 イントロダクション 第02回 応用リスニング演習 (01) テーマ：音楽とドキュメンタリー("We are All Alone") 第03回 応用リスニング演習 (02) テーマ：音楽とドキュメンタリー("Every Breath You Take") 第04回 応用リスニング演習 (03) テーマ：音楽とドキュメンタリー("Because I Love You") 第05回 応用リスニング演習 (04) テーマ：音楽とドキュメンタリー("I Want to Know What love Is") 第06回 応用リスニング演習 (05) テーマ：音楽とドキュメンタリー("From a Distance") 第07回 応用リスニング演習 (06) テーマ：音楽とドキュメンタリー("Mama") 第08回 質疑応答と復習 第09回 応用リスニング演習 (07) テーマ：音楽とドキュメンタリー("Now and Forever") 第10回 応用リスニング演習 (08) テーマ：音楽とドキュメンタリー("I Need to Be in Love") 第11回 応用リスニング演習 (09) テーマ：音楽とドキュメンタリー("Always") 第12回 応用リスニング演習 (10) テーマ：音楽とドキュメンタリー("The Power of Love") 第13回 応用リスニング演習 (11) テーマ：音楽とドキュメンタリー("Starting Over") 第14回 応用リスニング演習 (12) テーマ：音楽とドキュメンタリー("Bridge over Troubled Water") 第15回 質疑応答と復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：テキストの各ユニットの英語テキストを読んでくること。 授業後学習：テキストの指示された部分の英語テキストを音読してくる。						
授業方法	演習方式。						
評価基準と評価方法	毎回の小テスト80%、発表点20%						
教科書	"Hot Beat Listening" Nobuhiro Kumai & Stephen Timson 編著、マクミラン ISBN978-4-7773-6112-0						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語B／English in the Media B						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	自然な英語のリスニング能力を身につけ、さらに英米文化に触れる						
授業の概要	英語のヒットソングを聴きながら、英語自然発話で良く見られる音声現象を学び、その聴き取り方法を学ぶ。同時に現代英語のさまざまな表現を学び、それらが使えるようにする。加えて英米のポップカルチャーへの理解を深める。						
到達目標	英語の聞き取り能力の向上、多彩な表現の習得、異文化理解						
授業計画	第1回 授業紹介 第2回 My Heart Will Go On 第3回 Open Arms 第4回 Life 第5回 Don' t Look Back In Anger 第6回 A Whole New World 第7回 I Don' t Want To Miss A Thing 第8回 質疑応答・中間試験 第9回 The Stranger 第10回 Hey Now 第11回 Every Time I Close My Eyes 第12回 Kiss Of Life 第13回 All I Want For Christmas Is You 第14回 Livin' La Vida Loca 第15回 質疑応答・期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習と復習をすること。学習する曲は各自で入手すること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験2回（60％）＋授業参加（40％）						
教科書	角山照彦・Simon Capper 「ポップスで学ぶ総合英語 -改訂新版- 」 （成美堂） ISBN: 978-4-7919-3086-9						
参考書							